

年 表 (二) (明治時代以降の主な事項)

明治元年 (一八六八)

国・道関係

九月⑧明治と改元、一世一元の制度を定める

一〇月〇榎本武揚、大島圭介ら内浦湾鷺木に上陸、箱

館に向け進撃。⑭清水谷府知事箱館府庁を青森に移すことを各国領事に通告して青森に退去。⑮脱走軍五稜郭に入城

一二月⑭脱走軍が蝦夷地全島を平定。○脱走軍が欧米諸国の例にならない投票によって総裁以下各奉行らを選挙

明治二年 (一八六九)

国・道関係

三月⑫東京遷都

五月④函館の海戦が始まる。⑯五稜郭の脱走軍もついに降服

六月④中納言鍋島直正が蝦夷開拓督務(総督)に任ぜられる。⑰諸侯版籍を奉還

七月⑧官制改革により開拓使を置き箱館府を県と改

称。⑬開拓督務を開拓使長官と改める

八月⑮蝦夷を北海道と改め一カ国八六郡に分ける。

⑲金沢、鹿児島等九大藩に蝦夷地の支配地が給される。⑳東久世通禧が開拓使長官に任ぜられる

九月⑲東久世長官ら函館に着任、開拓使出張所を開く。㉑函館県庁を廃して開拓使出張所と改称、施政の根拠を函館に置く

一二月⑫島判官が札幌本府の地割をし官邸、仮本庁の建築に入る

滝川関係

八月⑮旧石狩場所を分け札幌、石狩、樺戸、空知、夕張、雨竜、上川の七郡を置く

一〇月〇伊達英橘(邦直)、伊達勝三郎、亘理元太郎(十一月)が空知を分領(明治四年八月罷免)

明治三年 (一八七〇)

国・道関係

一月⑳日の丸を国旗に制定

二月⑬樺太開拓使が設置される

四月〇銭函仮役所を小樽に移し石狩四郡及び後志国一

〇郡を管轄す

五月⑨兵部大丞黒田清隆が開拓次官に任ぜられもっぱ

ら樺太開拓使を管した

九月〇平民に姓の使用許可。○東本願寺有珠く札幌間道路開さく着手

閏一〇月⑨東京開拓使庁を廃止、函館出張所が本庁となり、東京に出張所が置かれた

一二月〇徴兵規則制定

一二月〇庶民の帯刀禁止

滝川関係

二月〇開拓使権少主典田中銳次郎、史生平田貞治、肥塚貴正ら上川、空知両郡を檢分

五月⑨開拓使権少主典田中義信(銳次郎)ナエイからナイに至る地を伊達邦直に与える

明治四年 (一八七一)

国・道関係

一月〇東京・京都・大阪間に郵便設置。○黒田次官が

洋行、開拓使留学生も派遣される

三月〇戸籍法公布

四月⑲東久世長官札幌に移り開拓いっさいの事務を統理。○開拓使仮本庁竣工

五月○開拓使庁を札幌に置く  
 六月⑮神社の制が定められ、札幌神社が創建されて國幣小社に列格。○黒田次官がケブロンほか二名の雇外人を伴い、開拓に必要な器械種子等を購入して帰朝  
 七月⑭廃藩置県の詔書が出され、全国が府県制となる。三府、三〇一県  
 八月⑧樺太開拓使を北海道開拓使に合併。⑳諸県並び

明治五年（一八七二）

國・道関係  
 一月○戸籍法作成  
 四月②開拓使庁管下の市在役人を廃し戸長別戸長を置く。○東京・大阪間に電信開通。○札幌で「御用火事」として約百五十軒の草ぶき小屋を焼き払う。  
 ○開拓使顧問ケブロンの計画により、札幌・函館間の車道建設に着手

明治六年（一八七三）

國・道関係  
 一月⑩徴兵令発布。⑰黒田次官開拓施政方針上表  
 二月⑧函館運上所を税関と改称。○函館・青森間に定期航路が開始された  
 三月○測量長ワトソンに全道三角測量を命ずる  
 七月②函館から森、室蘭を経て札幌に至る本道を札幌本道と定める。道路竣工、経費八五万円  
 九月○新橋・横浜間に貨物列車が運転される。○測量

明治七年（一八七四）

國・道関係  
 一月○東京警視庁創設

に華士族、寺院等の北海道支配地を止め開拓使に属させる  
 九月○陸軍少将桐野利秋北海道を巡視して帰京、屯田兵設置を建言する  
 一〇月⑧蝦夷人の開墾を進め、家具、農具を与え、男子の耳環、女子の入墨を禁止することを達した。⑮東久世長官が侍従長に転任、黒田次官が長官を代行  
 一二月②ケブロンが黒田次官に北海道開拓に関する意

六月○函館に郵便役所を置く  
 七月○札幌郵便局を置く  
 八月⑥札幌に邏卒仮屯所及び分屯所を置く○農民間の身分制を禁止し、職業の自由を許可する。③学制公布  
 九月⑭札幌開拓使庁を札幌本庁と改め、函館、根室、宗谷、浦河、樺太の五支庁を置く

隊が石狩川の測量に着手  
 一二月①内務省の設置。②天皇、黒田次官、調所広丈、堀基らに宮中で樺太事情下問  
 一二月②黒田次官、屯田兵創設に関し建議。○郵便ハガキ発行  
 この年、東京上野公園、大阪住吉公園が開設。○東京銀座通りが煉瓦造りの洋風建築街となる。○ライマンが北海道の「地質測量報文」を提出。○広島村

二月⑮札幌本庁管内を大小区画に分ける（九大区）  
 ○江藤新平らが佐賀に乱をおこす

見書を提出  
 一二月○各府県の大廃合により三府七二県となる  
 滝川関係  
 一月○札幌、空知、石狩の諸郡の原野土地に対し出願のうえ随意に開墾すべきことが達せられた  
 八月○樺太、雨竜、空知、夕張、上川、厚田の各郡が札幌本庁の直轄となる

一〇月⑤各支庁主任を札幌に招集、札幌会議を開催  
 一二月⑨太陽暦を採用十二月三日を明治六年一月一日とする。○ライマン、モンローの二人が地質鉦山の調査を開始  
 滝川関係  
 六月⑮開拓使使掌高畑利宜上川探検に出発（九月帰着）

中山久蔵が早熟性水稻赤毛を育成。○三井組札幌支店が銀行業務を開始  
 滝川関係  
 一〇月⑦榎本武揚（釜次郎）イクシベツと空知川石炭山を調査して石炭調書を作成  
 この年、空知における最初の道路である幌内・幌内太間道路が開通した

四月④政府は台湾征討を開始。⑬島義勇が佐賀の乱に連座して死刑となる。○ケブロンに屯田兵の設置場

<p>所を選定させる</p> <p>五月○紡織場の官設</p> <p>六月②黒田次官が陸軍中將に任ぜられ屯田兵憲兵事務総理となる</p> <p>八月②黒田次官、参議兼開拓使長官に任ぜられる。</p>	<p>○議院憲法、議院規則、医制発布</p> <p>一〇月③屯田兵例則を設ける。○種痘規則制定</p> <p>一二月○札幌電信局開設。函館、小樽、札幌間公事電信通信開始</p> <p>この年、大阪、神戸間に鉄道開通</p>	<p>滝川関係</p> <p>二月⑤空知郡小區全部は第八大区となる</p> <p>七月③開拓使雇教師ライマン地質鉱物調査のため空知川に到着</p>
---	---	---

明治八年（一八七五）

<p>国・道関係</p> <p>一月○宮城、青森、酒田諸県の士族から屯田兵を募集。○学令制定</p> <p>二月○医術開業試験法発布。○蝦夷人の苗字使用許可</p> <p>三月②開拓使顧問ケブロン満期帰国。⑤屯田事務局を札幌本庁内に設置</p>	<p>四月○左右兩院を廃して元老院、大審院を設置</p> <p>五月⑦樺太・久里留（北千島）交換条約締結。○ライマンが幌内炭田地区を踏査、鉄道線を測量。○大教院を廃し火葬禁止の令を解く</p> <p>一二月⑧札幌のら卒屯所を巡査屯所と改称</p> <p>この年、初めて屯田兵一九三戸を琴似村に移す。○</p>	<p>函館・小樽間に定期航路が開始される。○貨幣条例（円 単位）が公布される。○仇討が厳禁となる。</p> <p>○庶民に苗字をつけさせる。○樺太土人八百五十余人を札幌郡対雁に移住させる</p> <p>滝川関係</p> <p>九月○高畑利宜、夕張、樺戸、空知三郡を調査</p>
--	--	--

明治九年（一八七六）

<p>国・道関係</p> <p>一月⑭久里留諸島の名を改めて「千島国」に編入</p> <p>二月○京都、大阪間の鉄道開通</p> <p>三月○士族の廃刀令発布</p> <p>四月○官庁日曜全休、土曜半休制実施</p> <p>五月○強制種痘制を布く</p> <p>八月⑭札幌学校を農学校と改称。アメリカからクラーク博士招へい</p>	<p>九月⑧北海道大小區画を改定、三〇大区一一六小區とする。②巡査屯所を警察署と改称</p> <p>一〇月○熊本神風連の乱、続いて秋月、萩の乱が起る</p> <p>十一月○北海道の三角測量中止</p> <p>一二月○開拓使が「ストープの使用」を人民一般に諭達</p> <p>この年、家禄、賞典禄を廃止し、金禄公債証書発行条例を制定する</p>	<p>滝川関係</p> <p>六月⑬開拓使大判官松本十郎、奥地探検の途中空知太に一泊乙名セッカウシ道案内として同行</p> <p>八月⑦長官黒田清隆、空知炭山を視察</p> <p>九月⑧石狩国上川・樺戸・雨竜・空知・夕張各郡は第二大区三小區となる</p>
---	---	---

明治一〇年（一八七七）

<p>国・道関係</p> <p>一月⑯大判官以下の官制を廃し、大書記以下を定める</p> <p>二月⑮西南の役が起る</p> <p>四月⑩屯田兵第一大隊が西南の役に出征。○クラーク博士が帰国の途につく。○開成、医学の二校を合併</p>	<p>して「東京大学」と称す</p> <p>六月○札幌本庁管内一七教育所を学校と改称</p> <p>九月○西南の役が政府の勝利に帰し屯田兵帰還。○沿海線及び三角測量図完成</p> <p>この年、万国郵便条約に加入。佐野常民らが戦死病</p>	<p>院博愛社（日本赤十字社）をつくる。電話器が渡来する。北海道地券条例制定。道内五ヶ所に確詰工場が創設される。道内コレラ流行（一月まで）</p> <p>一二月⑳屯田予備兵条例制定</p>
---	--	--

年表

明治一二年（一八七八）

<p>国・道関係</p> <p>一月⑦北海道最初の新聞「函館新聞」創刊</p> <p>二月〇北海道国郡全図が完成。〇屯田兵給与地一戸五、〇〇〇坪を一万坪に変更</p> <p>三月〇東京府会（府県会の最初）開催。〇東京中央電</p>	<p>信局の開所祝賀会に始めて電灯がともされた</p> <p>六月〇開拓使が総代人選挙法、総代人心得法を定めた</p> <p>七月〇屯田兵給与地一万二、〇〇〇坪に改正。②郡区町村編成法公布</p> <p>十一月④蝦夷人を旧土人と称させる</p>	<p>二月〇永山武四郎、屯田兵総理となる。〇米人クロホルドを鉄道建築顧問とした</p> <p>この年、日本に蓄音器が渡来した</p>
---	--	--

明治一二年（一八七九）

<p>国・道関係</p> <p>一月⑬札幌本庁が焼失</p> <p>三月⑤空知郡幌内に泥炭開拓事務係出張所設置</p> <p>四月⑧陸軍改良係を札幌におきロシアから携えた機、荷馬車を模造して普及。〇琉球藩を廃して沖縄県を置く</p> <p>七月⑳大小区画を廃し郡区町村編成法発布</p>	<p>八月〇クロホルドが幌内鉄道布設について調査し、幌内鉄道を幌内く手宮間にすることを建言した</p> <p>十一月⑧函館小学教科伝習所を函館師範学校と改称。〇小樽く銭函間の車道竣工。〇新聞の街頭販売が禁じられる</p> <p>十二月〇幌内炭山が開坑された</p> <p>この年、郡区町村編成法が施行され、区には区長、</p>	<p>町には町長、村には戸長を置くこととなる</p> <p>滝川関係</p> <p>七月⑳石狩ほか七郡（厚田、浜益、上川、樺戸、雨竜、空知、夕張）を定め役所を石狩に置く。（翌十三年三月開庁）</p>
---	---	---

明治一三年（一八八〇）

<p>国・道関係</p> <p>一月⑧手宮く幌内間鉄道布設着手</p> <p>三月〇太政官に会計検査院が設置される</p> <p>五月⑪海賀直常ほか四名集治監用地選定のためシベツ</p>	<p>（月形）探検を行う</p> <p>七月〇郡、区役所及び戸長役場に総代人を置く。〇伝染病予防規則が制定される</p> <p>八月⑳嶋が十勝に発生し、石狩、胆振に飛来被害甚大</p>	<p>十一月⑳札幌本庁蟻駆除施行順序法発布。㉒手宮く札幌間鉄道開通、運転式（義経・弁慶号）</p>
---	--	---

明治一四年（一八八一）

<p>国・道関係</p> <p>一月〇陸軍内に憲兵が置かれる</p> <p>二月〇屯田予備兵廃止</p> <p>六月〇札幌く野幌間鉄道工事着手</p>	<p>八月⑩樺戸集治監を月形村に設置。内務省直轄九月三日開庁。〇函館港楽三商会支店を月形に設置、集治監用達をする</p> <p>一〇月⑥函館に控訴裁判所を置く（一五年一月施行）。</p>	<p>〇我が国最初の政党、自由党が成立し板垣退助が総理になる</p> <p>十一月〇札幌く野幌間鉄道開通</p>
---	---	--

明治一五年（一八八二）

<p>国・道関係</p>	<p>一月④軍人勅諭換発。①黒田長官内閣顧問に転任。農</p>	<p>商務卿参議西郷従道開拓使長官兼任</p>
--------------	---------------------------------	-------------------------

二月⑧開拓使を廃し函館、札幌、根室の三県を置く。  
⑧屯田兵事務を陸軍省に移す  
三月⑨本道兵備を暫時第二軍管々区に編入  
四月⑩創成学校を県立として校内に仮師範学校を設置

明治一六年（一八八三）

六月⑪空知集治監を市来知村に設置（七月五日開庁）。  
⑫札幌と根室に始審裁判所設置。⑬札幌と江別間鉄  
道工事竣工、仮営業開始  
七月⑭会計検査院長岩村通俊が本道巡視。⑮鉄道管理

局を札幌に置く  
一月⑯野幌と幌内間鉄道開通。⑰札幌と幌内間運輸  
営業開始

国・道関係  
一月⑱農商務省、北海道事業管理局を置く。○郵便料  
金均一制となる。○全国各地コレラ発生  
三月⑲駅通編制法を定め北海道を札幌、函館、根室の  
三駅通区とする

四月⑳陸軍大学校創設される。○新聞紙条例が改正さ  
れる  
七月㉑官報創刊  
九月㉒札幌と幌内間停車場に電話開通。手宮と幌内間  
電信線を電話線に切りかえる（道電話のはじめ）

⑳手宮と幌内間鉄道開通式を札幌で挙行  
滝川関係  
九月㉓監獄付属樺戸丸で桜木樺戸副典獄、海賀直常ら  
月形から石狩川を上り地形・水利調査

明治一七年（一八八四）

国・道関係  
一月㉔官吏恩給令が定められる  
二月㉕北海道志が出版される  
三月①郡区町村編成法実施、札幌市街だけを札幌区と  
改定、札幌区役所設置  
五月②屯田兵が江別村に入植

六月③上野駅開業  
一〇月④空知郡に岩見沢村を設置。○札幌と根室間に  
電信が開通  
滝川関係  
四月⑤札幌ほか五郡役所設置。札幌・夕張・空知・樺  
戸・雨竜・上川の各郡を管轄

八月⑥内務属高橋不二雄、北海道地区作製のため石狩  
川水源を測量  
十月⑦樺戸集治監典獄月形潔、上川郡巡回視察、石狩  
川沿岸調査

明治一八年（一八八五）

国・道関係  
二月⑧東京から函館・札幌・根室に達する路線を国道  
と定める  
五月⑦屯田事務局を屯田兵本部と改める。⑨陸軍少将  
永山武四郎屯田兵本部長に任ぜられる

八月④太政官大書記官金子堅太郎三県巡視して北海道  
三県巡視復命書を提出。○岩村通俊、永山武四郎ら  
上川を視察す  
九月⑤釧路集治監設置  
一二月⑥太政官制廃止。内閣制度実施。伊藤博文、初

代内閣総理大臣となる  
この年、○日本銀行で初めて兌換券を発行。○電信  
為替、小為替制度が施行される。○対雁の旧土人全  
員を石狩に移転させる

明治一九年（一八八六）

国・道関係  
一月⑧三県及び北海道事業管理局を廃して北海道庁を  
置き、司法大輔岩村通俊が道庁長官となる。○道庁

官制を定め長官、理事官、属及び警察官、監獄官、  
技術官、学務官を置く。○道庁の機構は庶務・租  
税・勸業・土木・会計の五課とした

二月⑨小学校教則改正、一カ年を一学期として八学期  
をもって全学期とする。○札幌農学校を道庁所管と  
する

三月①北海道庁及び函館・根室二支庁開庁  
 四月①会計年度を四月一日から翌年三月三十一日までと改める。○帝国大学令・師範学校令・中学校令・小学校令が公布される。○第一から第五高等中学校が新たに命名される  
 五月○小学校学科及び程度を規定、尋常及び高等小学校修業年限を各四カ年、学科は修身、読方、作文、習字、算術、体操。○国産鉛筆が製造される  
 六月②北海道土地私下規則を定める。○日本薬局法が制定される

八月○炭礦鉄道事務所事業中、幌内炭山採掘事業の一部を九月以後は空知集治監に処理させることとする  
 九月⑦札幌及び函館の県立師範学校を廃止し北海道師範学校を置く。札幌は本校、函館は分校とする（二十年四月師範学校令により北海道尋常師範学校と改称）  
 一月⑧道庁官制改正、四部制として支庁廃止  
 この年、コレラ、天然痘流行死亡者多数  
 滝川関係  
 五月○高畑利宜、空知太・忠別太間仮道路開さくのた

め空知太に草小屋を作り測量に従事。⑩空知郡市米知から上川郡忠別太に至る上川仮新道起工  
 六月⑨空知太・忠別太間仮道路竣工⑫空知川渡舟私設を許可、山形県人三浦米蔵出願  
 八月⑭空知太・市来知間仮道路竣工  
 二月⑬空知川渡舟結水中休業  
 この年、三浦米蔵が南空知太に共同墓地設置を出願認可（五町歩）

明治二〇年（一八八七）

国・道関係  
 一月④集治監を監獄署と改称。○郡区役所と警察署の管轄区域を同一にし、各郡役所に警察署を置く  
 四月①炭礦鉄道事務を廃し幌内炭礦事務は空知監獄署に、鉄道事務は北海道鉄道事務所所に所属させる。○道庁約束郵便規則制定、為替貯金事務を開始

五月○月形嶺峰延間道路開さく着工（九月四日竣工）  
 一〇月○岩村長官が上川に出張  
 一二月○札幌麦酒会社設立。  
 この年、天然痘流行。大倉組築三商會が石狩川線運送業を開始  
 滝川関係

五月○樺戸監獄署の囚人を使役し上川道路を改修（二十二年九月竣工）  
 六月○三浦米蔵、南空知太で旅人宿開業。⑯樺戸監獄署は空知太派出所を空知川派出所、忠警（忠別とも書かれた）は必ず「警」の字を使用するように指示

明治二一年（一八八八）

国・道関係  
 二月○グリニッチ標準時採用。○市制・町村制が公布される  
 四月③黒田清隆内閣成立。○町村医設置規則公布  
 六月⑤岩村長官が元老院議長に転任。屯田兵本部長陸軍少将永山武四郎が道庁長官を兼務。○札幌・石狩間に電信通信開始

一〇月○山鼻兵村に兵村会を設ける（町村自治会のはじめ）  
 一月○岩見沢・忠別太間道路改修工事着手  
 一二月○北海道庁新庁舎落成  
 この年、国歌君が代が制定され各国に通知  
 滝川関係  
 四月○樺戸監獄署空知太新波止場出張所開設

六月④市来知く空知太間十一里道路改修着工  
 八月⑥市来知く空知太間道路改修工事竣工  
 九月⑦永山長官ら一行上川視察出発、二日空知太（監獄事務所）にて宿泊  
 一二月○北海道庁長官号外訓令をもって空知郡空知太へ二中隊に要する工事負担を樺戸集治監に令達、工事着手

明治二二年（一八八九）

国・道関係  
 二月①大日本帝国憲法、皇室典範、議院法、衆議院議

員法、貴族院令の公布  
 三月○石狩川汽船会社が月形村に設置される（三〇年

廃止となる）。⑳鹿猟禁止。○土地台帳規則公布  
 四月⑧岩見沢村人馬車継立所設置

六月⑳忠別ノ網走間仮新道開さく  
 七月㉑道庁技師福土成豊、石狩川水路保護上申書提出。  
 ⑳屯田兵条例改正、屯田兵本部を屯田兵司令部と改称、永山本部長が司令官となる  
 八月㉒石狩川航運の汽船上川丸、曳船春風丸竣工試験航。  
 ○北海道電灯会社が札幌に創設  
 一〇月㉓黒田内閣総辞職、三条實美組閣成立  
 十一月㉔永山長官、上川離宮予定地設定の儀を内閣に具申。  
 ㉕北海道炭礦鉄道会社設立、社長に堀基官選  
 十二月㉖内閣更迭内相山県有朋は総理大臣、岩村通俊は通信大臣となる  
 滝川関係

一月㉗空知・夕張郡役所を市来知村に設置、札幌ほか五郡役所の管轄を割き樺戸・雨竜・上川郡役所を月形村に置く、石狩ほか二郡役所並びに勇払ほか二郡役所のうち千歳郡を札幌郡役所に併合  
 三月㉘忠別太・音江法華・空知太・奈井江の四駅通休泊所の設置認可  
 八月㉙空知太駅通開業  
 九月㉚高畑利宜、空知太に酒造業を営む。○空知太・忠別大間、岩見沢・空知太間道路改修工事竣工、全通。  
 ㉛空知太屯田入植募集を官報に登載される  
 一〇月㉜空知太・忠別太間電話線架設着手(十一月十二日竣工)。  
 ㉝市来知・空知太間電話線架設着手(十一月九日竣工)

一月九日竣工)  
 一月①大和国十津川郷民六三二戸、二、五三七人(注前市史は六五九戸、二、六九一人)り災により移住、空知太に到着。  
 ②告示第四九号空知太市街見込地宅地払下願告示。  
 ③農商課滝川出張所に電話を架設(市来知・空知太間)。  
 ○札幌病院空知太派出所設置  
 二月④杉本勇治物資供給の任を帯びて大和から移住。  
 ⑤空知太屯田兵第五大隊第一中隊設置。屯田兵九二名入隊式執行。  
 ○浄土宗空知太出張所墓地管理人として役僧高木秀道を迎える(北泉岳寺の前身)

明治三三年(一八九〇)

国・道関係

一月○本道を除き衆議院議員選挙法公布  
 四月○道庁が屯田兵に関する経費予算を陸軍省に移管  
 七月⑧北海道庁官制改正、総理大臣直属の長官を内務大臣に直属。  
 ⑨樺戸、空知の両監獄署を集治監と改称  
 八月○屯田兵条例改正、屯田兵を歩、騎、砲、工兵とし、その服役は現役三年、予備役四年、後備役十三年計二十年とする  
 九月○屯田兵給与地一戸一万坪を一万五、〇〇〇坪、下士は二万坪  
 一〇月⑩教育勅語発布。○元老院が廃止となる  
 十一月○第一回帝国議會開会  
 滝川関係  
 一月⑪真宗大谷派説教所設立認可(願成寺前身)  
 ⑫北海道庁令第一号をもって滝川村を設置  
 ⑬滝川村戸長役場開庁(庁令第二号)。  
 ⑭朝日正道真宗本願寺

派説教所設立(現光暁寺)。  
 二月⑭滝川郵便局長に伊津伝兵衛就任  
 三月⑮空知太に滝川郵便局設置。○空知太に設置の農商課派出所を廃し、新十津川村戸長役場に移す  
 四月⑯空知通北一丁目戸長役場仮庁舎設置。⑰更谷喜延初代戸長に就任。○空知太に設置の札幌病院出張所を廃止  
 五月⑱第五大隊第一中隊仮細則を定め十二日から施行。  
 ⑲大隊長・副官任命。○石狩川汽船会社新波止場出張所設置。○滝の川西二丁目から上徳富への渡船開設  
 六月⑳十津川移民団新十津川村字徳富に移る。⑳第五大隊本部を設置。同月二十五日開庁  
 七月㉑六月三十日以来、屯田兵三四八戸移住(四四〇戸)第一中隊、第二中隊を編成。㉒郵便貯金・為替取扱開始。○新十津川村に巡查駐在所設置  
 八月①御料局札幌支庁空知出張所を開設、空知・夕張・

雨竜・上川の四郡を管轄、御料局札幌支庁滝川出張所設置。  
 ⑦道庁令第四六号をもって奈江村が設置される。この区域に滝川村の一部が割られた。  
 ⑩道庁令第四八号をもって奈江村を滝川村戸長役場の管轄とする  
 九月⑩滝川衛生組合組織  
 一〇月㉗戸長更谷喜延退職。二代目戸長多田寛就任。  
 ○炭礦鉄道会社が空知炭山を開坑。⑦屯田兵村地区に字名を設ける  
 十一月③神靈遙拝所を二ノ坂に建立、祭典を執行、滝川神社と称する  
 二月⑤兵村に私立南小学校、同北小学校開校。  
 この年、空知警察署空知太巡查駐在所設置。○春に④今井支店開業。○空知太市街地に多田五市が私設教育場開設(二十六年三月廃止)。滝川村々則制定

明治二四年（一八九一）

国・道関係

二月〇道内各地有志が上京し貴・衆両院に自治制施行、道議会設立、帝國議會議員選出、北海道事業費増加等の請願書を提出  
四月①屯田兵司令官は天皇に直屬となる。①府県制・郡制実施  
五月⑥山県首相辭職、藏相松方正義首相を兼任  
六月⑮永山長官の兼任を解き滋賀県知事渡辺千秋が道庁長官となる。〇札幌に屯田銀行設立營業開始  
七月⑳内務省告示第三五号により北海道集治監制を定め樺戸を本監、空知・釧路・網走を分監とする。  
〇上川・網走間道路竣工

九月〇東京く青森間（東北本線）鉄道開通  
十一月⑦北海道電燈会社營業開始、札幌に道内はじめての電燈点燈  
滝川関係  
一月⑳戸長多田寛退職、三代目戸長佐々木篤敬就任  
三月⑲軽川で本兵村兵員初の演習。〇石狩川汽船航運を江別樺戸間から空知太に延長。⑳樺戸・雨竜・上川郡役所及び空知・夕張郡役所を札幌ほか四郡役所に併合。㉑空知警察署空知太巡查駐在所を札幌警察署市来知分署滝川村巡查駐在所と改称  
四月①屯田兵配備表改正により第五大隊第一中隊、第二中隊は第二大隊第三中隊、第四中隊と改称

明治二五年（一八九二）

国・道関係

一月⑭幌内炭山ガス爆発  
四月〇高島嘉右衛門、北海道炭礦鉄道会社社長となる  
七月⑲渡辺長官転任、内務次官北垣国道道庁長官に任ぜられる  
八月⑧松方内閣総辭職、第二次伊藤内閣成立。〇札幌測候所はじめて地方天気予報を実施  
十一月〇炭礦鉄道会社夕張線開業  
十二月〇道庁が団体移住に関する要領を定め各府県知

事に照会  
滝川関係  
一月⑫令第一号により境界更正「空知郡滝川村、南ハ空知川、北ハナイタイベ川、西ハ石狩川ヲ界トス」。  
⑲藤川光太郎兄弟製糸を試み事業の拡張を図る  
二月①炭礦鉄道、砂川・空知太間開通、岩見沢から空知太までの空知線開通  
三月①滝川く永山間の郵便線路開始  
四月〇総代人公選される

五月〇屯田兵佐藤竹蔵水田を造り試作を行う  
七月①空知太墓地管理事務を取扱う。⑤有限責任北海道炭礦鉄道会社、岩見沢く砂川間、砂川く歌志内間開通。⑮兵隊移住記念祭を執行、この日と十一月三日を毎年例祭日と定める。⑲御料局札幌支庁管内において滝川ほか三カ所に出張所を新設  
九月⑩衛生組合規約書を定め組合設立を戸長に申請  
十一月⑳札幌から増毛に至る電信線空知太を経て全線竣工（七月測量、九月十三日起工）。〇兵村連合會議を開き南北両小学校合併計画  
この年、兵村で林檎植樹を始める。市街地に警鐘台設置。石狩川五九号渡船（中島町）開設（昭和二十五年九月廃止）

六月⑥共成株式会社滝川支店開設  
七月⑳日蓮宗布教所創立（現日勝寺）（明治二十八年十一月十三日説教所設立認可）  
十一月①〇屯田兵石丸辰吉この年水稻試作を行い一反五畝を耕作し籾一石八斗を收穫  
十一月③南北両小学校併合、二の坂に校舍新築私立滝川小学校開校式挙行（十月二十九日竣工）⑩屯田兵月形、当別、江別へ三泊行軍  
十二月⑮戸長佐々木篤敬退職、四代目戸長高田直一郎就任

国・道関係

一月〇夕張炭山坑夫四百余名が暴動を起こす  
二月〇道庁度量衡取締規則を定める。〇青森く室蘭間航路が開始

三月〇弁護士法が公布される  
四月〇日本赤十字社札幌支部設置（五月五日北海道支部と改称）〇札幌郡上白石村に「稲作試験場」設置される

八月〇国歌「君が代」公定

一月〇北海道炭礦鉄道会社が北海道炭礦鉄道株式会社と改称する  
十一月〇札幌神社官幣中社に列格

明治二六年（一八九三）

滝川関係

二月②滝川郵便局小包郵便事務取扱開始  
三月②滝川郵便局電信事務開始。②屯田兵苦小牧で春季機動演習(二十五日まで)  
五月○炭鉱鉄道会社、空知太・上川間の鉄道測量に着手(七月終了)  
一〇月⑦告示第六七号により滝川村に「滝ノ川」と

明治二七年(一八九四)

国・道関係

二月○囚徒による採炭を廃止する  
四月①札幌農学校文部省直轄となる  
五月○井上内相北海道に関する意見書を草し建議  
八月①日清戦役宣戦布告  
一〇月⑬北海道を第七師団管区と定める  
一二月⑨勅令第一五号消防組規則が公布。⑬北海道民灯日刊となり小樽新聞と改題。○屯田兵条例改正、現役八年後備役一二年、また屯田兵移住給与規則改正  
滝川関係  
一月②四代目戸長高田直一郎退職、五代目戸長月居忠清就任  
三月②滝川村総代人補欠選挙実施

明治二八年(一八九五)

国・道関係

三月④臨時第七師団編成、屯田兵充員召集  
四月①函館尋常中学校開校。⑮清国と平和条約成立  
六月①札幌尋常中学校開校。②臨時第七師団解隊帰郷  
一〇月○大日本武徳会北海道支部道庁警察部内に設置  
十一月○札幌に北海道尚武会の結成

「ユーベオツ」の字を置く。⑮滝川・旭川間の道庁架設線路を譲受け修築郵便局に引込電話の開始に備える(一二里二四町五七間一尺)。⑯広部弥三吉酒造業を始め「銘酒空知川」を出す。⑰外村義郎キリスト教伝道に従事(明治二十八年六月講義所新築)  
十一月⑱南兵村小学校校舎を空知太に移し、公立空知

明治二九年(一八九六)

国・道関係

四月①滝川村字ユーベオツに第二大隊第五・第六中隊設置。②道庁地理課滝川派出所を設置。○近藤豊が燐寸軸木「三光社製軸所」を創立  
五月⑤十七日までに江部乙屯田歩兵四〇〇戸移住入植。⑬江部乙屯田入隊式挙行。⑭滝川村に道庁地理課派出所を設置し、空知、樺戸、雨竜、上川四郡に属する土地事務を取扱わせる。○江部乙に真宗本願寺説教所創設(現光明寺)  
六月⑮日本基督教滝川講義所落成(空知太七九番地)  
⑯広小路九丁目に運海寺建立(浄土宗玄超山)。○石田安一郎、九丁目に二畝歩の水稲試作  
七月⑯江部乙に仮教場設置、十八日授業開始。○江部乙兵村に馬匹一八頭導入(軍用馬八頭農耕馬一〇

明治三〇年(一八九七)

滝川関係

一月①空知、樺戸、雨竜、上川の四郡をもって地理課滝川派出所所管とする。⑰私立を公立滝川尋常高等小学校と改称し、高等科四年併置。⑱空知太市街予定地の区域を変更  
三月④屯田兵日清戦役に応召出発、決死の木標建設。⑫札幌警察署滝川分署を設置、屯田兵屋を移転増築

尋常小学校創立(第一小学校の前身)

一二月②滝川・旭川間修築線路を月形・滝川両局の回線として現字機各一基装置  
この年、高橋豊吉筋違通り(現本町)に「滝川座」を創設。高畑宜一、石狩川沿岸六居入種跡の实地調査(夏)を行う

明治三一年(一八九八)

頭

八月○空知太第三美英舎後藤半七に譲渡  
九月○江部乙神社創設  
一〇月○高畑宜一実地踏査の石狩川沿岸六居入種遺跡調査報告が東京人類学会誌で発表。⑳公立滝川北尋常小学校認可(十一月二十四日開校式)  
十一月○高畑利宜酒造場を札幌区後藤半七に譲渡、代人、今百太郎。○屯田兵現役八カ年に延長  
一二月⑳御料局札幌支庁管内滝川出張所を廃止  
この年、二葉栄三郎が滝川初の味噌、醬油醸造業を始める。○私立滝川消防組結成。○江部乙屯田への物資販売指定として㉑石丸商店開業

明治三二年(一八九九)

滝川関係

して庁舎とする(元市来知分署滝川村巡査駐在所)。  
○伏古渡船場開設。  
五月○江部乙地区苹果(りんご)の苗木を共同購入して植栽  
六月②屯田兵帰隊。⑧告示第七一号をもって滝川村ほか一村戸長役場に浦役場を設置。⑩告示第七四号をもって空知郡滝川村ほか一村戸長役場から分離奈

江村戸長役場を開庁。②江部乙第五、第六中隊を第一・第二中隊と改称。○滝川倉庫創立  
九月⑤国木田独歩三浦屋に少鶴。⑦滝川村総代人選挙

明治二九年（一八九六）

国・道関係

一月①渡島・後志・胆振・石狩の四国に徴兵令施行  
三月⑥札幌・函館・根室・十勝に連隊区司令部を置く。○近衛師団が設置される  
四月③北垣長官拓務次官に転任、後任に福島県知事原保太郎就任  
五月⑫第七師団を札幌に置き屯田兵の事も合せ管掌、中将永山武四郎師団長に補される。⑭北海道鉄道敷設法発布  
八月⑨皆既日食、天文台長寺尾寿、トット（米）、ドランドル（仏）ら枝幸で観測  
九月⑮伊藤内閣総辞職し、第二次松方内閣成立  
一二月①月寒に歩・砲・工兵野戦独立隊を置き屯田兵

会。○空知川護岸工事着工  
二月⑦滝川兵村農会発足  
この年、滝川村役場庁舎新築。一の坂の神社境内付

司令部を第七師団司令部と改称  
滝川関係

一月①告示第一三三号をもって地理課滝川派出所を殖民課滝川派出所と改称  
二月①滝川登記所を戸長役場内に開設  
四月○遊郭地新通望月川を境として一丁四方を払下げ許可  
五月⑨滝川村総代人補欠選挙会。⑪浄土宗玄超山運海寺号公称。○空知太駅前上川街道地点から平岸に至る空知川沿岸道路工事着手（十一月竣工）。○日清戦役屯田兵に賞賜、江部乙屯田兵は御下賜金三〇円のうち半額を小学校基金財産として畜積  
六月⑫札幌ほか九郡役所を割き空知ほか四郡（夕張・

近の湧水を飲料水として引水

雨竜・樺戸・上川）役所を岩見沢に置く（七月一日開庁）。⑮札幌警察署滝川分署が岩見沢警察署滝川分署となる。⑯空知太へ旭川間鉄道起工。○江部乙屯田兵後備役公有財産取扱委員会規則制定。同兵村監視を置く。同兵村組合が生れる  
九月○ムム・江部乙間道路開きく着工（十月竣工）  
一〇月⑫戸長月居忠清退職、六代目戸長乾宣就任  
十一月⑩滝川郵便局舎を楓通北三丁目に移転。⑬新嘗祭供御穀本道進献者として滝川の森友弥一郎（正）、橋本年松（副）選定精粟献納  
一二月⑪公立滝川北尋常高等小学校を公立北辰尋常高等小学校と改称（六学級）

明治三〇年（一八九七）

国・道関係

三月⑦北海道国有未開地処分法発布四月一日施行  
四月①札幌・函館・根室に税務管理局開庁。⑮空知ほか四郡役所を割き、上川郡役所を旭川に設置  
五月⑯北海道区制、同一級町村制を定める（区制は三十年十月一日より一級町村制は三十一年一月一日施行と定めたが区制は三十二年十月一日、町村制は三十三年七月一日施行）  
六月○日本体育北海道支会を札幌に置く、永山師団長会長を兼任  
九月②拓殖務省を廃し内務省に北海道局を置く。④原

長官非職、安場保和道庁長官に就任

一〇月⑭道庁官制改正、郡役所を廃し十四支庁を置く（十一月一日開庁）。  
この年、金本位制を実施。全道に天然痘流行死亡二九八人に達する  
滝川関係  
二月○楓通北三丁目に説教所建立（現興禅寺）○新通南一丁目に遊廓移転開業  
三月○屯田兵軍医大竹康造官を辞して広小路に医院開業  
四月①滝川屯田兵ごとごとく後備役に編入

七月①道庁令第一四二号をもって歌志内村富良野村設置。⑭戸長乾宣退職。⑮七代目戸長高田直一郎就任  
八月○神靈遙拝所移転問題で、一ノ坂及び明神通りに同型の社殿を建立し遙拝所とし、結局二ノ坂は滝川神社建立となる。○安部磯雄、片山潜米村演説会開催。  
九月○本通り五丁目に消防番屋を建設、公立滝川消防組が結成。○江部乙神社改築  
一〇月○屯田兵憲兵屯所設置  
一二月⑮拓殖課滝川・十勝の両派出所を廃止。○中西亀太郎、燐寸製軸所開設

この年、滝川市街地区の道路に正式な名称と丁目を

つける

明治三十一年（一八九八）

国・道関係

一月①天塩・北見・日高・十勝・釧路・根室・千島の七国に徴兵令施行。②松方内閣総辞職第三次伊藤内閣成立

六月③伊藤内閣総辞職、大隈重信組閣最初の政党内閣

七月④安場長官免官、杉田定一道庁長官に就任

八月⑤上川線鉄道開通式協賛会札幌支部園遊会を札幌中島公園に開き、翌二四日小樽で同会小樽支部祝賀会を開く

九月⑥七日以来の暴風雨で未曾有の洪水となり道内各地被害甚大、死者二四八人に達する

一〇月⑦道庁に北海道治水調査会設置。○内務省官制

改正、北海道局廃止

一月⑧杉田長官免官、園田安賢長官に就任。○西郷隆盛の銅像が上野公園に建つ

この年、万国郵便条約に調印。東京と大阪間に長距離電話開通

滝川関係  
二月⑨空知小学校に高等科（二年）併置認可

四月⑩空知小学校を公立空知尋常高等小学校と改称。

⑪戸長高田直一郎退職、八代目戸長に小華和貞男就任。○田垣勘二郎宅を講元として天理教布教

五月⑫滝川駅機関庫設置。○滝川演武館を一ノ坂に設立

七月⑬空知太駅から旭川まで上川線鉄道開通。⑭空知太駅を移転滝川駅と改称して営業を開始。江部乙駅が西十丁目と十一丁目の中間に設置される。⑮滝川保線区設置

八月⑯高畑利宜、高畑運送組創立

九月⑰⑱石狩川、空知川氾濫（空知川本流が変わり赤平沼ができる。現滝川公園池）被害甚大。⑲公立滝川小学校全焼。

一〇月①滝川鉄工組合第二九支部創立（片山潜の来村）○侍従片岡利和男被害状況視察

十一月②九月洪水罹災者に御下賜金

十二月③日蓮宗説教所、楓通りに再建移転

明治三十二年（一九一九）

国・道関係

二月④不動産登記法が制定（五月十二日施行）

三月⑤北海道旧土人保護法公布、教育及び共有財産の管理等に関することを規定。⑥北海道拓殖銀行法公布

五月⑦石狩川治水調査を開設

七月⑧札幌神社の社格が官幣大社に昇格。○札幌電話交換局が設置される

一〇月⑨札幌・函館・小樽に北海道区制施行

一二月⑩歩兵第二十五連隊と第二十八連隊を月寒に置

明治三十三年（一九〇〇）

国・道関係

一月①屯田銀行が北海道商業銀行と改称

く

この年、万国郵便条約に調印

滝川関係  
一月⑬江部乙普通三等郵便局設置認可

三月⑭戸長小華和貞男退職。⑮九代目戸長高田直一郎就任

四月⑯登記所を廃止して札幌区裁判所滝川出張所を一ノ坂に開設（登記事務のみ取扱い）

五月⑰庁令第十一号により歌志内ほか一カ村戸長役場所轄を割き富良野戸長役場を置く。⑱音江を分村

（道庁令第一四二号をもって）

六月⑲願成寺寺号公称。⑳滝川小学校建築再建認可

八月①滝川小学校新校舎落成。○滝川村衛生組合設立。㉑光明寺寺号公称

九月②二十四日まで開村十年記念祭典施行

一〇月③戸長高田直一郎退職。㉒十代目戸長石沢竜治就任

この年、南外吉空知太に廻送業を開業（四十二年に廃業）

二月④北海道拓殖銀行創立（四月二日開業）

三月⑤産業組合法公布⑦未成年者喫煙禁止法公布⑧衆

議院議員選挙法改正、北海道に初めて大選挙区を置

年表

四月②園田長官拓殖十カ年計画案を提出（更正のうえ七月十日再提出）②函館に要塞司令部を置き第七師団に属する。⑤水山師団長休職。中将大迫尚敏第七師団長に補される

六月⑬北清事変ぼつ発、出兵決定

八月①十勝線上富良野～下富良野（後の富良野）間開通

九月⑮夕張炭山坑夫同盟罷業。⑮伊藤博文立憲政友会

明治三四年（一九〇一）

国・道関係

二月①京浜電気鉄道開通

三月⑦北海道会法、北海道地方費法公布。③道会議員選挙令、北海道地方費令公布

四月①屯田歩兵第二大隊及び騎・砲・工兵の各隊解散。①道庁一〇年計画により政務執行

五月⑫北海道で農業者の設立する産業組合に関する施行組合細則を定める

六月②伊藤内閣総辞職、桂太郎組閣

八月③札幌市内発行の日刊三紙合併北海タイムス初号発刊。⑩第一回道会議員選挙

結成

一〇月①私設鉄道法施行。⑱山県内閣辞職、第四次伊藤内閣成立

一二月⑳歩兵第二十五連隊～第二十八連隊に軍旗下賜この年、北海道農会設立。屯田兵募集中止。第七師団旭川に移る

滝川関係

二月⑤空知小学校に高等科（四年）変更認可。⑤滝川村農会創立

三月〇石狩川橋鉄橋架橋着工

五月①札幌貯蓄銀行滝川代理店設置

六月①庁令第一九一号により芦別村が歌志内村から分村。⑩真宗大谷派願成寺寺号公称

一二月⑦天理教滝川出張所認可

明治三五年（一九〇二）

国・道関係

一月⑩日英同盟締結。〇江別兵村に道内はじめての信用組合設立。〇八甲田山遭難凍死事件

二月⑫北海道二級町村制改正公布

四月⑫林頭三「北海誌料」公刊

六月〇函館～小樽間鉄道起工

八月⑩北海道最初の衆議院議員選挙（札幌・函館・小樽の三区のみ）

九月⑬北海道土功組合法施行令公布。⑳北海道会議事

九月⑨糸屋銀行（本店兵庫県）旭川支店開業

一〇月⑤第一回道常道会開会。〇屯田兵の服務年限現役五年、後備役十五年に改正

一二月③日本赤十字社条例公布

滝川関係

一月〇江部乙で天理教布教開始（現北陽分会宣教会）

二月①札幌区から旭川区裁判所滝川出張所となる

三月③江部乙屯田兵現役満了、後備役に編入され第二大隊解除

四月⑫戸長石沢竜治退職、十一代目戸長菊地竹治就任

六月⑤乃木中将来村、井上包太郎家を訪問。〇江部乙に出雲神社創設、厳沢神社に合祀（明治三十五年十八丁目に奉還）

九月⑥真宗本願寺派光暁寺寺号公称。⑦⑧石狩川・空知川氾濫。⑤大和国人、久保正宣移住、金融業開始。〇新聞の購読が始まる

一〇月③戸長菊地竹治退職、十二代目戸長今井勇吉就任

一二月⑦興禅寺一ノ坂に移転改築、興禅寺寺号公称

この年、江部乙駅を西十二丁目に移転。光暁寺建立

堂新築落成

一〇月③札幌・函館・根室の三税務管理局を廃し、札幌税務局監督局を置く

一二月①国勢調査一〇年毎に施行の件公布。⑩第七師団各隊入営全部完了

滝川関係

三月〇石狩川橋鉄橋竣工。〇滝川倉庫発起人株主募集

七月④町村基本財産に関する空知支庁訓令が出される

八月〇江部乙郵便局火災により移転（本通り十二丁

目

九月〇江部乙に真宗高田派説教場創設（現専覚寺）

一〇月〇江部乙巡查駐在所設置

一二月①本通り三丁目（現大町）に株式会社蛭子座創設

この年、玉ねぎの栽培が始められる。江部乙衛生組合創設。茶道宗偏流淑徳会結成

明治三十六年（一九〇三）

国・道関係

三月①第八回衆議院議員選挙  
 四月〇教科書国定となり小学校教科書文部省編集に決定  
 八月②札幌大通りに黒田清隆の銅像除幕式  
 九月②度量衡法施行令公布。〇函館開港五十年祭挙行。  
 〇旭川・名寄間鉄道開通  
 一〇月②第七師団から北清駐屯軍を派遣  
 一二月〇第一回早慶戦が行われる

明治三十七年（一九〇四）

国・道関係

一月〇日露交渉事件切迫し、御用船の徴発に伴い船賃高騰  
 二月⑩露国に対し宣戦詔勅渙発。⑪商船奈古浦丸津軽沖で露艦に撃沈される。函館へ青森間数日欠航  
 三月①衆議院議員選挙。③屯田歩兵第三大隊剣淵・士別解散（全道の現役屯田兵無くなる）  
 四月①小学校国定教科書を使用  
 七月①たばこ専売制実施

明治三十八年（一九〇五）

国・道関係

一月③旅順開城  
 二月②夕張炭山五〇〇名賃金復旧及び米味噌価格低減に関し同盟罷業  
 三月⑩奉天入城  
 四月①北海道庁鉄道部を廃し、逓信省鉄道作業局札幌出張所を置く

年表

一二月①第十九帝国議会解散  
 滝川関係

一月①御料局滝川出張所設置（四十一年二月三十一日廃止）  
 五月〇滝川演武館を滝川分署に贈与。〇本通り一丁目私設消防組設立  
 七月⑧庁令第四六四号により下富良野が富良野から分村  
 八月②滝川神社を一ノ坂に奉還、他の二社を合祀して

八月⑦第七師団動員下令。⑩第二回道会議員選挙

九月④屯田兵条例解除され、以後官名呼称から「屯田」が除かれる。  
 ②第七師団動員下令。〇愛国婦人会創立  
 一〇月⑮函館へ小樽間鉄道全通  
 一二月⑤野戦第七師団二〇三高地戦参加。②東京三越本店開業  
 滝川関係  
 三月②無限責任滝川第一購買販売組合設立

御遷座祭を執行。〇奈江村が砂川村と改称

九月③二十五年から座繰製糸の藤川光太郎が「藤川兄弟商会滝川製糸所」を創立  
 一〇月〇滝川倉庫合資会社創立。〇石沢淵次郎が空知通に機織業を開業  
 十一月〇江部乙に真宗大谷派説教所創設（現専光寺）  
 一二月〇無限責任滝川蚕桑社信用組合設立

四月⑩北辰尋常高等小学校新校舎着工（八月三日竣工）  
 七月⑧十一日まで豪雨水害となる

八月①滝川青年実業団設立。⑦屯田兵第七師団に充員召集  
 この年、幌倉の内野むめ宅納屋で寺子屋式の教育を始める。私立滝川衛生組合創設。三輪精一ホルスタイン種乳牛を飼育。滝川から浜益へ通じる道路完成（仮定県道下富良野浜益間）

滝川関係

二月〇屯田兵日露戦役に出征（八月にも出征）  
 三月〇北海道貯蓄銀行滝川出張所設置  
 四月〇空知大橋着工  
 五月③空知ほか三郡酒造組合が設立され事務所を岩見沢町に置く  
 八月⑩糸屋銀行滝川支店設立

一〇月〇滝川倉庫合資会社を株式組織とする  
十一月〇屯田兵がい旋婦郷(遅い)者も翌年三月までに

帰郷)。(12)日蓮宗説教所本堂落成(現日勝寺)  
この年、本通一、二、三丁目私設水道組合が設立

(明治二十九年から使用していた)。滝川製糸組合設置

明治三十九年(一九〇六)

国・道関係

一月〇西園寺公望内閣成立。(29)札幌麦酒(株)、日本麦酒、大阪麦酒兩社と合併大日本麦酒(株)設立。〇小樽銀行と北海道商業銀行と合併北海道銀行設立  
二月〇日本社会党結成

道炭礦鉄道会社所屬鐵道を買収、官有とし札幌鐵道作業局出張所を北海道作業局と改称。  
一二月〇園田長官退任、福岡県知事河島醇、道庁長官となる  
滝川関係

五月〇無格社滝川神社創立許可。(31)第一回村會議員選挙。(5)日露戦役戦死者村葬。〇日本キリスト教会滝川伝道教会新会堂落成  
六月〇農商務省告示第一九三号により滝川種牛牧場指定

三月〇第七師団司令部凱旋、留守第七師団司令部閉鎖  
五月〇樺太守備隊に第七師団から一大隊派遣  
六月〇樺太の北緯五〇度以南をロシアから受領(1)日・米海底電線竣工

二月〇十二代目戸長今井勇吉退職、〇山崎木工場創業(場主山崎最三郎)  
三月〇日露戦役凱旋祝賀会(滝川屯田は第一小学校、江部乙屯田は北辰小学校各運動場で)  
四月〇二級町村制施行、今井勇吉初代村長就任。(1)学務委員規則設定

九月〇九条武子来村(当時大谷武子)。〇江部乙に日露戦役戦勝記念碑建設  
一二月〇空知大橋竣工。(10)真宗大谷派説教所許可(現正善寺)。〇三浦木挽工場創業(場主三浦庄作)  
この年、東裡、下赤平間空知川渡船開設(昭和七年八月廃止)。平田教信の発議により幌倉青年団結成

九月〇大日本愛国婦人会北海道支部創立總會  
一〇月〇鐵道国有法(三月三十一日公布)により北海

八月〇道會議員選挙(第三回)  
九月〇函館、釧路間鐵道旭川經由で全通、小樽で祝賀会挙行  
一〇月〇兵制三年を二年に改める  
滝川関係

六月〇滝川実業団結成、第一回店員大運動会  
八月〇金刀比羅神社鎮座祭執行。(23)滝川神社遷座祭を挙行(工事費六百円)。〇三浦木挽工場を(木工場と改称(場主芳武新吾)  
九月〇金箱神社を小林農場内四丁目高台地に建立(幌倉神社の前身)。〇北辰小学校増築完成  
一〇月〇森島賢次郎、滝ノ川通二丁目に甲斐絹工場設立  
十一月〇滝川郵便局電話事務取扱開始  
一二月〇小田嶋兵助、幌倉・住吉間に私設渡船業の許可を受け開業

明治四〇年(一九〇七)

国・道関係

二月〇日本社会党に結社禁止命令  
三月〇網走線鐵道起工。〇小学校令改正、義務教育年限六六年に延長  
四月〇北海道鐵道作業局出張所を帝國鐵道庁北海道鐵道管理局と改称。〇道庁公報発刊

一月〇無限責任滝川蚕桑社信用組合と無限責任第一購買販売組合と合併し、無限責任滝川信用購買販売組合と改称(発足三月一日)。〇高野山真言宗大師堂創設(現照光寺)(江部乙地区)  
四月〇滝川尋常高等小学校幌倉教授所設置。(30)今井勇吉村長退職、小西恭藏二代目村長就任

一月〇滝川郵便局電話事務取扱開始  
一二月〇小田嶋兵助、幌倉・住吉間に私設渡船業の許可を受け開業

六月〇仙台に東北帝國大学を置き、札幌農学校を東北帝國大学農科大学とする  
七月〇北海道鐵道会社鐵道函館、小樽間国有となる。  
(28)北海道製麻(株)、日本製麻(株)と合併帝國製麻(株)を設立

立

明治四一年(一九〇八)

国・道関係

一月〇御料局、帝室林野管理局と改称

三月〇十二日まで全道大吹雪、交通被害甚大

五月<sup>⑮</sup>衆議院議員選挙。○韓国暴徒鎮定のため歩兵第二六連隊派遣  
 七月<sup>⑭</sup>西園寺内閣総辞職、第二次桂内閣成立  
 一〇月<sup>⑬</sup>戊申詔書換発  
 十一月<sup>⑫</sup>天理教の独立許可  
 一二月<sup>⑤</sup>鐵道院官制公布により帝國鐵道庁北海道鐵道管理局を鐵道院北海道鐵道管理局と改称

一月<sup>⑫</sup>石川啄木汽車にて滝川を通る。○専寛寺寺号公称。○日蓮宗日勝寺寺号公称。○今興太郎精米所開業  
 四月<sup>⑩</sup>農商務省告示第五二号をもって種牛牧場を種畜牧場と改称  
 五月<sup>⑩</sup>滝川道路保護区設置。○空知尋常高等小学校を一ノ坂に位置変更認可。○空知太三九〇番地旧空知小学校跡に空知尋常高等小学校の分教場設置認可

(第三小学校前身)。<sup>⑪</sup>第二回村会議員選挙  
 六月<sup>⑩</sup>大竹康造初代農会長となる。○<sup>⑭</sup>幌倉特別教授所を滝川尋常高等小学校幌倉分教場と改称  
 九月<sup>⑩</sup>岩見沢警察署滝川分署新庁舎落成  
 一二月<sup>⑨</sup>滝川尋常高等小学校高等科廃止、滝川尋常小学校となる  
 一二月<sup>①</sup>滝川郵便局電話交換事務開始  
 この年、猩紅熱流行

明治四十二年 (一九〇九)

国・道関係  
 一月<sup>⑪</sup>北海道庁焼失  
 二月<sup>⑩</sup>私立函館図書館設立  
 三月<sup>⑨</sup>専売局官制改正し函館専売局設置  
 四月<sup>⑤</sup>特許法、意匠法、商標法実用新案法各公布。○<sup>⑭</sup>種痘法公布  
 八月<sup>⑫</sup>道庁仮庁舎落成移庁式挙行  
 一〇月<sup>⑨</sup>河島長官提出の北海道拓殖事業十五年計画案、内閣決定。○伊藤博文ヘルピン駅頭で暗殺される  
 十一月<sup>⑩</sup>札幌く岩見沢間及札幌く手宮間鐵道複線化工事竣工  
 滝川村関係

三月<sup>①</sup>天理教滝川布教所設立。○<sup>⑫</sup>二ノ坂郵便局設置(現本町郵便局) ○<sup>⑬</sup>村長小西恭藏退職  
 四月<sup>①</sup>一級町村制施行、江部乙を分村。○<sup>①</sup>高井幸次郎村長業務取扱いとして任命される  
 五月<sup>③</sup>第三回村会議員選挙  
 六月<sup>⑤</sup>大浦兼武農商務大臣来村。○<sup>③</sup>村長事務取扱高井幸次郎退職  
 七月<sup>①</sup>大竹康造村長就任  
 一〇月<sup>③</sup>滝川兵村開村二十年記念祭を旧練兵場で挙行  
 十一月<sup>⑤</sup>空知川沿岸鐵道期成会組織  
 一二月<sup>⑨</sup>空知尋常高等小学校を滝川第一尋常高等小学校と改称、一ノ坂に新校舎落成移転、旧校舎は分教場となる。滝川尋常小学校を滝川第二尋常小学校と

改称、同時に幌倉分教場は滝川第二尋常小学校幌倉分教場と改称  
 江部乙村関係  
 四月<sup>①</sup>滝川より分離独立して江部乙村設置。二級町村制施行、屯田兵事業場を仮庁舎とする初代村長亀田信雄就任。○<sup>⑫</sup>学務委員規定制定  
 六月<sup>①</sup>第一回村会議員選挙(一〇名)。○<sup>⑫</sup>屯田兵中隊本部を改造して役場庁舎とする  
 一〇月<sup>①</sup>屯田兵共有財産二千町歩村有財産に寄付採納  
 十一月<sup>⑬</sup>音江村との村界変更を議決。○<sup>⑦</sup>江部乙村農会創立総会  
 一二月<sup>⑩</sup>真宗高田派専寛寺本堂落成

明治四十三年 (一九一〇)

国・道関係  
 三月<sup>①</sup>小樽・岩内・寿都三支庁を廃し後志支庁を俱知安に置く。○小学校学習漢字一、三六〇字に制定  
 四月<sup>①</sup>北海道拓殖一五年計画実施。○<sup>①</sup>札幌通信管理局を置き函館海事局を海事部と改称、同局に所属  
 五月<sup>⑩</sup>石狩川治水工事着手。○札幌鐵道教習所設置

六月<sup>①</sup>根室開港  
 八月<sup>⑩</sup>道会議員選挙(第四回) ○<sup>⑫</sup>韓国を日本に併合朝鮮と改称。○王子製紙会社苫小牧工場落成操業  
 九月<sup>⑩</sup>札幌に石狩川治水事務所を置く  
 一二月<sup>③</sup>帝國在郷軍人会発会。○<sup>⑫</sup>留萌線深川く留萌間全通

滝川村関係  
 三月<sup>⑫</sup>滝川青年会創立総会  
 四月<sup>⑩</sup>石狩川治水工事(明治四十三年度から大正十三年まで継続事業) ○<sup>①</sup>長万部種馬所滝川種付所設置(昭和九年廃止)  
 六月<sup>②</sup>常設委員規則公布。○<sup>⑬</sup>合資会社三ッ輪魚菜市场

明治四四年(一九一〇)

創立(大正八年株式会社)  
 十一月③滝川町と改称。⑥下富良野線の分岐点滝川に決定

この年、⑨今井滝川支店閉店後、⑩呉服店譲受開店  
**江部乙村関係**  
 四月⑩江部乙青年会発足。⑭音江村との村界変更に関

する意見書を空知支庁長に提出  
 七月○江部乙・音江・滝川の三町村、灌漑計画を道庁へ調査申請

国・道関係

一月①日本製鋼所工場落成操業開始  
 二月②日米修正通商航海条約及び日英通商航海条約それぞれ調印。○普通選挙法貴族院で否決  
 三月②工場法公布(大正五年九月一日施行)  
 四月⑧河島道庁長官東京で病没。○小樽高等商業学校開校  
 五月⑩静岡県知事石原健三道庁長官に就任  
 八月②皇太子嘉仁親王(後の大正天皇)行啓(九月十二日退道) ③桂内閣総辞職、第二次西園寺内閣成立  
 一月○手宮及び室蘭高架橋竣工

二月⑭北緯三十度以北の北太平洋でラッコ及びオットセイの猟獲禁止令発布  
**滝川町関係**  
 二月○鉄道下富良野線着工  
 三月③帝国・在郷軍人会滝川町分会創立  
 五月②幌倉分教場位置指定。⑧天理教滝川宣教所設立(現竜昇分教会)  
 六月⑭五十嵐太郎吉滝川実業団を組織(後の商工会)  
 ○私立消防組設立(本通二丁目) ②私立滝川病院建築着手  
 一月○浦上義敬本通一丁目に活版所を始める

一月⑥私立滝川病院長官から認可  
 二月⑫町長大竹康造死亡退職。○高畑運送組解散、深川辰繁又一に譲渡、滝川運輸合資会社設立  
 この年、滝川初の新聞「北海中央新聞」を大野武熊が発刊  
**江部乙村関係**  
 三月○在郷軍人会江部乙分会設立  
 六月①第二回村会議員選挙  
 九月①北辰尋常高等小学校増築竣工  
 この年、出雲神社拝殿造営(十八丁目)。光明寺が東十二丁目現在地に移転。専光寺寺号公称

明治四五年(大正一)(一九一〇)

国・道関係

四月②清朝滅亡、中国南北統一の臨時政府成立  
 五月⑮衆議院議員選挙  
 七月⑥ストックホルムで開催の第五万国オリンピック大会に日本初参加。③明治天皇崩御嘉仁親王踐祚・大正と改元  
 九月⑬明治天皇大葬執行、恩赦令公布  
 十二月②西園寺内閣総辞職、第三次桂内閣成立。⑧石原道庁長官転出、鉄道院理事山之内一次官道庁長官拝命

この年、網走鉄道全通  
**滝川町関係**  
 一月⑧二代目町長奥井直吉就任  
 二月⑤私立滝川病院が一ノ坂(現滝川神社裏)に建設。⑧滝川町滝川消防組第一部、第二部編成(大正三年二月十六日正式承認)  
 三月⑤私立滝川病院道庁の検査に合格開業。○滝川町火災予防組合結成  
 四月⑩火災予防組合と衛生組合の業務を兼ねて公立滝川火防衛生組合設立(終戦により解散)

六月①第四回町会議員選挙(町制最初の町会議員選挙)。②第一尋常高等小学校、補習科設置  
 八月○三浦庄作、道会議員補欠選挙に当選、滝川初の道議となる  
 十一月⑩滝川・江部乙電話線架設、二ノ坂郵便局電報配達事務開始  
 この年、高橋信行「滝川時報」旬刊紙を発刊  
**江部乙村関係**  
 六月○江部乙消防組創設  
 十二月⑩亀田信雄村長退職。⑰二代村長山本彦太就任

大正二年（一九一三）

国・道関係

一月⑧大日本青年党発会  
 二月⑩山之内道庁長官転出、広島県知事村純九郎長官拝任。⑨桂内閣総辞職、山本権兵衛組閣。○護憲運動がさかんになる  
 五月⑬札幌通信管理局を北海道通信局、札幌鉱山監督署を札幌鉱務署と改称  
 八月⑩道会議員選挙（第五回）  
 一〇月⑥中華民国を承認  
 十一月⑭凶作救済会を札幌に置く  
 一二月⑮立憲同志会結党  
 滝川町関係  
 一月⑳滝川実業団が滝川商業倶楽部に改組  
 三月㉑私立滝川病院株式会社に組織変更。㉒西裡水田

大正三年（一九一四）

国・道関係

一月⑬東京に北海道東北凶作救済会発起人会開催。㉓衆議院シーメンス事件暴露で混乱  
 四月①北海道師範学校を札幌師範学校と改称、函館に函館師範学校を開く。⑯山本内閣総辞職、第二次大隈内閣成立。⑭中村道庁長官休職、福島県知事西久保弘道長官拝任  
 七月㉔第一次世界大戦ぼっ発  
 八月⑮パナマ運河開通。㉕対独宣戦布告（第一次大戦

大正四年（一九一五）

国・道関係

三月㉖第十二回衆議院議員選挙  
 四月①北海道史編集開始

年表

組合設立認可。㉗町会議員補欠選挙。○忠魂碑を二ノ坂練兵場に建立  
 四月①西裡水田組合灌漑工事着手。①空知ほか三郡連合青年会発足  
 五月②御獄教金勢教会設立。③西裡水田組合灌漑溝工事竣工（六月二日通水）  
 六月④東京大相撲開催、勅進元畑中末次郎  
 七月⑦空知土功組合設立認可申請  
 八月⑮気温降下、さらに二十七日、二十八日の豪雨で稀有の大凶作。②広小路十丁目小野与太郎「遊楽館」創立（大正六年廃館）⑤滝川金融株式会社創立  
 小西恭蔵支配人となる  
 九月⑮御獄教金勢教会蔵前通りに設立  
 一〇月⑩鉄道下富良野線竣工。③坂東好太郎編「滝川

参加

一〇月㉘立憲同志会（後の憲政会）北海道支部発会式を札幌で挙行  
 一二月㉙衆議院解散  
 滝川町関係  
 二月⑯公立滝川消防組第二部設立（本通二丁目）  
 三月⑩旭川電燈株式会社滝川火力発電所創設（七五キロワット）  
 四月③滝川町火防婦人会組織

町発展史」発行

町発展史」発行  
 一月⑩幌倉駅（現東滝川駅）設置。⑩旭川車掌所滝川支所（現滝川車掌区）設置。⑩岩見沢機関庫滝川分区（現滝川機関区）設置。⑩下富良野線鉄道開通（二十三日祝賀会開催）  
 この年、赤平沼を滝川公園とする運動起こる  
 江部乙村関係  
 二月江部乙火災予防組合設置（終戦により解散）  
 四月⑦山本村長苹果栽培の沿革を空知支長に提出  
 五月⑩忠魂碑建立  
 六月①第三回村会議員選挙  
 この年、緬羊五頭移入。冷害大凶作（水稲は平年作の三パーセント、苹果樹凍害で枯死多数）

九月①初めて市街に電燈がつく（栄町の一部）  
 この年、忠魂碑建立除幕式挙行（二ノ坂練兵場）  
 江部乙村関係  
 一月②滝川興禅寺所属説教所開設（現円覚寺）  
 三月⑥江部乙神社、公認される  
 九月①須麻馬内川以南江部乙の管轄となる  
 十一月②山本彦太村長退職。②三代目村長三沢貫之助就任  
 この年、愛国婦人会江部乙委員会結成

五月②無尽業法公布  
 八月⑫西久保長官警視總監に転出、宮城県知事俵孫一道庁長官に就任

一〇月⑦札幌に日本赤十字社北海道支部仮病院開設  
 十一月①札幌鉄道病院開設。⑩大正天皇即位大典  
 一二月⑦定山溪鉄道開設

滝川町関係

五月③第五回町会議員選挙  
 八月〇道会議員補欠選挙で五十嵐太郎吉当選  
 九月〇在郷人会が招魂祭執行  
 一〇月②町長奥井直吉退職。〇滝川青年会が滝川青年  
 団と改称。さらに滝川町連合青年団創立  
 十一月〇無尽法の制定により滝川金融㈱が滝川金融無

大正五年（一九一六）

国・道関係

四月①鉱業令施行  
 五月②北海道鉄道一千哩記念祝賀会札幌で開催  
 七月⑩簡易保険法公布  
 八月⑩道会議員選挙（第六回）  
 一〇月①簡易保険及び郵便年金創始。⑥俵長官提出の  
 拓殖計画更訂案閣議で決定。⑨大隈内閣総辞職、寺  
 内正毅組閣  
 十一月③裕仁親王立太子礼（今上天皇）挙行。〇札幌  
 の④今井呉服店、百貨店として発足

大正六年（一九一七）

国・道関係

一月②暴風雪全道的に猛威被害甚大  
 四月⑦満州守備隊として第七師団出発。②衆議院議員  
 選挙。②④対敵取引禁止令公布  
 五月⑧第三回極東オリンピック大会東京で開く  
 九月①暴利取締令制定即日施行。⑥銀輸出禁止。⑫金  
 輸出禁止  
 一〇月〇ロシア十月革命  
 滝川町関係  
 一月⑦滝川発電所を富士製紙㈱電気部経営に移す。〇

尽働と改称

江部乙村関係

三月③村長三沢貫之助退職  
 四月①村長職務管掌高井幸次郎就任（七月六日まで）。  
 ①一級町村制施行  
 五月③第四回村会議員選挙（一、二級議員各六名）  
 七月⑦岩佐駒蔵村長に就任。〇水害

一二月⑬ドイツ休戦申入れで取引市場大暴落

滝川町関係

一月①岩見沢警察署滝川分署が滝川警察署に昇格  
 二月⑦金光教滝川教会開所。⑬三代目町長川口敏澄就  
 任  
 四月①北海道銀行滝川出張所設置。①幌倉（東滝川）  
 巡査駐在所設置  
 五月①第二小学校に滝川農業補習学校併置開校式挙行  
 八月⑦空知土功組合設立認可  
 九月①佐藤齒科医院が広小路に開業。〇滝ノ川青年会

農事改良実行組合結成

四月①滝川商業倶楽部改組して滝川実業協会設立  
 六月⑭東部青年会結成。〇西部青年会結成  
 七月④滝川町汚物方法順序制定。②滝川警察署を空知  
 通北一丁目に新築落成祝賀会開催。〇滝川町隔離病  
 舎設置。①滝川金融無尽㈱が小樽無尽㈱と合併、同  
 社滝川支店となる  
 八月②アート・スミス練兵場で飛しょう、自動車も持  
 参。①㈱滝川病院解散閉鎖により、寒河江巧、滝川  
 病院の名を継いで本町に開業

八月⑩江部乙第二小学校竣工（四月二十三日着工）

九月⑤江部乙第二小学校開校式。〇常設委員規則制定（昭和十八年廃止）

一〇月〇私設消防組を公立消防組に認可  
 一二月〇村医の山崎司城が医院開業  
 この年、江部乙村第二墓地設置（東十八丁目）。江口  
 幸太郎が浴場「松の湯」開業

結成

一二月〇役場庁舎を東通六丁目（現在地）の旧警察署  
 庁舎に移転  
 この年、帝国製麻㈱滝川製線工場設置。真宗大谷派  
 説教所本堂建立。滝川宝生会結成

江部乙村関係

一月〇江部乙青年会を江部乙青年団と改称  
 八月⑦空知土功組合（現土地改良区）創設、九月第一  
 回組合議員選挙  
 一〇月〇消防後援会組織

九月⑦北海道銀行の出張所が滝川支店に昇格。③光晧寺新築移転

一〇月①罎構内倉庫㈱創立  
 一二月〇第二小学校幌倉分校落成式挙行。⑫滝川町消  
 防後援会設立  
 この年、滝ノ川三丁目に滝川酪農社創設（翌年南空  
 知大に移転）  
 江部乙村関係  
 六月⑫空知土功組合現場事務所を元屯田兵中隊本部に  
 置く  
 九月⑦江部乙神社村社となる

大正七年（一九一八）

国・道関係

一月⑤全道に大吹雪、列車連絡船不通数日間  
 二月②室蘭町、区制施行  
 四月①札幌農科大学、東北帝国大学から分離して北海道帝国大学と改める  
 五月⑦外米補給法公布  
 八月①開道五十年記念祭挙行。記念博覧会を札幌・小樽で開く。③米騒動全国に波及、十三日東京で軍隊出動。④満洲守備の第七師団をシベリアに出兵させる  
 九月②寺内内閣総辞職、原敬組閣（初の平民内閣）  
 一〇月⑦定山溪鉄道開通  
 十一月①ドイツ降服、第一次世界大戦が終わる

この年、世界的にスペイン感冒流行

滝川町関係  
 二月〇広親会私立消防組設立（五月一日公立滝川消防組第三部として公認）  
 三月〇滝川町火防婦人会を滝川町婦人会と改称。③滝川第一尋常高等小学校空知太分教場廃止  
 四月①種畜場が農林省滝川種羊場として独立。⑨空知太分教場が滝川第三尋常小学校となる。  
 五月③第六回町会議員選挙  
 七月⑫滝川神社村社に列せられる  
 九月⑨北海道拓殖銀行滝川出張所設置  
 十一月〇構内倉庫修竣工業開始  
 一二月②願成寺本堂新築落成。⑨北海道銀行滝川支店

空知大九十二番地に営業所新築

江部乙村関係  
 五月③第五回村会議員選挙  
 六月①電灯が初めてともる（一四四戸）  
 八月⑩西十二丁目に隔離病舎建設  
 一〇月〇役場庁舎建築  
 十一月⑩石川団体分教場設置。⑰村長岩佐駒蔵死亡退職  
 一二月⑬五代目村長岡本岩蔵就任  
 この年、苹果樹（りんご）モニリヤ病でほとんどが無収穫となる

大正八年（一九一九）

国・道関係

一月⑬第一回パリ講和会議開催  
 二月〇流行性感冒全国的（死者統出）  
 四月⑦依道庁長官退官。岡山県知事笠井信一長官拝命。③第七師団帰還（翌月十四日にわたる）。〇東京  
 〓札幌間旅客飛行開始  
 五月⑮鉄道院北海道管理局を札幌管理局と改称。⑮北海道通信局を札幌通信局と改称。⑯衆議院議員選挙法改正、道定員六名を一六名、選挙区一二となる  
 六月⑪北海道製糖株式会社。⑫ベルサイユ条約調印

七月⑬北海道製鉄株式会社、日本製鋼所に合併

滝川町関係  
 一月⑭日本労働党結党  
 三月⑬滝川農業補習学校廃止  
 四月①北海道農産物検査所滝川支所設置（現農林省食糧庁北海道食糧事務所滝川支所の前身）。〇三ッ輪魚菜市場株式会社組織に改組。〇夕印滝川海陸物産市場開設  
 七月①旭川区から岩見沢区裁判所滝川出張所となる。  
 ⑬開町三十年記念式挙行。⑭水害

八月〇滝川火防衛生組合が衛生博覧会を開催

江部乙村関係  
 四月③北辰尋常高等小学校校舎・屋体新築。〇江部乙農産物検査派出所設置（三駐在所設置）。統計調査員任命される  
 七月⑨空知灌漑溝第一期工事（大幹線水路）着工。⑭水害被害甚大

大正九年（一九二〇）

国・道関係

一月⑩平和克復の大詔渙発  
 二月⑫帝国議会解散

三月⑬全国労働連合会創立。⑮財界恐慌、各市場大暴落。〇尼港で邦人惨殺事件起こる

五月①第一回メーデー（上野公園で）。⑩衆議院議員選

挙。〇第七師団、尼港占領（翌十年七月凱旋）

六月⑦本道初めての貴族院多額納税議員選挙。⑩第一回時の記念日

七月①釧路町に区制施行。②十勝清水町に日本甜菜製糖株式会社創立  
 八月⑩第七回道會議員選挙  
 九月⑦帝國連合艦隊小樽に入港  
 一〇月①第一回国勢調査  
 一二月②娼妓の店張禁止、写真とする  
 一二月⑫道会法実施二十年記念式を道會議事堂で挙行  
**滝川町関係**  
 一月⑮滝川町教育会創設（空知教育会の下部組織）。○真言宗教師木曾智順来町布教（郷芳寺前身）

二月⑮町長川口敏澄退職  
 三月⑤庁立滝川中学校設立認可。○小野木工場を滝川木挽工場と改称（木工場の前身）  
 四月⑨四代目町長渡辺忠四郎就任。①国道二十七号（旭川線）、地方費道根室線、準地方費道浜益線等の道路認定。⑦第一尋常高等小学校内の一部を使用、庁立滝川中学校開校一年百名二学級  
 八月⑩道會議員選挙、神部為藏当選。④⑤水害本通三丁目まで浸水  
 この年、滝川市街地青年団結成。滝川体育会結成

**江部乙村関係**  
 四月①町村道路線認定施行  
 六月⑩態之沢分教場開校（四月起工）。○江部乙果樹組合設立（戦後果樹協会と改称）  
 八月④水害被害一五九町歩  
 十一月④村長岡本岩藏辞任。⑦有限責任江部乙信用購買販売組合創設。○天理教宣教所建設（現北陽分会）  
 一二月⑩江部乙郵便局東十二丁目に移転

大正一〇年（一九二一）

**国・道関係**  
 三月③内務省史蹟に手宮洞窟、天然記念物に阿寒湖秘藻、厚岸湖牡蠣島の植物群落、後方羊蹄山の高山植物帯、野幌原始林、円山原始林、藻岩原始林を指定  
 四月⑫メートル法公布。⑭函館大火一、一〇〇余戸全焼  
 五月①苫小牧大火九九八戸全焼。⑦笠井長官退官、愛知県知事宮尾舜治長官辞命  
 八月⑤釧路・根室間鉄道開通  
 十一月⑬首相原敬暗殺され内閣総辞職、高橋是清組閣成立。⑮皇太子裕仁親王摂政となる

一二月⑬日英同盟廃棄。⑮函館控訴院札幌に移転開庁。⑯富士電気機、北海道電灯機と改称  
**滝川町関係**  
 二月②空知大青年団創立  
 三月④滝川町教育会を空知教育会滝川支部に変更。⑫庁立滝川中学校校舎竣工  
 五月③第七回道會議員選挙  
 六月⑮高野山大徳会滝川支部公認（郷芳寺）  
 九月⑩空知土功組合工事完成。○滝川町役場庁舎新築着工  
 一〇月①空知税務署から分離し、滝川税務署設置。

③滝ノ川青年会を滝ノ川青年団と改称  
 一二月⑩滝川町役場庁舎新築落成  
**江部乙村関係**  
 二月⑮六代目村長岩橋浅次就任  
 三月⑩江部乙処女会発足。③北辰小学校保護者の会設立  
 五月③第六回村會議員選挙  
 八月⑧江部乙土功組合創設（現改良区）  
 十一月③空知灌漑溝大幹線通水式  
 この年、栄楽座が開館（昭和三十九年九月閉館）

大正一一年（一九二二）

**国・道関係**  
 二月⑥ワシントン海軍条約調印  
 三月⑩未成年者飲酒禁止法公布  
 四月⑯少年法制定  
 六月⑩北海道土功組合設置。⑫高橋内閣総辞職、加藤友三郎組閣成立

七月⑮北海道鉄道開業  
 八月①北海道六区に市制施行。①札幌支庁を石狩支庁と改称。⑮シベリア撤兵開始（一〇月完了）  
 一〇月⑮日露軍事協定成立  
 十一月③郡制廃止法公布。○宗谷線全通  
 一二月③ソビエト社会主義同盟成立

**滝川町関係**  
 三月⑤菊花友の会（現同好会）結成  
 四月①赤平村が歌志内村より分村。①第二小学校幌倉分教場独立、滝川第四小学校設置。⑦北滝ノ川巡查駐在所設置。⑧庁立滝川中学校三学級募集一六六名入学許可。②日本基督教滝川伝道教会を日本基督

教会滝川教会と改称

五月⑦札幌管林区署滝川担当区員駐在所設置  
六月①岩見沢検査所滝川分所(現客貨車区)開設。○  
小樽新聞滝川支局設置。○(旧)北海タイムス滝川支局  
設置  
七月⑫滝川実業協会大会。⑫幌倉(現東滝川)郵便局  
設置  
八月⑭滝川酒造組合設立。⑮水害、空知川鉄橋流失

大正一二年(一九二二)

国・道関係

一月○北海道医学会設立。○婦人参政権獲得同盟成立  
二月○第一回全日本スキー大会小樽で開催  
四月○衛戍監獄を衛戍刑務所と改称  
六月○道庁長官が総裁となる北海道少年団連盟結成  
八月○北海道庁新館落成  
九月①関東地方大震災。②加藤内閣総辞職、第二次山  
本権兵衛内閣成立。③宮尾長官復興院に転出、大阪  
府知事土岐嘉平長官拝命  
十一月⑩国民精神作興に関する詔書頒発

大正一三年(一九二四)

国・道関係

一月⑦清浦奎吾内閣(貴族院内閣)成立。⑮摂政宮御  
成婚。⑯議會解散  
三月○北海道庁立図書館設置  
四月○北海道樺太連合保護会設立  
五月⑩衆議院議員選挙  
六月⑪清浦内閣総辞職、加藤高明組閣成立(護憲三派  
内閣)。⑫第一回結核予防デー  
七月○札幌少年刑務所開設

九月⑩滝川種羊場庁舎建築

一〇月⑧無限責任滝川信用購買販売組合解散  
一二月⑭駅前巡查駐在所設置  
この年、滝川運輸合資会社解散、⑭加賀井運送店開  
業。北海道中央猟友会結成  
江部乙村関係  
一月○江部乙巡查駐在所庁舎新築  
八月⑮水害・田畑冠水

一二月⑯虎の門事件(難波大助、攝政宮に発砲)山本内閣総辞職

二月○第三尋常小学校屋内運動場新設  
滝川町関係  
四月①初めて納税組合が組織された  
六月②滝川木挽工場全焼(九月再建)  
七月④民謡滝川美声会結成  
九月○(旧)滝川劇場創立(片畑通二八一八番地)⑮⑯  
石狩川・空知川氾濫水害  
十一月⑳空知川堤防工事着工

八月⑩第八回道会議員選挙。⑫小作調停法公布

一〇月⑥農商務省を分離、農林省独立閣議決定  
一二月⑨東京放送局設立翌年七月十二日、日本放送開  
始  
一二月○札幌鉱務署、札幌鉱山監督局と改称。○財団  
法人藤学園創立  
滝川町関係  
二月○滝川救護隊結成(昭和十七年解散)  
四月①滝川女子職業補習学校開校。⑭町長渡辺忠四郎

九月⑤空知灌漑溝落成式挙行(大正八年着工)

一〇月○西十八丁目石狩川護岸工事施行  
一二月⑮江部乙土功組合貯水池竣工(着工四月二十四  
日)○江部乙消防応援団組織  
一二月⑯江部乙東巡查駐在所設置(昭和四十六年五月  
十三日廃止)  
この年、新四国八十八ヶ所の霊場ができる。赤字財  
政におちいり経費を繰上げ流用

この年、片畑通(現大町)に三〇〇KVAの変電所建設。私立滝川義勇消防組結成、空知通北三丁目に番屋建設

江部乙村関係  
二月○三沢貫之助を中心に屯田兵恩給を請願  
七月○真宗興正派松井教薫布教を始める  
九月⑤村長岩橋浅次退職  
十一月○屯田兵恩給給与決定  
一二月⑭七代目村長三沢貫之助就任

死亡退職。○滝川郵便局市内特別郵便物取扱開始。

○(旧)滝川劇場開館(後の北映劇場)  
五月⑩衆議院議員選挙、神部為蔵当選(滝川初の衆議  
院議員)。○郵便局舎新築移転  
六月①第八回町会議員選挙  
九月⑤五代目町長渡辺裕次就任  
十一月⑯空知川堤防竣工。○空知通北五に天理教美滝  
教会設立  
一二年⑮拓殖銀行滝川出張所、支店に昇格。○北海土

功組合灌漑溝工事着工  
この年、高野山大師教会滝川支部大師堂建立（現郷芳寺）

大正一四年（一九二五）

国・道関係

一月⑳日ソ基本条約調印、国交回復  
三月①東京放送局芝浦で試験放送開始。③農商務省を農務・商工の二省に分離（四月一日実施）  
四月①文部省令師範学校規定改正（本科一部五年制、専攻科一年新設）①中学校に軍事教育実施。②治安維持法公布（五月十一日施行）  
五月①陸軍四箇師団廃止実施。⑤衆議院普通選挙法公布  
七月⑫東京放送局本放送開始。⑤朝日新聞社訪欧機「東風」「初風」代々木出発  
八月①閣内不統一のため内閣総辞職、第二次加藤高明内閣成立。○日本農民組合北海道連合会組織

大正一五年（昭和一）（一九二六）

国・道関係

一月⑳加藤首相死亡、若槻礼次郎第一次内閣成立  
二月⑪第一回建国祭  
三月①北海道製酪販売利用組合（後の雪印乳業）発足  
五月⑫十勝岳爆発。④糸屋銀行休業、道北中部地方商工経済界に影響甚大  
六月⑥貴族院多額納税議員補欠選挙  
八月①明治神宮外苑競技場竣工  
九月①天塩線全通  
一〇月⑤普通選挙法による市会議員選挙  
一二月⑫北海道拓殖銀行、糸屋銀行買収合併。⑤大正

江部乙村関係

四月〇高野山説教所（現照光寺）移転新築  
五月⑩第七回村会議員一六名選挙。○出雲神社神殿改

九月⑩貴族院多額納税議員選挙。⑬土岐長官退官、熊本県知事中山健蔵長官拜任。⑭帝国議会議事堂全焼  
一〇月①第二回国勢調査。○北海道新聞協会設立

滝川町関係

三月〇浄土真宗本願寺派仮説教所認可（現広徳寺）  
四月〇上田工業所創業（現上田コンクリート工業所）  
五月⑫滝川町婦人会が乳幼児健康診断を毎月実施を決定。○滝川屯田移住記念碑建立  
六月⑬滝川第四小学校校舎改築認可  
七月⑬忠魂碑を二ノ坂練兵場から滝川神社境内に移転  
九月⑩滝川第一小学校校舎改築完成  
一〇月①第二回国勢調査（人口一万二、七九八人）  
一一月①滝川駅舎新築竣工（七月五日工事着工）

天皇崩御、皇太子裕仁親王踐祚、昭和と改元

滝川町関係

三月①滝川実業協会を改組、滝川商工会設立  
五月⑫糸屋銀行滝川支店閉鎖  
七月①青年訓練所を各小学校に併置  
八月⑫滝川神社御造営御遷座祭執行  
九月⑩滝川自動車運輸創立  
一一月①滝川処女会を女子青年団と改称。○石狩川橋架換修理  
この年、齊藤欣峰「北海民友新聞」、久貝富蔵「愛国新聞」の旬刊紙発刊

築

九月〇免許産婆始めて開業される

一二月⑤第四小学校校舎改築落成祝賀会。⑮第二小学校屋内運動場新築。⑯滝川警察署増改築  
この年、帝国製麻、滝川製線工場閉鎖。滝ノ川西三丁目渡船場廃止

江部乙村関係

一月〇電話架設促進期成会組織（九月認可）  
二月⑯村長三沢貫之助退職。⑰村長職務管掌高尾善次就任（八月十七日まで）  
三月〇仏教婦人会組織  
四月⑧北辰小学校校舎全焼  
八月⑬八代目村長上田梅次郎就任  
一一月⑮屯田兵恩給期成会が江部乙神社に鳥居を奉納。⑰北辰小学校校舎新築

江部乙村関係

二月⑮女子実業学校江部乙女学校設置。○江部乙駅舎改築、跨線橋設置。○電話架設（加入者三六戸）  
五月⑥真宗真正派説教所認可（現西教寺）。○石灰硫黄合剤製薬工場創設  
六月⑮江部乙東巡查駐在所落成  
七月①青年訓練所設置  
一〇月〇島津勇次郎ほか二名、鉱泉湧出をみつめて温泉宿を開業

昭和二年（一九二七）

国・道関係

二月⑦大正天皇大葬  
 三月⑩糸屋銀行預金北海道拓殖銀行引受払戻開始。⑪金融界不安、日銀非常貸出方決定。⑫公益質屋法公布（八月十日施行）  
 四月⑳若槻内閣総辞職、田中義一内閣成立。㉑二十四日まで全国銀行一斉休業。㉒大日本女子青年団設立  
 ㉓中川長官退官、福島県知事沢田牛麿道庁長官拝任  
 五月⑤第一回乳幼児愛護デー実施  
 六月①立憲民政党結成（総裁浜口雄幸）

一月①米麦榾売廃止、メートル法採用実施  
 二月③〇東京地下鉄上野・浅草間開業  
 滝川町関係  
 一月〇吉田儀作「愛国新聞」を発刊  
 二月〇〇滝川川運送社創立  
 三月〇〇滝川刀剣同好会結成  
 五月③第九回町会議員選挙  
 六月⑫道内三十七商工会による「北海道商工会連合会」設立、五十嵐太郎吉会頭となる。㉔砂川町字南空知太石山に在郷軍人分会射撃場を設置

九月⑫滝川自動車運輸創設  
 この年〇東部青年会を東部青年団に改称。〇滝川純正詩社支部（現滝川歌人会）結成  
 江部乙村関係  
 三月〇石川団体分教場廃止  
 四月〇曹洞宗興禪寺所屬説教所新堂、位牌堂落成  
 五月③第八回村会議員選挙。〇乳幼児愛護デー実施。  
 〇消防組二部制施行（認可消防組を第一部、消防応援団を第二部）  
 一二月〇江部乙節風会（現宝生会）結成

昭和三年（一九二八）

国・道関係

一月⑫第五十四回帝国議会解散。㉕日ソ漁業条約調印  
 二月⑫衆議院議員選挙  
 三月⑮第二次共産党大量検挙（三・一五事件）  
 五月⑤人見絹枝第九回オリンピック大会で世界新記録。⑯満洲の治安防衛決定  
 六月④張作霖京奉線列車で爆死。⑤札幌放送局放送開始  
 八月⑩第九回道会議員選挙  
 一〇月①陪審法実施  
 一二月③初の明治節。⑩即位大礼挙式  
 滝川町関係

一月⑯滝川神社郷社に列する。㉖滝川金融無尺榾を滝川無尺榾と改称。〇三ッ輪魚菜市场と滝川海陸物産市場と合併し、滝川市場榾組織  
 二月⑫国会議員選挙で神部為蔵当選（普通第一回全道五区制となる）  
 四月〇北海道庁河川監視滝川駐在所設置。㉗町長渡辺祐次退職  
 五月⑮札幌土木事務所滝川道路保護区（現土木現業所）が栄町に設置  
 九月⑬六代目町長津田美之助就任。〇運海寺明神町に新築移転  
 一二月④滝川町御大礼記念貯金組合結成

江部乙村関係  
 二月〇江部乙商工会設立  
 三月〇畜牛組合酪農組合設立  
 四月⑦江部乙婦人会結成。⑮江部乙女子青年団組織  
 八月⑯村長上田梅次郎退職  
 一一⑨江部乙神社境内に開村記念碑建立。⑩開基三十五年記念式典挙行。〇火の見櫓にモーターサイレン取付  
 二月⑯九代目村長大崎栄吉就任  
 この年、農事実行組合生まれる

昭和四年（一九二九）

国・道関係

四月⑫資源調査法公布。⑯共産党大量検挙（四・一六事件）  
 六月③中国国民政府を正式承認。⑰駒が岳大噴火附近

町村被害甚大  
 七月②田中内閣総辞職、浜口雄幸組閣成立。⑤沢田長官退官、朝鮮総督府拓殖課長池田秀雄道庁長官拝任。㉘緊縮実行予算発表

八月⑯ドイツ飛行船ツェペリン伯号霞が浦着陸  
 一二月②上越線、清水トンネル貫通  
 滝川町関係  
 三月⑮滝川町連合女子青年団結成。〇税務署庁舎を新

築

四月⑩町立滝川高等女学校設置認可。○公立滝川消防組第四部設立(義勇消防組を公認)  
 五月⑩町立滝川高等女学校開校(第一尋常高等小学校内)○北海道功組合灌漑開始  
 六月⑦商工会規則の制定により滝川町商工会に改組。  
 ⑩滝川屠場合資会社が「獣魂碑」建立  
 二月②神智教空知講社開所(昭二一・六・一八支教)

昭和五年(一九三〇)

国・道関係

一月⑪金輸出解禁。⑪日本銀行額面百円兌換券発行。  
 ②第五七帝國議會解散  
 二月②衆議院議員選挙  
 四月②ロンドン海軍条約調印  
 七月②全国大衆党創立  
 八月①道産品愛用週間実施。②東京、大阪間電送写真開始  
 一〇月①東京、神戸間超特急「燕」運転開始  
 十一月④浜口雄幸総理狙撃される。外相幣原喜重郎代理  
 この年、大豊作と恐慌で農産物価格の崩落

昭和六年(一九三一)

国・道関係

一月①ソビエト通商代表局少樽支部設立  
 三月③地租法公布  
 四月①小学校長会「北海道小学郷土読本」出版教科書に採用。④浜口内閣総辞職、第二次若槻内閣成立  
 五月①第一回乳幼児愛護週間  
 六月①勅令公布官吏減俸となる

会許可)。②滝川高等女学校新校舎落成により移転(現滝川高校)  
 この年、滝川畜産組合設立

江部乙村関係

五月②熊穴川土功組合創設  
 六月①江部乙輪友会結成  
 七月②江部乙第二小学校増築落成式(五月六日起工、七月十八日竣工)

滝川町関係

一月①第一回スキー大会を石山スロープで開催  
 二月②保証責任滝川信用購買販売利用組合設立(のちの滝川産業組合)。②国会議員選挙神部為蔵当選  
 三月⑤滝川女子職業補習学校廃校  
 五月⑩滝川高等女学校校舎落成式、開校式。○滝川略農社、勇払郡安平村遠浅に移転。○日之出無尽(株)滝川出張所設置。④第十回町会議員選挙  
 七月②私設幌倉消防組設立  
 八月⑦第二小学校校舎大修理  
 九月⑤空知太説教所許可創立(現北泉岳寺)。⑥斤立滝川中学校理科室増築

八月⑩第一回全道自転車競技大会を北辰小グラウンドで開催  
 九月①江部乙集乳所開設  
 十一月①消防自動車ポンプを初めて設置  
 一二月①熊穴川土功組合貯水池竣工  
 この年、乳幼児健康相談開始

江部乙村関係

一〇月①国勢調査実施(人口二万三、五一九人)  
 この年滝川ハーモニカバンド結成(昭二二・滝川管絃楽団と改称)  
 江部乙村関係  
 四月⑫円覚寺寺号公称。○家屋税調査委員会発足  
 五月③第九回村会議員選挙  
 七月①江部乙公園造成  
 一〇月②熊穴川土功組合貯水池落成式、記念碑建立。  
 ○健康週間実施

滝川町関係

一二月⑬若槻内閣総辞職、犬養毅組閣成立。○金輸出再禁止令公布  
 この年、東北・北海道冷害大凶作。失業者増  
 滝川町関係  
 三月③第一回滝川町実業卓球大会開催。○農林省札幌統計調査事務所滝川出張所設置  
 四月①町立滝川高等女学校を北海道庁立に移管

滝川町関係

一二月⑬若槻内閣総辞職、犬養毅組閣成立。○金輸出再禁止令公布  
 この年、東北・北海道冷害大凶作。失業者増  
 滝川町関係  
 三月③第一回滝川町実業卓球大会開催。○農林省札幌統計調査事務所滝川出張所設置  
 四月①町立滝川高等女学校を北海道庁立に移管

六月①内国及び日支和欧文並びに外国電報取扱開始  
七月①滝川煙草販売所設置。①滝川無尺俵は小樽無尺俵と合併して小樽無尺俵滝川支店となる。○滝川町野球協会設立  
九月⑧広徳寺本堂新築寺号公称

昭和七年（一九三二）

国・道関係

一月②第六〇議会展散。⑧上海事変ぼっ発。○兌換停止緊急勅令実施  
二月②衆議院議員選挙  
三月①満洲建国宣言  
四月⑧再建共産党首脳検査  
五月⑤犬養首相暗殺される（五・一五事件）。高橋是清臨時首相兼務。②内閣総辞職、斎藤実内閣成立  
六月②第七師団先遣隊北支向け出発。②警察庁に特別高等警察部設置  
七月⑤第一回社会事業デー  
八月①第十回オリンピック大会ロサンゼルスで開催。  
⑩道会議員選挙  
九月①浦河支庁を日高、河西支庁を十勝と改称。①貴

昭和八年（一九三三）

国・道関係

二月④帝國軍用犬協会北海道支部旭川で創立総会  
三月⑬水産物検査道営認可公布。⑦国際連盟脱退詔書  
⑧換発  
四月①国定教科書色刷りとなる。①児童虐待防止法公布  
六月①日支停戦協定調印。⑫娼妓取締規則改発  
八月②汚物掃除法実施

この年、滝川酪農組合集乳所開設（昭十年六月北海道製酪組合連合会に譲渡）。大凶作  
江部乙村関係  
一月②下四号渡船場設置認可（昭二十六年ごろ廃止）  
四月⑧江部乙土功組合貯水池築堤欠漬（九月復旧工事

族院多額納税議員選挙

一月⑧国立公園七カ所正式決定。○大日本国防婦人会創立  
二月②宗谷丸稚泊連絡に就航  
滝川町関係  
二月⑤農林省滝川種羊場を北海道地方費に移管○北門日報社滝川支局設置  
四月①滝川消防組常備消防部設置  
五月①石黒貞一（白萩）が「独歩の碑木」を建立  
六月⑩第一・第三小学校学校林敷地問題交渉妥結  
七月②滝川綿羊組合羊毛加工奨励部設置  
八月⑤石狩川大洪水、農作物等被害甚大  
一〇月①消防組消防本部建物竣工  
十一月⑤拓殖銀行滝川支店建築竣工。○滝川紫山流盤

一月①第一回図書週間開催。④札幌旭川間連絡試験郵便飛行成功

滝川町関係

一二月①道内に三等寝台車連絡運転開始。①樽前山大爆発。②皇太子明仁親王誕生  
四月①公立滝川消防組一部が四部を併合して三部制で発足。⑨第一回北部空知卓球大会開催

着工）  
五月①消防第二部に消防自動車ポンプ設置、番屋新築  
この年、短歌紀元江部乙支社（現短歌連盟）結成。  
江部乙副業組合設立。冷害

景（現滝川紫山会）結成

二月①二ノ坂郵便局を一ノ坂に移転、一ノ坂郵便局と改称  
この年○東部青年倶楽部設立。○赤平沼を滝川公園にする期成会結成、同時に厳島神社を建立。○滝川自動車運輸俵を滝川バス俵と改称  
江部乙村関係  
二月①凶作救済肥料資金借入保証  
四月①開村三十五年史（江部乙村史）刊行  
八月①前後八回に及ぶ大洪水、被害甚大（水稻反収四斗五升）  
一〇月①真宗本願寺派光明寺本堂落成  
十一月①江部乙土功組合貯水池復旧工事竣工  
十二月⑥村長大崎栄吉退職

五月①第一・第三小学校保護者会による学校林植樹開始

六月②町立社会病院建設起債一三万円許可される  
七月③石狩川上流地方大豪雨のため氾濫被害大  
一〇月②町立社会病院設立認可  
十一月②町長津田美之助退職。⑦浄土宗南空山泉学寺寺号公称  
十二月②滝川町綿羊組合組織

江部乙村関係

五月⑳経済更正五カ年計画樹立  
六月㉑江部乙信用購買販売組合が有限責任から保証責

昭和九年（一九三四）

国・道関係

三月①満洲帝国誕生。②函館市大火（二万三千六百余戸全焼）  
六月③中等学生制服統一、国防色詰袴戦闘帽

七月④齊藤内閣総辞職、岡田啓介組閣成立  
八月⑤石狩川第一区治水式及び第二区工事起工式を江別で行う。  
一〇月⑥第十五回赤十字国際会議東京で開催  
一二月⑦丹那トンネル開通。④大雪山及び阿寒、日本中部山岳 日光、阿蘇とともに国立公園に指定  
この年、全道的に凶作。ロンドン海軍条約破棄

滝川町関係

昭和一〇年（一九三五）

国・道関係

一月⑩日本の南洋委任統治継続を国際連盟確認  
三月⑪実業補習学校令青年訓練所令廃止、青年学校令公布。⑥中国政府排日取締令発布。⑦国際連盟脱退の効力発生  
四月⑫北大水産専門部を廃止、函館高等水産学校開校。⑩文部省全国学校に国体明徴を訓令。  
七月⑬函館開港七十七周年記念第一回港祭三日まで行う。⑬関門トンネル計画実測に着手  
九月⑭天皇機関説問題となり美濃部達吉貴族院議員辞職  
十一月⑮同盟通信社設立認可。⑯天売島海鳥天然記念物に指定

任に変更（昭十九年解散）  
七月①政府米一万俵の貸付を受ける。⑯大崎栄吉が村長に再選される

八月○水害発生  
九月○石狩川沿岸道路設置期成会結成

一月⑮七代目町長小華和貞男就任  
四月①佐々木舞踊研究所（現藤間流日本舞踊研究所）結成。⑩町立社会病院建築工事に着手（十月二日竣工）。○私設幌倉消防組詰所建設  
五月③第十一回町会議員選挙  
七月○南空山泉寺本堂建立  
八月⑮農産物検査支所庁舎建設  
九月⑲北海道地方費岩見沢森林事務所滝川分区員駐在所設置  
一〇月⑩札沼線、中徳富・浦臼間開通。③道会議員補欠選挙山田清孝当选  
十一月①町立社会病院開院、隔離病舎開設。十日開院

この年、全道的に冷害凶作  
滝川町関係  
一月○北海民友新聞を滝川町報に改称  
四月①青年訓練所を青年学校と改称（昭二十二年廃止）①北海道林産物検査所岩見沢支所滝川駐在所設置。⑥滝川郵便局特定三等局に昇格。○滝川陸上競技部結成。③町長小華和貞男退職。○旭川新聞滝川支局設置  
五月②八代目町長神部為蔵就任  
六月○北酪連空知中央ミルクプラント設立。市乳販売を行う。○生長の家支部創設。○札幌土木事務所滝川道路保護区新町に新築移転

式挙行。⑲空知大橋架換工事竣工  
この年、滝川市場（榑）を滝川卸売市場（榑）と改称。滝川スキー会（昭十九年スキー連盟と改称）結成。夏の低温で冷害  
江部乙村関係  
一月⑲石狩川沿岸道路構築施行を議決  
五月⑲第十回村会議員選挙。⑮北辰尋常高等小学校校舎増築落成（昭八・九・一八着工、昭九・五・二一竣工）  
九月○江部乙綿羊組合設立（昭十九年農業会に吸収され解散）  
十一月○空知土功組合江部乙事務所新築

七月⑲大暴風雨  
八月①青年学校開校  
九月⑲岩見沢森林事務所滝川分区員駐在所として新津川から移転設置。③滝川第三小学校位置変更校舎新築竣工  
一〇月③札沼線鉄道全通。⑬滝川第三小学校位置変更認可  
江部乙村関係  
二月○養鶏組合設立（昭十九年農業会に吸収解散）  
三月○女子実業学校江部乙女学校廃止  
四月①青年訓練所を青年学校と改称  
九月○石狩川沿岸道路竣工（一月起工）

この年、全道的に冷害凶作  
滝川町関係  
一月○北海民友新聞を滝川町報に改称  
四月①青年訓練所を青年学校と改称（昭二十二年廃止）①北海道林産物検査所岩見沢支所滝川駐在所設置。⑥滝川郵便局特定三等局に昇格。○滝川陸上競技部結成。③町長小華和貞男退職。○旭川新聞滝川支局設置  
五月②八代目町長神部為蔵就任  
六月○北酪連空知中央ミルクプラント設立。市乳販売を行う。○生長の家支部創設。○札幌土木事務所滝川道路保護区新町に新築移転

この年、全道的に冷害凶作  
滝川町関係  
一月○北海民友新聞を滝川町報に改称  
四月①青年訓練所を青年学校と改称（昭二十二年廃止）①北海道林産物検査所岩見沢支所滝川駐在所設置。⑥滝川郵便局特定三等局に昇格。○滝川陸上競技部結成。③町長小華和貞男退職。○旭川新聞滝川支局設置  
五月②八代目町長神部為蔵就任  
六月○北酪連空知中央ミルクプラント設立。市乳販売を行う。○生長の家支部創設。○札幌土木事務所滝川道路保護区新町に新築移転

昭和十一年（一九三六）

国・道関係

一月②第六十八帝国議会解散  
 二月⑩衆議院議員選挙。⑥陸軍青年将校、兵約一、四〇〇名を率い重臣を襲撃（二・二六事件）。東京に戒厳令  
 三月⑨岡田内閣総辞職、広田弘毅組閣成立  
 四月⑤屯田兵恩給疑獄終結。②佐上長官退官、朝鮮総督府警務局長池田清道厅长官拝任。④プロ野球連盟初めて公式戦を甲子園で行う  
 六月⑬北海道東北一帯皆既日蝕、世界各国の学者来道観測  
 七月⑪札幌八窓庵国宝指定。⑦東京戒厳令解除  
 八月①第十一回オリンピック大会ベルリンに開く。⑩第十一回道会議員選挙。③樺太始政三十周年記念式豊原町で行う

昭和十二年（一九三七）

国・道関係

一月②広田内閣総辞職  
 二月②林銑十郎陸軍大将組閣。⑪文化勲章制定（第一回九名受章）  
 三月③第七十帝国議会解散  
 四月①札幌・東京間定期航空開設。①札幌市内電話度数制実施。⑥神風号（飛行機）出発（九日亜欧連絡成功ロンドン着）⑨衆議院議員選挙  
 五月③林内閣総辞職、六月四日までに近衛文麿組閣成立  
 六月⑤池田長官退官、岩手県知事石黒英彦道厅长官拝任  
 七月①樺太豊原町に市制施行（樺太唯一の市）⑦蘆溝

年表

九月⑪札幌・小樽間速達郵便制度実施。⑤帝国在郷軍人会公布（十月十一日実施）。⑥天皇北海道行幸室蘭着  
 一〇月⑩天皇函館出港退道。⑭官報「週報」発刊  
 十一月⑦帝国議会議事堂竣工落成式祝賀会。②帯広放送局開局。⑤日独防共協定成立調印  
 十二月②日伊協定成立。②市外通話規則改正実施。従来の一通話五分を三分とする  
 この年、政府はメーデーを禁止。ロンドン軍縮会議脱退通告

滝川町関係

四月〇林己之助、汚物清掃業を開始（昭和十二年、林清掃社創立）  
 六月⑪滝川町軍友会結成（終戦により解散）  
 八月⑩道会議員選挙、山田清彦当選。⑦滝川神社県社

橋事件（日華事変発端）⑬全国郵便制開始

八月⑩日高線浦河〜様似間開通して全線開通。⑮第一回北海道連合青年団大会小樽で開催  
 一〇月⑩第一回文部省美術展覧会（通称文展）開催。  
 〇国民精神総動員に関する告示公布  
 十一月⑥日独伊三国防共協定成立  
 一二月⑬南京陥落。〇愛国行進曲発表  
 滝川町関係  
 六月⑦滝川警察署を警視署長の警察署に指定。〇大日本電力滝川営業所火災類焼により大町から栄町に移転  
 八月②滝川町方面事業助成会を組織  
 九月③滝川町婦人会を滝川町国防婦人会と合併大日本

に列せられる。〇愛国新聞は滝川毎日新聞と改称

九月③滝川第三小学校校舎竣工（十月二十六日移転）  
 一〇月①滝川第一小学校校舎増築認可。④幌倉種羊場に甘露寺待徒御差遣。〇滝川駅跨線橋移設改築  
 十一月①幌倉郵便局局舎改築  
 この年、滝川保線区建物竣工

江部乙村関係

三月〇稲熱病防除規程を設定  
 四月⑬河川保護組合支部水防班組織。〇村は設定調査常置委員委嘱  
 五月〇青年団が献上米斎田奉仕  
 一〇月〇江部乙りんご献上嘉納及び天皇お買上げの栄に浴する

国防婦人会滝川町分会と改称。⑥滝川町銃後援会結成。〇滝川町防護団結成。④第四尋常小学校新校舎落成  
 一二月〇滝川町道路保護組合設立  
 この年、司法保護委員が委嘱された（現滝川地区保護司）

江部乙村関係

四月①方面委員委嘱される  
 五月⑤江部乙村は設定される。〇聖旨奉戴記念植樹実施  
 六月〇石狩川沿岸道路竣工記念碑建立  
 七月⑮村長大崎栄吉退職。〇第一回召集令状令達される

八月<sup>18</sup>十代目村長米野源一就任。○統後援会設立

昭和十三年（一九三八）

国・道関係

一月<sup>4</sup>岡田嘉子（女優）樺太半田沢から越境ノ連ヘ逃亡。<sup>6</sup>厚生省新設。<sup>20</sup>近衛内閣对支方策発表  
 二月<sup>1</sup>綿製品にスフ混用割実施。<sup>11</sup>帝国憲法発布五十年式典。<sup>26</sup>釧路放送局開局  
 三月<sup>1</sup>綿糸配給統制規則実施（切符制）。<sup>7</sup>ガソリン及び重油販売取締規則実施。<sup>8</sup>道会議員補欠選挙。<sup>22</sup>北海道結核予防委員会発会。<sup>24</sup>国家総動員法案成立（五月五日公布）  
 四月<sup>1</sup>農地調整法公布  
 五月<sup>1</sup>重要産業統制法実施。<sup>18</sup>徐州完全占領。<sup>19</sup>東京へ札幌間電送写真開始  
 六月<sup>15</sup>道樺青年団服装、国防色折袴式に統一  
 八月<sup>10</sup>張鼓峰事件日ソ停戦協定成立  
 十一月<sup>25</sup>日独伊文化協定調印

この年、空知畜産組合江部乙駐在所設置（昭二十三

年度廃止）

二月<sup>20</sup>石黒長官退官、神奈川県知事半井清道庁長官

兼任。<sup>23</sup>ソ連函館領事館閉鎖。○北海道人造石油（株）設立  
 滝川町関係  
 一月○男子青年団と女子青年団が合併して滝川町連合青年団結成  
 二月<sup>1</sup>滝川木材創立（座主木工場を買収）  
 四月○神理教滝川分教会開所  
 五月<sup>31</sup>第十二回町会議員選挙  
 七月<sup>1</sup>岩見沢職業紹介所滝川出張所開設。○滝川消防組後援会再設立  
 八月<sup>20</sup>滝川及び留萌に石炭液化工場設置決定○夕張鉄鋼所滝川第三工場設立決定。<sup>33</sup>滝川警察署演武場新築  
 一〇月<sup>1</sup>札幌釧山監督局滝川支所設置（五日庁舎完

成）○蛸の首短切着手。○貯畜報国碑除幕  
 この年、滝川卸売市場（株）栄町に移転  
 江部乙村関係  
 一月○男子青年団と女子青年団が合併して江部乙青年団を結成  
 三月○江部乙商業組合創立  
 四月○江部乙婦人会を国防婦人会と改称  
 五月<sup>31</sup>村会議員選挙  
 六月○国民貯畜組合を結成  
 九月○青年会館落成  
 一〇月○円覚寺本堂落成  
 十一月○真宗興正派説教所本堂落成  
 一二月<sup>2</sup>江部乙第二小学校屋内体操場建築。○北辰小学校屋内体操場増築。○村立江部乙医院開院診療開始

昭和十四年（一九三九）

国・道関係

一月<sup>5</sup>近衛内閣総辞職、平沼騏一郎組閣成立。<sup>25</sup>警防団令公布（四月一日施行）消防組廃止  
 三月<sup>31</sup>高等工業学校室蘭市設置決定（五月二十二日開校）  
 四月<sup>1</sup>全国の統後援会を統後奉公会と改称  
 五月<sup>18</sup>ノモンハン事件勃発。<sup>22</sup>青少年学徒に勅語頒発  
 七月<sup>8</sup>国民徴用令公布。<sup>26</sup>米国通商条約廃棄通告  
 八月<sup>1</sup>道庁土木部各地土木事務所を土木現業所と改称。<sup>30</sup>平沼内閣総辞職、阿部信行大将組閣成立  
 九月○英仏が独独宣戦を布告（第二次世界大戦が勃

発）<sup>4</sup>欧州戦不介入声明。<sup>5</sup>半井長官転出、宮城県知事戸塚九一郎道庁長官兼任。<sup>16</sup>ノモンハン日ソ停戦協定成立。<sup>25</sup>道米公定価格決定  
 一〇月<sup>1</sup>日鉄北海道工場室蘭に完成  
 一二月<sup>1</sup>中央气象台札幌支台を札幌管区气象台と改称  
 この年、中央物価委員会が物価統制大綱を決定、米穀掲揚等制限令、肥料配給統制規則、木炭配給統制規則などの公布などが行われた  
 滝川町関係  
 一月<sup>11</sup>各運送店を合併滝川通運（株）設立  
 四月<sup>1</sup>滝川高等女学校補習科附設。○消防組と防護団

と併合して滝川警防団組織二部制。消防後援会を警防団後援会と改称。<sup>12</sup>統後援会を滝川町統後奉公会と改称。<sup>26</sup>青年学校義務制実施（二十二年廃止）  
 ○蛸の首短切工事竣工通水。○旭川新聞滝川支局設置（十五年三月廃止）  
 五月<sup>7</sup>滝川司法保護委員会結成  
 六月<sup>9</sup>北海道人造石油株式会社起工。○池の前地区石狩川切替工事着工  
 七月<sup>25</sup>高橋信行著「滝川昔物語」発行  
 八月<sup>1</sup>滝川道路保護区を札幌土木現業所滝川派出所と改称

一〇月⑧滝川町商業組合設立總會を開催  
一二月⑮深川機関区から分離して滝川機関区が設置される  
江部乙村関係

昭和十五年(一九四〇)

国・道関係

一月⑯阿部内閣総辞職、米内光政大將組閣成立。⑳日米通商条約失効  
三月⑭札幌女子師範学校開設認可(四月開校)  
五月⑬第一回報国債券売出。⑮北海道連合青年団を北海道青年団と改称  
七月⑬陸軍兵備体系改革四軍管区設定。⑳米内内閣総辞職、第二次近衛内閣成立。㉑札幌、東京間航空無期停止  
八月⑩第十二回道会議員選挙。㉒臨時米穀配給統制規則公布  
九月⑪内務省全国町内会部落会に訓令通達。㉓国民体

一月〇村農会に畜産技術員を設置。〇江部乙青年団の支部制を分団制とする。①農地委員会を設置  
二月〇家畜診療所を創設。〇廃品回収運動実施  
四月①消防組を警防団と改称。消防組後援会を解消し

方法実施。㉔日独伊三国条約締結

一〇月①国勢調査。⑫大日本大政翼賛会創立(終戦とともに解散)  
一月①国民令公布実施。⑩紀元二千六百年式典。㉕町内会部落会規則庁令公布。㉖日支基本条約日滿支共同宣言調印(南京)  
滝川町関係  
一月⑩滝川町商業組合認可  
四月〇(株)夕張製作所滝川事業所建設着工。〇滝川駅構内に滝川鉄道鍊成所を設置  
六月②浄土真宗大谷派高竜山説教所開設(現瑞光寺)  
一〇月①国勢調査(人口一萬六、三五三人)①滝川町

て警防団後援会設立  
六月〇満洲建設勤勞奉仕隊に江部乙村からも参加  
この年、燕麥、亜麻、玉蜀黍の作付割当てが行われた

史発行⑩人造石油研究所落成式。⑰開町五十周年記念式挙行。〇豊滝神社建立  
一月③夕張製作所滝川作業所設置建物竣工  
江部乙村関係  
五月②米野源一村長死亡退職  
六月②十一代目村長鞍田武夫就任。〇第二次満洲建設勤勞奉仕隊参加。〇砂糖、マッチ、米の切符制  
九月①江部乙国民健康保険組合設立  
一月〇決死の標を石碑で建立。〇稲熱病発生  
一二月〇農業増産報国推進隊北海道隊編成に参加

昭和十六年(一九四一)

国・道関係

一月⑩大政翼賛会北海道支部結成。⑯大日本青少年団結成  
四月①青年学校本科義務制実施。国民学校令公布。①生活必需品統制令公布。⑬日ソ中立条約締結  
七月⑬第二次近衛内閣総辞職、第三次組閣成立。⑮英米日本資産凍結を通告  
一〇月⑬第三次近衛内閣総辞職、東条英機大將組閣成立  
一月②国民勤勞報国令公布。⑮防共協定五カ年延長(ベルリン)

一二月⑧対米・英・蘭に宣戦(太平洋戦争突入)①日・独・伊三国協定調印。⑨言論、出版、集会、結社等の臨時取締令公布実施  
滝川町関係  
一月⑩大政翼賛会滝川支部結成  
二月①職業紹介所を国民職業指導所と改称。①滝川郵便局が指定郵便局となる。②青少年団協議会結成  
三月⑧荒地防止対策委員会開催。③天理教滝昇宣教所を龍昇分教会と改称  
四月①国民学校令により各小学校を国民学校と改称。①各乳業公社統合により北海道興農公社設立。②滝

川森林事務所設置(現林務署)②⑥電信受信にタイプライター使用、滝川郵便局が普通郵便局に昇格  
六月〇雪印乳業滝川工場新改築。〇人造石油工場コーラス炉火入、使用開始  
九月⑦池の前石狩川切替え工事竣工通水。⑨簡易保険、郵便年金事務取扱開始  
一〇月⑥一ノ坂町に滝川鉄道鍊成所新築落成、入所式挙行  
一月〇プロテスタント教会合同により日本基督教団滝川教会と改称  
一二月②滝川国民職業指導所独立昇格

この年第二小学校に滝川地区防空監視哨を設置した  
江部乙村関係

一月〇大政翼賛会江部乙支部結成。〇区制度を廃し、部落会、町内会とし、同時に連合会制度とした。〇江部乙養豚組合を組織（昭十九年農業会に吸収解

昭和十七年（一九四二）

国・道関係

一月②マニラ完全占領。⑧興亜奉公日を廃し、大詔奉戴日を設定実施。⑬日・独・伊新軍事協定調印  
二月①衣料品点数切符制実施。⑫愛国婦人会、大日本国防婦人会、大日本連合婦人会各解散大日本婦人会結成。⑮味噌醬油通帳制実施。⑮シンガポール陥落  
三月⑨蘭印軍隊降伏  
四月⑩衆議院議員選挙  
五月⑩関門トンネル貫通（十一月十五日開通）  
六月①野付牛町市制施行北見市と改称。⑮戸塚長官退官、兵庫県知事坂千秋道庁長官兼任  
八月⑦ソロモン海戦。②中学校・高等学校在学年限一カ年短縮実施要綱発表  
九月⑦青壮年国民登録実施  
一〇月⑪国鉄二十四時間制採用

昭和十八年（一九四三）

国・道関係

一月⑬米英音楽追放、敵国レコード回収  
四月①樺太行政、内地編入実施。①夕張・岩見沢両町に市制施行。⑬東京・名古屋地方に米軍機襲来。②東条内閣改組  
五月⑨幌別村附近米潜水艦から砲撃を受ける。②山本連合艦隊司令長官戦死発表（死亡四月）⑩アッツ島

散）

三月〇商業報国会、産業報告会、労務報告会設立。③江部乙第二小学校を東陽尋常小学校に改称  
四月①北辰尋常高等小学校を北辰国民学校に、熊ノ沢分校を旭沢分校、東陽尋常小学校を東陽国民学校と

一月①大東亜省開庁。①道内日刊十一新聞統合、北海道新聞開設。②兵制発布七十年記念  
二月④文部省標準漢字決定発表  
滝川町関係

一月⑦滝川森林事務所庁舎落成  
二月⑫大日本婦人会滝川支部結成  
四月①庁立滝川高等女学校、一学年三学級募集。①大日本電力は配電統制令により北海道配電株式会社と改称。①第四国民学校に高等科併置。②庁立滝川中学校内に町立夜間中学校設立開校式  
五月③第十三回町会議員選挙  
七月②大谷派滝の川教会認可（現瑞光寺）⑩滝川北郵便局設置（現黄金郵便局）  
一〇月⑨町立社会病院第二病棟竣工。③滝川森林事務所が併合され札幌幌宮林区署滝川作業所と改称

守備隊全滅

六月①改正市町村制実施、北海道一、二級町村制廃止。⑬国民服制特令公布  
七月①東京都制実施  
九月⑧イタリヤ無条件降伏。②十七職種に男子就業禁止。女子動員強化策発表  
一一月①農林・商工・通信・鉄道の四省を廃止軍需・

改称した

六月〇生活必需品物資が順次切符制となった  
八月〇大谷派専光寺本堂落成  
九月〇青果物配給統制会社江部乙駐在所開所  
一〇月〇江部乙防犯協会結成

一月①北海道新聞社滝川支局設置。②演習軍隊駐泊、三、四八〇人  
二月〇石狩川橋木橋部分架換修理。③配給機構の改定により滝川卸売市場と新十津川魚菜市场解散合併、滝川鮮魚介配給統制制を創立  
この年、人造石油合成総合運転開始。人石に保育所設置（ひばり保育所）。滝川救護隊解散  
江部乙村関係

五月③村会議員選挙。〇東十三丁目に空知支庁江部乙苗圃創設  
六月〇本格的な学徒労働動員が行われた  
この年、農産物検査派出所を江部乙村食糧検査派出所と改称（駐在所を廃止）

農商・運輸通信の三省設置

一二月③青壮年国民登録改正令四十五歳まで適用範囲拡大。④徴兵適齡一九歳に引下実施  
滝川町関係  
一月〇滝川若葉会支部（三曲）発足  
二月③滝川町国民健康保険組合認可設立  
三月①北海道中央乗合自動車（滝川営業所発足）（滝川

バス(株)を強制合同吸収) ③必勝祈願祭、大空知総進軍町民大会

四月①第二・第三小学校高等科併置。滝川高等女学校補習科廃止。①北海道食糧配管滝川出張所設置(七月一日滝川支所となる)。⑬町長神部為蔵退職、佐藤伸昭町長代理(助役)

五月⑤人造石油工場一部焼失。⑩健民週間始まる。⑬町会(有給町長条例の制定) ⑭青年学校統合入校式。⑯防空監視哨を警察署に移転  
六月①北郵便局新局舎完成。⑳滝川商工会解散、羊毛加工所廃止

昭和一九年(一九四四)

国・道関係

一月⑧新防空法実施。⑱緊急国民勤労働員方策要綱発表  
二月①小樽高等商業学校、經理専門学校に転換。⑤女子学生戦時基準服制定。⑤国民登録制拡大一二歳から男子六〇歳、女子四〇歳までを徴用公布。②臨時人口調査。②決戦非常時措置の高級娯楽停止、官庁の常時勤務、官吏の出張制限等実施

三月⑥全国新聞いっせいに夕刊廃止。⑲中学校の勤労働員大綱決定通牒  
四月①旅行制限実施。①第七師団司令部、旭川より帯広に移駐(熊部隊と呼称)

五月④国民総けっ起運動中央総会を日比谷公会堂で開催  
六月⑯B29北九州を空襲、本土初空襲  
七月⑬サイパン島守備軍全滅。⑳東条内閣総辞職、小磯、米内協力内閣成立。㉑学徒勤労働員の徹底強化等決定

七月④保育所開所式(北滝の川) ⑥光暁寺太子堂に滝川託児所開設  
八月②決戦完勝大会。⑦庁立滝川中学校校舎屋内体操場増築落成式。○蛭子座を「滝川映画劇場」と改称(明治四十四年十月と昭和十二年改増築) ○常設委員設置規程廃止、参与設置条例制定  
九月①森林事務所を岩見沢管林区署滝川出張所と改称。⑫空知川出水

一月①国民職業指導所を滝川勤労働員署と改称①滝川町農会、滝川産業組合解散。⑤役場日曜廃止。⑳東

八月④一億総武装閣議決定、各地に竹槍訓練実施。③①台湾人徴兵制度実施  
九月①北海道拓殖銀行、北海道銀行を合併。③②会社統計及び商業調査当分停止を公布  
一〇月⑧満一八歳以上を兵役に編入  
十一月①たばこ一人一日六本配給制実施。④B29東京初空襲、京都初爆撃。⑤福券第一回抽せん  
二月⑦札幌に庁立女子医学専門学校設立  
滝川町関係

一月⑬滝川高等女学校校舎増築落成式。⑱第二小学校校舎増築落成式。⑲滝川高等女学校附設保育所開設。⑳薬工品増産推進支部結成。㉑町立夜間中学校後援会発会式。㉒空知勤労働員青年研究発表大会開催(於第三小学校)  
二月⑮小樽無尺(株)が北洋無尺(株)に合併、北洋無尺(株)滝川支店と改称  
三月①国民職業指導所を滝川勤労働員署と改称①滝川町農会、滝川産業組合解散。⑤役場日曜廃止。⑳東

決定  
二月①戦勝祈願祭。⑩九代目町長斉藤昂一就任。○滑空訓練所敷地買収調印。○滝川国民職業指導所改造移転  
江部乙村関係  
二月①追補責任江部乙森林組合創設(昭和四十八年解散)  
五月①開基五十年記念式典挙行  
八月⑨常設委員設置条例廃止、参与条例制定  
一〇月①勤労奉仕隊組織  
この年、金属類の供出、回収が強化された

五丁目国費排水工事竣工式。⑳滝川町農業会発足  
四月①滝川高等女学校内に看護婦講習所開設。⑦軍馬祭。⑮初の空襲警報発令  
五月②警防団三部制(消防部・警護部・救護部) ⑫忠霊塔建設敷地工事開始(一ノ坂)  
六月⑯滑空訓練所開所式。⑲献納機「滝川号」命名式(於札幌市)  
七月⑯滑空訓練所第一回終了式及び第二回開所式挙行。○滝川町商業組合を滝川町配給統制組合に改組  
八月①東滝川地区に捻第九二六二部隊移駐屯  
九月⑨滝川郵便局保険分室設置。⑲北海道滝川保健所設置(十月一日業務開始)。⑳滝川町立夜間中学校認可。⑳町立社会病院附屬看護婦講習所道庁指定。○旭川憲兵隊滝川憲兵分駐所設置  
一〇月①滝川通運(株)が日本通運(株)に併合され滝川支店となる。○北海道人造石油(株)は三池石油合成(株)と尼崎人造石油(株)と合併して日本人造石油(株)を設立  
十一月⑲師団長鯉登行一中将来町

二月⑬滝川勤労働員署(後の職業安定所) 移転改築  
 この年、人造石油(株)が為徳殿、洪基館落成(昭和二十七年六月廃館)  
 江部乙村関係  
 一月〇江部乙村農会、産業組合解散

昭和二〇年(一九四五)

国・道関係

一月〇白金及び銀の回収実施。⑫学童疎開一年延長  
 二月⑦小磯内閣総辞職、鈴木貫太郎組閣成立。⑳坂長官退官、内務省防空総本部次長熊谷憲一道庁長官兼任。○硫黄島玉砕  
 四月〇沖繩本島にアメリカ軍上陸  
 五月①たばこ配給一日五本となる。⑦ドイツ無条件降伏。⑳爆撃を受け宮城炎上  
 六月②義勇兵役法公布、戦時緊急措置令公布。㉑B 29 はじめて本道に侵入  
 七月③主食配給一割減。⑫ソ連に和平斡旋を要請。⑭B 29二〇機及びアメリカ機動部隊艦上機延べ三〇〇機、函館・室蘭、帯広、釧路等各地空襲。㉒旅行者外食券制度実施。㉓ポツダム宣言発表  
 八月⑥広島に原子爆弾投下、九日長崎に。⑧ソ連対日宣戦、千島、樺太に進撃。⑩ポツダム宣言受諾決定。⑮天皇終戦の詔書放送。⑰鈴木内閣総辞職、東久邇宮内閣成立。⑲全軍に停戦示達。㉔最高戦争指導者会議、民防空等廃止、娯楽興業再開。㉕連合軍本土に進駐。㉖マッカーサー元帥着任。㉗電力制限撤廃  
 九月②降伏文書に調印。⑮ソ連千島領有宣言。⑳天

二月⑩江部乙農業会発足。○女子挺身隊組織  
 八月〇北海道興農公社、暗渠用土管製造設置  
 九月⑥江部乙神社新築落成奉祝祭執行  
 十一月⑫北辰国民学校開校五十周年記念式挙行  
 この年、江部乙商業組合を統制組合に移行。江部乙

皇、マッカーサー元帥訪問

一月〇⑨東久邇内閣総辞職、幣原内閣成立。⑳憲法問題調査委員会設立。㉑熊谷長官退官、兵庫県知事持永義夫道庁長官兼任。㉒第一回宝くじ売出す。㉓同盟通信社が解散を命じられ共同(ニュース)時事(出版)両通信社発足  
 一月①日本社会党、日本自由党、日本進歩党等結成。㉔陸海軍省解散、第一、第二復員省開庁  
 二月⑮選挙法改正(選挙権満二〇歳以上、被選挙権二十五歳以上、男女平等、大選挙区制採用北海道二選挙区、二名連記投票制)㉕宗教団体法廃止、宗教法人令公布  
 この年、占領軍の指示により日本史、地理、修身の科目授業禁止となる  
 滝川町関係  
 二月⑭旭川師団三三〇名来町観倉駐屯。㉖夜間中学校は滝川町立中学校として認可  
 四月⑥社団法人日本合板検査会北海道検定所滝川分所設置  
 五月⑦国民義勇隊結成式  
 六月①岩見沢営林区署滝川出張所を滝川事務所と改称。○道林産検査所岩見沢支所滝川駐在所を北海道

酪農振興会設立。防空訓練・燈火管制嚴重となる。防空壕の構築奨励

空知支庁滝川林産物検査員駐在所と改称

八月①郷芳寺寺号公称。⑮終戦により各種戦時態勢を解く。㉗引揚者の受入れを開始  
 一月①滝川電話中継所業務開始。⑤進駐軍通過旭川へ向う(陸路及び汽車)⑥滝川勤労働員署を滝川勤労署と改称。○社会党滝川地方支部結党(奈井江以北空知)○人造石油の生産中止  
 一月①夕張製作所人員整理、八日労働組合結合  
 この年、一月から七月まで女子挺身隊、勤報隊等編成動員。○天候不順全国的に大凶作。○ジフテリア、腸チフス流行  
 江部乙村関係  
 八月⑤集団疎開者(横浜方面から)一七戸入地の受入。○無縁故引揚者の受入れ開始。○戦時態勢を解く  
 九月〇江部乙俳句会発足  
 一月〇江部乙青年団再発足  
 この年大凶作、都市から食糧品の買出しが多く、衣料その他生活必需品との物々交換も行われ、闇値が出始める

昭和二年(一九四六)

国・道関係

一月①天皇人格否定人間宣言。④総司令部が軍国主義者の官公職追放及び右翼二十七団の解散命令。⑬自由販売用たばこピース、コロナ発売。⑭極東国際裁判所設置条例発表。⑮持永長官退官、福島県知事留岡幸男道庁長官着任

二月②総司令部日本行政区区域を指定。⑯金融緊急措置令公布施行(新円切替)

三月①労働組合法施行。①北海道労働委員会設置

四月⑩衆議院議員選挙。②幣原内閣総辞職。⑤留岡長官退官、福島県知事増田甲子七道庁長官着任

五月①メーデー復活。③極東軍事裁判東京法廷開く。

④後継内閣首班に擬された鳩山一郎公職追放に指名される。⑯食糧問題で天皇放送。②吉田茂内閣成立

六月②地理の授業再開の許可

七月①ビキニ環礁で原子爆弾実験。②第一、第二封鎖に分け金融緊急措置令改正実施。○占領軍北海道地方軍政部を札幌に置く

八月②経済安定本部及び物価庁発足。③夕刊北海タイムス創刊

一〇月①北海道地方費法及び道会法廃止。①北海道選挙管理委員会設置。⑧教育勅語奉読禁止。⑭歴史教育再開許可

十一月①第一回国民体育大会京都で開催。③日本国憲

昭和二年(一九四七)

国・道関係

一月⑧北海道開発庁設置閣議決定。③マ元帥二・一スト禁止通告。③増田長官入閣、早坂冬男長官代理

法公布。⑮現代かなづかい決定。②公職追放令の範囲が経済言論公的団体に拡大。②改正農地調整法施行。○第一回全道美術展

二月②北海道新聞週刊紙発刊。○第一次樺太揚船函館入港また外地引揚佐世保、舞鶴に入港

滝川町関係

一月⑮占領軍軍政により公娼廃止遊郭閉店。○社会党滝川化学職場支部結党。○鈴蘭通り商工振興会連合会発足

二月⑪滝川鑄造工場、空知鉄工機械器具工業組合共同作業所従業員的全員解雇により労働争議となる。⑮北海道婦人会滝川支部結成式

三月⑪高等女学校附設看護婦講習所閉鎖

四月①滝川電話中継所が朝日町に設置開所式(庁舎は十九年八月竣工)

七月①札幌市で教職員結成大会開催滝川支部組織。①北海タイムス社滝川支社設置。○第一回滝川音楽鑑賞の会開催

八月①滝川町婦人会創立総会を第三小学校で開催。⑬滝川警防団が消防団だけとする。○旬刊紙「滝川新聞」発刊(昭三十五年三月廃刊)⑮滝川町協助会設立。⑳滝川町遺族会設立

九月⑪旧人造石油会社の事業所諸設備を基盤として滝川化学工業(株)滝川事業所設立。○共成(株)が滝川倉庫

二月④福島県知事岡田包義道庁長官着任。⑪網走町に市制施行。⑮道農地委選挙

三月⑧国民協同党結成。⑩農林省北海道作物報告事務

を買収

一〇月①滝川軟式野球連盟結成。○日本社会党滝川地区支部結成(滝川、新十津川、江部乙)

一月⑦公職追放令により町長斉藤昂一、助役大島立一退職、武富文義職務管掌(十二月二十三日まで)

⑳町制改正により初代議長次田秀彦就任。㉑第一期選挙管理委員会委員四名就任、同じく補充員四名就任。⑮民生委員推せん会設置

一二月①初の民生委員任命。①滝川洋裁女学院開設(現滝川ドレスメーカー女学校)④奥山与作町長臨時職務代理。⑦第一次滝川町農地委員会委員選任

この年、痘瘡、発疹チフス流行

江部乙村関係

三月③北辰農業学校設立許可(四月一日北辰小を仮校舎として開校)○江部乙農村建設連盟結成

五月⑮照光寺寺号公称(二十八日庫裡建設移転)

九月○江部乙婦人会再発足

一〇月④村長鞍田武夫退職、臨時村長代理臼杵増夫就任

十一月③江部乙選挙管理委員会設置。○江部乙巡查駐在所を巡查部長派出所と改称

一二月①初の民生委員任命。○農地委員会委員公選により新発足。○江部乙農林組合発足○北辰農業学校仮校舎を青年会館に移す

この年、痘瘡患者八名発生

所発足。③衆議院解散。④進歩党解散民主党結成

四月⑤初の首長選挙決選投票となる。②第一回参議院議員選挙。②道庁長官公選田中敏文就任。⑤衆議院

議員選挙。⑩第十三回道会議員選挙。⑪地方自治法公布（五月三日施行）

五月①天皇新聞記者と初会見。②新憲法実施。③地方自治法により長官制廃止、北海道知事と改める。④吉田内閣総辞職。片山哲内閣二十四日成立。⑤大日本帝国の呼称を日本政府と改称。⑥官立大学の帝国名称を削除

六月⑦第一回国会開会式  
七月①外国人登録事務開始。②新価格体系発表精米一〇キロ一四円二六銭

九月①労働省開庁、特別調達庁発足、労働基準法施行。②義務教育用漢字八八一字と決定。③社会科学開始。④文部省教科書検定制度実施

一〇月①臨時国勢調査、事業所統計調査。②留萌町に市制施行。③第一回北海道復興宝くじ売出し。④直系宮家を除き十一宮家皇籍離脱

十一月①北海道学校給食協会設立。②北海道庁立の冠称を北海道立と改称。③共同募金運動全国いっせいに開始

十二月①百万円宝くじ売出す。②新警察法の制定。③内務省廃止。④児童福祉法制定

滝川町関係  
一月①滝川車掌区分離独立

二月①統制組合を滝川商業協同組合に改組

三月①空知柔道連盟創立。②高等女学校附設保育所閉鎖。③滝川町監査委員条例制定。④農林省北海道作物報告事務所滝川出張所設置

四月①学制改革により高等女学校に併置中学校を置く。国民学校を小学校と改称。②町長臨時職務代理

奥山与作解職。⑤神部俊郎町長当選就任。⑥北海道滝川労働事務所設置。⑦勤労署を廃し滝川公共職業安定所設置。⑧第十四回町議会議員選挙

五月①学制改革により国民学校を小学校と中学校に分離、第一中学校は第一小学校で、第二中学校は第三小学校で授業開始。第二小学校に第一中学校分校を併置。②第三小学校父母と教師の会発足。③農産物検査所は北海道食糧事務所滝川支所と改称。④沿岸神社を沿岸相馬神社と改称。⑤赤十字募金始める。

⑥札幌地方検察庁滝川区検察庁を滝川警察署内に設置。⑦区裁判所滝川出張所を札幌司法事務局滝川出張所と改称。⑧滝川町文化協会設立。⑨石黒正信二代議長として就任。⑩第四小学校に第二中学校分校を併置。⑪滝川簡易裁判所を設置

六月①泉谷照市、佐藤民治郎助役に選任、二助役制  
七月①第一中学校PTA創立総会

八月①警防団解散、滝川町消防団四部制結団。②肥料配給公団岩見沢支所滝川出張所設置（昭和二十六年八月三十一日廃止）③第二中学校PTA結成。④滝川連合PTA発足。⑤滝川農民同盟結成。⑥集中豪雨、西六丁目堤防決壊水害。⑦大谷派滝の川教会本堂新築落成

九月①滝川煙草配給所を滝川専売出張所と改称。②滝川労働基準監督署設置。③保証責任滝川化学信用購買利用協同組合設立（滝川化学解散とともに廃止）  
④地方自治法制定により参与設置条例廃止

一〇月①臨時国勢調査実施（人口二万六、二七六人）  
②営林署を廃止して滝川林務署設置。③ひばり保育園開所。④滝川スキー連盟結成。⑤滝川町都市計画

審議委員会設置  
一月①検車支区を滝川検車区に昇格。庁舎建設

一二月②第二小学校学校給食開始。③滝川町公安委員会設置（二十九年七月一日廃止）④食糧対策委員会、薪炭対策委員会を解消し、滝川町生活必需品資需給調整委員会設置

江部乙村関係  
一月①江部乙商業協同組合創設

二月②村長臨時代理吉田元吉就任（四月八日まで）  
四月①新学制により北辰小学校、東陽小学校となる。東陽小学校「父母と先生の会」発足。②江部乙洋裁専門女学校開校。③供米強権発動で人心動揺。④公選十二代村長高桑又一就任。⑤村議会議員選挙

五月①北辰中学校、北辰小学校舎を借用して開校北辰中東陽分校を東陽小に併置（二十六日入学式）  
六月③北辰中学校PTA発足。④引揚者収容施設として元酒井病院を買収

七月②警防団廃止、江部乙消防団発足  
八月①農地委員会部落補助員発令（二十五年三月解任）

九月②地方自治法制定により江部乙村参与設置条例廃止

一〇月①母子愛育村として厚生大臣表彰受賞。②共同募金委員会発足

この年、隔離病舎移転改築。江部乙村食糧検査派出所を食糧事務所江部乙出張所と改称。江部乙青年学校廃止

国・道関係

一月①改正民法、新戸籍法実施。②帝銀毒殺事件発生  
 二月⑩片山内閣総辞職（三月十日芦田均組閣成立）。⑮  
 司法省廃止、法務庁開庁  
 三月⑦警察法公布、北海道に九方面本部三五地区国家  
 地方警察及び全道七十八市町村に自治体警察署設  
 置。⑮民主自由党結成  
 四月①苫小牧町に市制施行。①炭礦国家管理実施。③  
 海上保安隊本部を小樽に置く  
 五月①海上保安庁開庁。②サマータイム実施（九月十  
 日まで）。②軽犯罪法実施。⑥シベリア引揚再開。⑨  
 皆既日食・礼文島観測成功  
 六月①漢字簡素化決定  
 七月①国家公務員法施行。⑩建設省開庁。⑮新聞事前  
 検閲制廃止。⑮教育委員会法公布。⑳国民の祝日に  
 関する法律公布、従来の祝日廃止  
 八月①常住人口調査。③五〇銭以下の小額紙幣使用禁  
 止  
 九月①取引高税法施行。①国営札幌競馬開催  
 一〇月①第一回新聞週間。⑤第一回道教育委員選挙。  
 ⑦芦田内閣総辞職（十九日第二次吉田内閣成立）⑧  
 一万三、〇〇〇品目（百余種）の丸公撤廃  
 十一月①北海道教育委員会設置。①主食二合七勺に増  
 配。②極東軍事裁判二五被告に有罪判決（十二月二  
 十三日東条ら七戦犯の絞首刑執行）  
 一二月⑤年賀郵便取扱復活。⑮世界人権宣言総司令部  
 経済安定九原則実施指令。⑲衆議院解散。⑳A級戦  
 犯容疑者一九名釈放  
**滝川町関係**

年表

一月①第二中学校を第三中学校と校名変更、第一中学  
 校二ノ坂分校を第二中学校として第二小学校内に併  
 置、旧第二中学校幌倉分校を第四中学校とし第四小  
 学校に併置。⑮滝川卓球連盟結成。○滝川地区労働  
 組合協議会結成。○国鉄旭川電力区滝川電力分区開  
 設  
 二月②食糧配営団を食糧配給公団と改称。○滝川魚菜  
 市場（株）と改称  
 三月①滝川町紋章制定。①社団法人滝川商工会議所設  
 立。⑦滝川地区警察署と新設の滝川町警察署を旧滝  
 川警察署庁舎に併設。②北海道中央バス（株）滝川地方  
 営業部に昇格。②滝川町農業共済組合創立総会（五  
 月四日創立）。○役場庁舎増築  
 四月①第一小学校滝泉台分校開設。①農業委員会設  
 置。①学制改革により庁立滝川中学校は道立滝川高  
 等学校に、庁立滝川高等女学校は滝川女子高等学校  
 と改称。町立中学校は道立滝川高等学校夜間課程と  
 なる。①農林省北海道作物報告事務所滝川出張所設  
 置。①旭川鉄道管理部滝川公安支所設置。⑬滝川町  
 警察署開庁式挙行。○空知教育会滝川支部解散  
 五月③滝川町公報創刊号発行。③第一回納税証券発  
 行。⑤滝川町農業協同組合設立認可（農業会解散）  
 ○滝川酪農協同組合設立、冷水菓業開始  
 六月⑩滝川劇場を空知労働会館とする期成会創立総会  
 開催  
 七月①新十津川村上徳富の一部滝川町に編入  
 八月⑩泉町巡査駐在所設置。○空知写真倶楽部結成。  
 ⑮ララ贈物の山羊三九頭配置。○衛生班組織  
 九月①第一、第三小学校でユニセフ物資による給食開

始。③農業改良委員会発足。○滝川保健所庁舎栄町  
 に新築移転  
 一〇月①菜の花郵便局を滝川駅前郵便局と改称。①琴  
 古流尺八滝川琴古会発足  
 十一月①道立滝川女子高等学校滝川ノ川分校定時制課程  
 を第二小学校に併設、同幌倉分校定時制課程を第四  
 小学校に併設、同新十津川分校を新十津川小学校に  
 併設。③空知郵趣会発足。③農業調整委員会発足  
 一二月③空知労働会館発足（旧滝川劇場）。④一ノ坂郵  
 便局を本町に移転、本町郵便局と改称。○滝川ドレ  
 スメーカー高等技芸女学校と改称。  
 この年引揚者収容施設新設（四棟一六戸）、裏千家  
 流和交会結成  
**江部乙村関係**  
 二月⑥北辰農業学校用地を財団法人雲柱社より寄付さ  
 れる  
 三月⑦農業協同組合発足。⑧監査委員設置条例制定。  
 ③北辰農業学校を江部乙農業高等学校と改称  
 四月⑫農業共済組合設立。○札幌作物報告事務所江部  
 乙出張所設置  
 五月⑫北海道防犯協会滝川地区江部乙分会発足  
 六月⑩江部乙農業高等学校校舎新築着工。○茶道「江  
 部乙淡交会支部」結成（現空知支部）  
 八月⑫江部乙消防後援会設立。⑤食糧調整委員会発足  
 （昭和二十四年十一月解散）⑦引揚者中央収容所完  
 成  
 一〇月③江部乙農業高等学校校定時制課程併置。○游塵  
 会邦楽部結成。○江部乙たんぼ音楽会結成  
 一二月①農業高等学校校舎竣工（翌年一月十九日移転）

昭和二年(一九一九)

国・道関係

一月①マ元帥、皇居、国会議事堂、最高裁判所に国旗使用許可。②衆議院議員選挙。第一回最高裁判官国民審査

二月①船舶の国旗掲揚許可。③第三次吉田内閣成立。

④木炭自動車、薪に転換

三月③第四回国体スキー大会札幌で開催。④NHKテレビ公開実験

四月①稚内町に市制施行。①蔬菜類統制撤廃。③サマータム実施(九月十一日まで) ④日本オリンピック再参加承認

五月⑩支笏、洞爺国立公園に指定。⑤商工省廃止、通商産業省開庁。③新制大学発足、北海道学芸大学設立

六月①総理府、国税庁、地方自治庁、日本国有鉄道、日本専売公社各々発足。⑩社会教育法公布。⑧ソ連引揚再開第一船舞鶴出港二十七日着(高砂丸)

七月⑤国鉄下山総裁行方不明六日轢死体で発見

八月⑦全米水上市大会出場の日本選手好記録。⑥シャウプ税勸告概要発表

九月②道農業委員選挙。②ガラス自由販売

一〇月①常住人口調査。①新北海新聞、夕刊北海タイムス合併、北海タイムス発刊。⑤鮮魚一部統制撤廃(二十五年四月全廃)

十一月①対面交通実施。②湯川秀樹博士一九四九年度ノーベル物理学賞授与決定。⑥プロ野球二分してセントラルとパシフィックリーグ発足

十二月①お年玉付年賀はがき売り出す。①ガス使用制限撤廃。⑩農民協同党結成

滝川町関係

一月⑩滝川フアンション洋裁学院開設(同月五日認可) ⑮第一回成人式挙行。○滝川町公安委員会発足

二月⑧滝川信用組合(現北門信用金庫)開店

三月①滝川区検察庁は大町に庁舎新築移転。○滝川映画劇場全焼。③滝川化学労働争議起ころ。

四月①配炭公団北海道支団滝川石炭分析所発足①道立滝川町農業改良相談所設置。①滝川町農業協同組合青年部発足。⑩未完成の第三中学校(明苑)校舎全焼。⑩第一回婦人週間実施

五月①滝川女子高等学校赤平分校認可、開校式。①滝川町体育会発足。○社会教育委員会発足

六月①札幌司法事務局滝川出張所を札幌法務局滝川出張所と改称。①日本専売公社滝川出張所と改称。①滝川電報電話局設置。⑦第一中学校校舎第一期分竣工六学級

七月①滝川消防本部及び滝川消防署設置。①空知労働会館を滝川文化劇場と改称。○滝川鉄道錬成所閉鎖

八月①第三中学校(明苑)校舎第一期分落成式。②新空知新聞社創設(九月二十日創刊)○札幌鉱山保安監督部滝川地区現地監督班設置。⑧農地委員会委員選挙。②町営滝川球場開き。⑨滝川郵便局舎新築移転業務開始(二十三年十月十七日着工)

九月④石狩川治水促進期成会発足(三十三年市町村加入)。②旭川鉄道公安室滝川公安分室と改称。○雪印乳業滝川屠場を町へ譲渡。○白滝合唱団発足。②国鉄岩見沢自動車区を併合して滝川自動車営業所と改称

九月②石狩川築堤工事着工。○一級国道十二号(拓銀角、望月川)側溝工事着工(十二月竣工)

一〇月⑩滝川町国民健康保険組合直営東滝川診療所設置。④日本食品協会北海道支部滝川地方部会発足

一月①滝川女子高等学校赤平分校昇格独立、北海道赤平高等学校となる。③第二小学校開校六十周年記念式挙行。⑩日本専売公社滝川出張所庁舎新築移転。②滝川信用組合事務所を楓通に移転。②滝川区検察庁、滝川簡易裁判所庁舎新築落成移庁式挙行。○滝川第一劇場開館(映画劇場跡)

一二月①札幌刑務所滝川拘置支所設置。①札幌鉄道公安室滝川公安分室と改称。⑤滝川放送協会設立営業放送開始。○滝川ドレスメーカー高等技芸女学校改造移転

この年、空知教育振興会発足。失業対策事業実施。児童公園(明神町)竣工。美術協会結成。剣道同好会結成。文学同人会結成

江部乙村関係

一月⑮江部乙村成人式挙行

二月⑮江部乙開拓農業協同組合創立

三月○農業改良相談所開設

四月①農業改良委員会発足。①東陽中学校独立校となる。①江部乙農業学校新制高校となる。○江部乙PTA連合会発足

五月③消防ポンプ自動車購入

八月④江部乙郵便局新築移転(本通十二丁目)。⑤北辰中学校校舎竣工(二十八日移転)

一〇月○家畜診療所新設(五月仮設)

十一月①村立江部乙医院を江部乙村国民健康保険直営診療所と改称。①旭沢小学校独立校となる。③農業調整委員会発足。○人権擁護委員設置。○社会教育委員会発足

この年、育成馬組合結成。農民同盟創設

国・道関係

一月①満年齢実施。⑤額面千円紙幣発行。⑨日本社会党左右に分裂  
 二月⑭民主党連立派と合同の民自党、自由党と改称。  
 ⑮麵類フリークーパーン制実施  
 三月①札幌に米領事館開設。⑮木炭統制撤廃。⑯北海道新聞発行の週刊二紙廃刊、二十八日から夕刊「北海道新聞」を発行。⑳札幌証券取引所開く  
 四月①美唄町に市制施行。①たばこ自由販売となる。  
 ①綿製品、自転車等自由販売となる。①公職選挙法成立  
 五月①第一回緑の週間（道に限り一カ月の繰下げ）⑭第一回母への感謝の日  
 六月①北海道開発庁発足。④第二回参議院議員選挙。  
 ⑮国内航空路開設許可、札幌飛行場設置。⑮朝鮮動乱ぼっ発。⑮第四次吉田内閣成立  
 七月②国宝金閣寺全焼。⑤味噌、醤油統制撤廃  
 八月⑩警察予備隊令公布施行（七月八日七万五、〇〇〇人で創設）  
 九月②衣料切符制廃止  
 一〇月①国勢調査実施。⑬一万九〇名の追放解除。⑰祝日に国旗掲揚許可  
 十一月①第一回交通安全週間。⑩道教育委員選挙。⑲アメリカ国務省対日講和七原則覚書発表。⑲日英新通商協定調印  
 十二月①北海道無尽（株）開業（後の北海道相互銀行）  
 滝川町関係  
 一月⑩空知労働会館建設期成会を空知労働会館文化振興会に改組。⑩茶道表千家細田社中結成

二月⑩国鉄滝川検査区と岩見沢車電区滝川支区と統合、滝川客貨車区と改称。⑮滝川スケート連盟結成  
 三月④（株）滝川放送協会正式発足。⑯札幌刑務所滝川拘置支所庁舎竣工（二十四年八月二十四日着工）  
 ⑳第一中学校第二期竣工（四月五日から全生徒本校舎にて授業）  
 四月①道立滝川高校は滝川西高等学校、道立滝川女子高校は滝川東高等学校と改称。通学区制定、男女共学。①滝川郵便友の会発足  
 五月⑤児童公園開園。⑩第一回健康優良赤ちゃん大会を実施（四十八年度で中止）⑬第三中学校舎第二期分工事落成式。○北海道素（株）滝川工場設置決定。  
 ○滝川自動車練習場協会設立

六月⑩開村六十年記念式典挙行。⑩石川啄木の歌碑建立  
 七月③三笠宮、同妃殿下ご来町、滝川種羊場視察。③撤水車運転開始  
 八月①シャップ税制施行町税条例全面改正。⑦札幌鉦山保安監督部滝川地区現地監督班設置。⑬空知ボーイスカウト空知二十一隊結成。⑳開町六十年記念全町民大運動会開催。⑳豪雨により水害被害三、九〇〇万円。①配炭公団北海道支団滝川石炭分析所を札幌通商産業局滝川石炭事務所と改称。○上水道基礎調査

九月⑩滝川町日雇労働者集合所設置。○地方費道札幌根室線側溝工事着工（二十七年完了）○石狩川五九号渡船場廃止  
 一〇月①国勢調査（人口二万七、八四四人）③国木田独歩の石碑除幕式挙行。⑧滝川第一劇場を「滝川映

画劇場」と改称。（三十二年六月閉館）。○北海道中部民謡連合会結成  
 十一月⑩道教委委員選挙。⑩滝川木挽工場を（株）工業（株）と改称（五十二年八月閉鎖）○北海道立農業試験場原々種農場設置。○作物報告事務所を札幌統計調査事務所滝川出張所と改称  
 十二月②札幌家庭裁判所滝川出張所設置（二十六年一月一日事務取扱）③滝川労働基準監督署庁舎竣工。  
 ②大谷派高竜山瑞光寺寺号公称  
 この年、公営住宅建築が開始される。空知鎮座金刀比羅神社認可設立。滝川地方たばこ販売協同組合設立。東滝川駅改築  
 江部乙村関係  
 四月①旭沢小学校PTA発足。②国民健康保険事業公営移管。○国民健康保険運営協議会設置。○江部乙演劇観賞会結成  
 五月○札幌作物報告事務所江部乙出張所を農林省札幌統計調査事務所江部乙出張所と改称  
 六月○国保診療所増築  
 七月②江部乙農業高等学校を江部乙高等学校と改称。  
 ○滝川信用組合江部乙支店設置  
 九月○第一回敬老会開催  
 十一月③東陽小中学校増築落成式（八月五日着工）  
 ○江部乙菊花秋香会結成。○絵画同好会土筆会結成  
 十二月⑨北辰中学校屋体建設中に突風で全倒壊○江部乙高校増築  
 この年、江部乙青年団体協議会と改称される

昭和二十六年（一九五二）

国・道関係

一月⑮民営米屋制度実施登録開始  
 二月⑳わら工品統制廃止。㉑日瑞通商協定調印。㉒道議会議事堂落成し道会開設五十年記念並びに落成式挙行  
 三月①各種興業入場券道で作製統一実施。①雑穀統制廃止。④第一回アジア競技大会ニューデリーで開催  
 日本二十四種目優勝。㉓北海道銀行開業  
 四月㉑民間放送一六社に予備免許。㉒桜木町事件起こる。㉓知事・道議會議員選挙、知事に田中敏文当选。○マ元師解任リッヂウエー中将が任命される。  
 五月①日本発送電北海道支店管区と北海道配電相互包括出資し北海道電力創立。⑤児童憲章制定  
 六月④北海道開発局成立。⑧千代の山道出身最初の横綱（四十二代）となる  
 七月①北海道開発局開庁。③吉田内閣改造建設相野田卯一北海道開発庁長官兼務  
 八月②日独通商協定調印。⑦日本ビルマ貿易協定調印。㉔NHKテレビ初公開  
 九月⑧対日講和条約調印。⑨日米安全保障条約調印。  
 ⑮「としよりの日」が定められ敬老行事実施。㉕日伊終戦覚書交換  
 一〇月①商業及び常住人口調査。㉖民間航空再開一番機「もく星号」千歳着  
 十一月⑩道庁・東京間に無線電話開通。㉗道に電源開発促進連絡会議設置  
 一二月⑤北緯二十九度以北七島（奄美群島）日本領土に決定。⑤ホルルで白井、マリノを破り世界フライ級ボクシングチャンピオン

滝川町関係

一月②滝川劇場開館（三十年十二月二十七日全焼、三十一年六月八日再館・三十八年三月閉館）  
 二月①上水道新設工事道知事認可。①食糧配給公団解散、北空知地方食糧協同組合設立  
 三月㉘道立農業試験場庁舎新築落成。㉙第一中学校第三期分校舎竣工。㉚町立社会病院附属看護婦講習所閉鎖。㉛滝川駅機関車庫新築落成  
 四月①東高等学校浜益分校開校認可。①西高等学校に工業課程（電気・土木）設置。①北海道編物専門学校滝川分校設立。○国民健康保険組合北滝の川診療所開設。①納税貯蓄組合法施行により六組合切替発足。①第一中学校を「江陵」と改称、第二中学校を併合、第三中を「明苑」、第四中を「東栄」と改称。③新制中学校建築工事綜合落成式挙行（明苑中第三期分落成）㉜第十五回町議會議員選挙。㉝町長選挙神部俊郎再選。○滝川箏球連盟結成  
 五月⑨三代町議會議長阪本茂就任○滝川ボクシングクラブ結成  
 六月○滝川都市計画街路決定。○国保組合東滝川診療所開設。㉞北海道銀行滝川支店開設（昭和二十八年十一月新築移転、現地点）、○統計調査事務所を明神町に新築移転  
 七月①札幌土木現業所滝川出張所設置。旧土木現業所を北海道開発局札幌開発建設部滝川出張所と改称設置。①建設省告示により都市計画主要幹線街路網決定。○プール開き。㉞農業委員会委員（第一期）を定める。⑦滝川町日雇集会所新築。⑫社会福祉協議会結成  
 八月⑩滝川町公平委員会発足。⑫第二回町民運動会開催。○全日本写真連盟滝川支部結成

九月⑩ひかり保育園開所。㉟北海道素幌滝川工場操業開始  
 一〇月⑤上水道第一期工事着手、二十日起工式。○中小企業者に対する町保証融資斡旋制度開始。⑩町内各金融機関を公金取扱所に指定。㉟北海道無尽を（株）北海道相互銀行滝川支店と改称。北洋無尽は（株）北洋相互銀行滝川支店と改称。○滝川信用組合が中空信用金庫と改称。㉡固定資産評価審査委員会設置  
 十一月①北海道食糧事務所滝川支所滝川出張所設置。  
 ③第一回滝川町文化奨励賞表彰式。⑮東高校滝ノ川及び幌倉両分校定時授業開始。⑯㉡の固定資産課税帳縦覧。③町青年団体連絡協議会設立  
 一二月⑯中小企業保証融資斡旋運営委員会発足⑯空知米穀創設。㉡財団法人滝川同潤会発足（三十八年十一月二十八日解散）  
 この年、日本棋院滝川支部結成。社団法人北海道食品協会連合会滝川地区食品協力会と改称。赤痢流行（八〇名）

江部乙村関係

一月○養豚組合再建  
 二月④北辰中学校屋内体操場新築  
 四月①空知土功組合を空知土地改良区と改称。④村長高桑又一退職。㉢町議會議員選挙及び町長選挙。村長松儀一男就任  
 五月⑤模範愛育村として厚生大臣賞受賞  
 七月⑬農地委員会、農業調整委員会、農業改良委員会解散。㉡農業委員会発足  
 八月⑭固定資産評価審査委員会発足。○公平委員会発足

一月⑩社会学級開設  
二月〇国保診療所増改築

### 昭和二十七年（一九五二）

#### 国・道関係

一月⑮北海道放送試験電波発射  
二月⑧改進黨結成  
三月④十勝沖地震、被害一五四億円。⑩北海道放送本放送開始。⑬日本セイロン通商協定調印  
四月①砂糖統制撤廃。④サマータム廃止法案成立。  
②⑧対日平和条約批准書寄託式を米国務省で挙行、六年八カ月にわたる被占領状態を脱し独立国となる。  
②⑧日華平和条約調印中国戦犯八六名釈放  
五月①独立後初のメーデー皇居広場でデモ隊、警官隊と乱闘。⑨日米加三国漁業条約正式調印。⑰道営第一回札幌競輪始まる。⑳道立血液銀行開業  
六月①麦自由販売復活。⑨日印平和条約調印。⑬銀の統制廃止  
七月①住民登録法実施。②破壊活動防止法公布施行（公安調査庁設置法、公安委員会設置法公布）。③根室本線芦別〜平岸間のレール爆破される  
八月①電々公社、保安庁発足。②予備隊初除隊。③衆議院解散  
九月⑮連拒否権発動日本国連加盟否決  
一〇月①衆議院議員選挙。⑤都道府県及び市町村教育委員会委員初選挙。⑮警察予備隊廃止保安隊発足。  
⑱協同党解散右派社会党に合流。⑳吉田内閣総辞職（二十九日第四次吉田内閣成立）。㉑日本航空（株）自由航空に切替

この年、江部乙分区保護司任命。江部乙村貸付牛飼養管理組合設立。江部乙映劇開設（三十九年三月閉

館）

一月⑩皇太子成年式立太子礼挙行、恩赦実施。⑭日本コム加入決定。⑳衆議院本会議吉田内閣不信任案可決（二十九日の辞任）。㉑緒方竹虎副総理任命  
一二月⑤鷹泊水力発電所試験発電。⑥函館商科北海道自動車両短大設立認可  
滝川町関係

二月①覚書該当者二十四名解除（全員解除となる）。①道立滝川家畜保健衛生所設置  
四月①町公報を「滝川だより」と改称。①第四小学校を「東栄小学校」と改称。①町立高校滝ノ川分校を道立滝川西高校に移管（同年十一月一日第二種独立併置）。②空知教育研究所開設（江陵中学校内）。①第一小学校林管理委員会組織

五月①戦没者慰霊祭執行。③道立滝川家畜保健衛生所庁舎竣工（現有明町）。③字名地番改正を町議会で決定（九月二十日施行）  
六月①滝川バレー研究所（現久富バレー）発足。⑩滝川化学（株）操業停止に際し町長声明。⑦東京大相撲興行。⑩直宗大谷派正善寺寺号公称  
八月①日本電信電話公社設置。⑤滝川駐在運輸長室設置。⑧九月一日まで滝川町移動動物園開催（於球場、現文化センター位置）。⑧滝川化学（株）破産宣告。札幌地方裁判所所轄の破産財団設立

九月①国保組合の給付を一部休止。⑤東栄小中学校林植樹地を赤平市共和とする。⑩字名及地番改正施行

一〇月②農地法施行。③食糧事務所滝川支所滝川出張所庁舎竣工  
一月①江陵中学校校舎第四期分竣工。①幌倉、新十津川、浜益の分校が東高校より独立、第二種高等学校となる。③千代田高等編物学院発足（後の空知高等技芸学校）  
二月④国道二十七号を一級国道十二号、地方費道札幌根室線を二級国道三十八号と認定施行

この年、滝川公園の整備に着手。東町4Hクラブ、池の前4Hクラブ結成。第一・第三小学校で学校給食連絡協議会設立。第二小学校林専門委員会設立。空知川鉄橋架換。幌倉を東滝川と改称

#### 江部乙村関係

二月⑫町制施行を村議会で議決。○追補責任江部乙森林組合を江部乙村森林組合と改称  
四月⑧町制施行道議会で可決  
五月④北辰中学校舎増築（二十六年十月着工）。⑤町制施行。⑭専覚寺火災。⑳旭沢小学校新校舎改築（二十六年十月着工）。○江部乙公園設置記念碑建立  
六月⑩町史編さん委員会組織  
七月①広報活動として「お知らせ」発刊。○江部乙商業協同組合設立  
八月⑮江部乙遺族会組織  
一〇月①江部乙駅舎新築着工  
一一①江部乙町教育委員会発足

昭和二十八年（一九五三）

国・道関係

一月⑳NHKテレビ本免許（二月一日から本放送）  
 二月①日航札幌〜東京間二往復  
 三月⑤スターリンソ連首相死去。③中共引揚船第一次船舞鶴入港。⑥電力制限解除  
 四月①芦別町に市制施行。⑦世界保健デー日本初参加。⑱衆議院議員選挙。⑲参議院議員選挙  
 五月⑳第五次吉田内閣成立  
 六月④台風の外国女性呼称を廃止、号称とする。⑳日本、国連と初の技術援助協定調印  
 七月㉑国立原子核研究所設置。㉒朝鮮戦争休戦協定調印  
 八月㉓スト規制法発効。㉔東京三八・四度気象台開設以来の猛暑  
 九月①町村合併促進法実施（十月一日施行）。③日米通商条約正式発効  
 一〇月⑦札幌〜千歳間デューセルカー試運転。⑰札幌線浦臼〜雨竜間試運転（十一月三日開通）  
 十一月①札幌〜千歳間弾丸道路完成。⑳北日本航空（株）免許  
 一二月⑭奄美群島返還協定調印（二十五日復帰）。⑮道教委、相つぐ学校火災に対処し全道学校長を招集  
 滝川町関係  
 一月〇滝川地区フォークダンス連合会結成  
 二月④泉字寺を北泉岳寺と改称。⑫池の前婦人会発会式。⑳滝川地方酒類商業協同組合解散

昭和二十九年（一九五四）

国・道関係

一月①円以下での小銭廃止。③本道出身吉葉山四十三

三月②財団法人滝川戦没者遺族育英会設立総会  
 四月①江部乙町との境界一部変更。①国民健康保険事業を組合経営から公営に切替え。①滝川町国民健康保険運営協議会発足。①滝川幌倉高等学校を北海道滝川東栄高等学校と改称。①巡回文庫を開設。①東町耕友クラブ結成。〇滝川上水道通水開始  
 五月⑬滝川幼稚園開設（願成寺内）。⑰水郷滝川公園再開、さくらまつり実施。①東栄保育園、みずほ保育園開園。⑳滝川小売酒販組合設立  
 六月①協同組合滝川専門店会発足、月賦販売取扱。⑮幌倉郵便局改築、交換室を設置。〇財団法人北海道労働文化協会滝川支部発足。⑭第一回空知剣道大会開催  
 八月①〜②石狩川増水水害。①商業協同組合滝川商店会発足、月賦販売取扱。⑨プロ野球セントラルリーグ中日・広島公式戦（町営球場）。⑳滝川保線区設置。〇空知太共同墓地拡張新計画完成。〇国鉄関係へ水道給水開始  
 九月①全国住宅調査実施。⑮第一回敬老会開催（於第三小学校）。〇滝川バイオロン研究所開設  
 一〇月⑳農協東滝川精米工場竣工。㉑滝川駅前郵便局改築。〇雪印滝川工場新築落成式（四月落成）。㉒町体育会を滝川町体育協会と改称。⑱滝川三曲会発足、生田流正派山口社中、榎田社中発足  
 十一月①滝川菊花同好会結成。③文化祭開催。⑱道路工事負担金徴収条例、水利地益税創設に伴う町条例

代横綱に決定

二月①保全経済会献金問題重大化

議決。㉒学校法人今野学園認可  
 一二月⑤公益質屋開設。⑭空知支庁滝川労政出張所落成移転。⑳滝川上水道完成により本通り私設水道組合解散。〇滝川地下道（立体交差）工事着工  
 この年から一般国道十二号市内完全舗装工事継続事業  
 江部乙町関係  
 二月⑩江部乙駅舎新築業務開始（二十七日竣工）。〇基礎細羊改良育成研究会組織。〇養鶏組合再建  
 三月⑳引揚者住宅建設（二戸建て四棟）  
 四月①北辰小学校南及び北両分校設置（六月七日落成式）  
 六月④文化団体連絡協議会結成。⑦滝川町との境界一部変更  
 七月〇江部乙カメラクラブ結成  
 八月①豪雨により沿岸道路決壊。⑳屯田兵座談会を町公会堂で開催。〇労働文化祭開催  
 九月③開基六十年記念行事挙行（〜七日まで）。〇江部乙編物研究所開設  
 一〇月②江部乙町章制定。㉑有線放送設置期成会結成  
 十一月⑧北辰小学校開校六十年式典挙行。〇有線放送一期工事着手（二〇八戸）  
 一二月⑬青年学級開設  
 この年、異常天候で農作物被害甚大。江部乙華道研究会結成

三月⑦炭労スト妥結。⑧日米MSA協定調印。⑭ビキニ近海から原爆被災の第五福竜丸帰る。

四月①新当用漢字採用。⑨北電マイクロウェーブ完成  
五月⑦道町村合併第一次案成る

六月③道警察組織条例決定五方面本部六三署。⑤幌泉  
村で日本初のマンモス臼歯発見、本道の大連続きを  
証明

七月①防衛庁設置法、自衛隊法、秘密保護法、新警察  
法施行。①北海道警察本部発足。①防衛庁発足、保  
安隊を自衛隊と改称。①土別、赤平、江別、紋別町  
に市制施行

八月⑬ジェットエンジン国産第一号完成。②第九回国  
体秋季大会道内各地に開幕(二十六日閉幕)。③日本  
「ユースホステル」に正式加盟。⑦米駐留軍本道撤  
退正式発表

九月②台風十五号本道来襲、青函連絡船洞爺丸日高  
丸、十勝丸、北見丸、第十一青函丸等沈没、死者  
一、四四一名、他被害甚大

一月⑦ソ連戦闘機根室沖で米軍機B 29撃墜。②日本  
民主党結成

一二月⑦吉田内閣総辞職。⑧鳩山一郎内閣成立  
滝川町関係

一月①滝川町連合消防後援会設立  
二月①一の坂郵便局を本町郵便局と改称。①滝川幼稚

### 昭和三〇年(一九五五)

#### 国・道関係

一月②衆議院解散

二月⑦衆議院議員選挙。○暴風雪で被害甚大

三月⑬第二次鳩山内閣成立。⑬富良野・芦別地区道立  
公園指定

四月⑭東大産ロケット初実験成功。⑭道知事道議会  
議員選挙、知事田中敏文三選。⑭世界卓球選手権大

園々舎竣工(三月学校法人認可)。⑨北郵便局を黄金  
郵便局、幌倉郵便局を東滝川郵便局に改称

三月③第三小学校完全給食実施。⑩明苑中学校第四期  
工事落成

四月①東高等学校に西高等学校の普通科を併合して滝  
川高等学校と、西高等学校は滝川工業高等学校と校  
名変更。①財団法人空知自動車学園設立、学校法人  
空知自動車学校開設。①坂下クラブ(東一丁目)結  
成。①魚釣「朝霧会」結成。①滝川羽友同好会結  
成。①空知剣道連盟を滝川剣道連盟と改称。⑩東町  
婦人会結成

五月①商工会議所法により滝川商工会議所と改称、地  
域の新十津川、江部乙を加入。⑩滝川町農業協同組  
合滝川の川支所開設

六月①江陵中学校校舎第五期竣工、校門完成。①滝川  
交通安全協会設立

七月⑬農業委員選挙。⑰たばこ消費税新設議決。⑰札  
幌法務局滝川出張所大町に新築移転

八月①陸上自衛隊隊舎工事着手。⑪天皇・皇后陛下滝  
川駅下車、駅前で奉迎。⑬坂下婦人会結成

九月①商業調査実施。①滝川地区警察署と滝川町警察  
署を統合、北海道警察札幌方面滝川警察署と改称。

会男子単に紋別出身田中選手優勝

五月①西カムチャッカ(戦後初出漁の銀洋丸函館出港  
六月⑦日ソ交渉第一回正式会議

七月①全道戦後最大の豪雨禍。損害総額約百億  
九月⑩ガット加入正式発効。⑮日米余剰農産物交渉正  
式妥結。⑭日本ブルガリア通商協定調印

一〇月①国勢調査実施。⑩金閣寺再建落慶法要。⑬両

⑮⑯台風十五号被害、死者二名、重軽傷者四四名  
損害約四億円。⑮共成餉倉庫を山下倉庫と改称。⑮滝川保健  
一〇月①共成餉倉庫を山下倉庫と改称。⑮滝川保健  
所庁舎新築着工

一月⑤砂川(空知大間複線完成。⑩幌倉駅を東滝川  
駅と改称。⑭日本社会党滝川地区支部結党大会開催

一二月①滝川地区酪農組合と雪印滝川工場の事業合同  
江部乙町関係  
三月⑮有線放送開始。⑮町奨学資金制度制定(四月一  
日施行)

四月①照光寺本堂建立  
七月①火葬場落成使用開始

八月⑥江部乙有線放送協会創立。⑪天皇・皇后両陛下  
江部乙駅通過

九月④滝川町との合併与論調査実施、十日町議会で合  
併しないことを議決。⑮台風十五号全町に大被害。

〇江部乙併合会結成  
一〇月⑧火薬爆発による炭脈調査開始。⑮消防会館落  
成。〇隔離病舎新築着工

一二月⑧江部乙高校東十二丁目に新築移転(着工九月  
十六日)。〇旭沢補助貯水池竣工

派社会党統一され日本社会党として発足

一月⑮民主党・自由党により自由民主党結成。②第  
三次鳩山内閣成立

一二月⑥国勢調査結果発表日本総人口八、九二六万  
九、二七八名。⑥佐久間ダムの貯水始まる。⑩ヤミ  
米大幅値下り全国平均希望配給値割る

滝川町関係

二月⑦公民館建設期成会結成総会。⑧琴古流滝川支部結成

三月⑩農業労務者受入協議会設立。⑤自由党滝川支部結成準備委員会。③滝川浜益線道道に認定

四月①茶道裏千家花尻社中結成。⑤町公安協力会と地区公安協力会を一本化して滝川地区防犯協会と改称新発足。⑩滝川町農業協同組合婦人部発足。同協同組合東滝川支所開設。⑨道道滝川、浜益線踏切立体交差第二期工事着工。③町長・町議会議員選挙。神部俊郎町長三選

五月②滝川保健所緑町に庁舎新築移転。②泉町の住宅土地の買収・松庫商店と契約成立。⑤保健所跡(栄町)を空知教育研究所庁舎として使用。○婦人団体連絡協議会設立

六月⑧陸上自衛隊第十普通科連隊、移駐先遣隊入町。③自衛隊宿舎竣工(二十九年八月一日着工)

七月①町立社会病院看護婦学校道知事指定。①農業基本調査実施。①陸上自衛隊滝川駐とん部隊設置、

昭和三一年(一九五六)

国・道関係  
一月①日本原子力委員会発足。⑤正力道開発庁長官室蘭・滝川間(札幌・苫小牧経由)弾丸道路建設に着手と声明。⑩青函海底地質調査結果を発表、工事に支障なし

三月①日本原子力産業会議創立総会。②日米技術協定調印

四月①名寄町に市制施行。⑧国際航空文権返る

五月⑨日比賠償協定正式調印。②売春防止法案成立。②道日独協会発足

六月②北日本航空の道内航路開かれる。⑧道開発公庫

十五日移駐完了。二十一日、二十二日歓迎行事開催  
七月①夕張製作所、施設を北炭に譲渡して賃借操業。①北海道滝川労政事務所を空知支庁滝川労政事務所となる

八月⑮顕彰塔建立除幕式。⑰学校給食連合会発足。⑬西町商工振興会設立。

九月①体育協会体育館「為徳殿」開設。④農民同盟発足。⑮米田物産(株)滝川防腐工場六月から着手、竣工操業開始。○滝川・浜益線舗装工事着工

一〇月①北海道郵便通送(株)滝川営業所設置。①金内郷児北海時報新聞社を設立。①国勢調査実施(人口三一、〇六七人)①滝川町農業共済組合家畜診療所設置。(十月十九日落成式)

十一月①学校給食共同製パン工場開設。③文化祭記念式挙行。③自衛隊滝川駐とん部隊開庁式挙行。⑭自由党滝川支部を自由民主党滝川支部に改称。②農地改革十周年記念式挙行。②西小学校校舎新築

十二月⑩町営屠場設置。⑤札幌土木現業所滝川出張所

設立(七月一日発足)⑬原子力研究所正式発足

七月⑧第四回参議院議員選挙。③日ソ交渉第一回会議八月⑩東海村の原子力研究所起工式。原子燃料公社発足

九月④日本ロケット協会創立。②明治神宮外苑競技場の国有決まる

一〇月①東京―札幌間マイクロエープ開通

一一月⑧第一次南極観測船「宗谷」東京港出港。⑩札幌沼津、十二年ぶりに全通。③日米濃縮ウラン貸与協定調印

一二月⑫日ソ国交回復の批准書を取り交わす。⑩日本

庁舎新築移転。⑤千代田編物学院知事認可を得て空知高等技芸学校と改称。⑦栄町宝商店街火災発生、り災、一六世帯一四〇人

この年、パチンコ「グラントホール」開店  
江部乙町関係

二月①江部乙駅跨線橋(鉄筋)改築完成

三月⑨融雪水害で沿岸道路一部流失。②農協婦人部結成

四月⑯町長松儀一男退職。⑩町長、町議会議員選挙

五月①二代目町長高桑又一就任

六月①隔離病舎開設(昭和四十七年三月廃止)

一〇月①国勢調査実施(一、七四三戸、九、八八八人)

十一月①江部乙ドレスメーカー女学院開設。⑤江部乙町社会福祉協議会発足

十二月③江部乙高校二期工事落成

この年、米の供出割当、事前売渡制に改正

の国連加盟決定。②NHKテレビ開局(札幌)②石橋内閣成立

滝川町関係  
一月①滝川木材(株)を山下木材(株)と改称

二月①町営屠場東町に新築落成(三十年五月着工)○日本社会党滝川支部左右統一成る。②郷土研究会発足

三月⑩滝泉台分校から新設校舎に移転。(字滝の川西一丁目二八四九番地)②「地方財政再建促進特別措置法」の適用を受ける「財政再建申出」の件議決

四月①町立西小学校開校(同年三月三十日滝泉台分校

廃止) ①町立社会病院を滝川町国民健康保険直営病院とする。①滝の川高等学校逐年道立移管開始。①滝川清掃機設立  
五月②清掃条例議決(四日公布)。○東町四〇戸に有線放送設備(モデルケース)  
六月①滝川町役場泉町駐在員事務所設置  
七月⑥自民党滝川支部届出完了、結成大会。⑧参議院議員通常選挙。⑭北海道四十七義士墓北泉岳寺に建立入式挙行。⑮西小学校学校林特別委員会発足。  
⑩西小学校校舎増築。⑳三十年度から三十八年度までの八カ年財政再建計画議決

### 昭和三年(一九五七)

#### 国・道関係

一月⑧国鉄、六支社を設置し地方総支配人制廃止。⑩日仏通商交渉再開。③石橋首相気管支肺炎で就床、岸外相を臨時首相代理に指名  
二月③石橋内閣総辞職。⑤岸信介首班に指名、岸内閣組閣。⑥日・英通商協定調印  
三月⑧道立学校の管理規則決まり、校長が校務主任任命  
四月①HBCテレビ開局。①三笠町に市制施行  
五月②東大ロケット「カッパー三型」の発射成功。②自衛隊第二航空団千歳へ移駐。⑥第一回東北・北海道対抗剣道大会  
七月①創価学会札幌大会(一万二、〇〇〇名参集) ①地球観測年开始。⑥日・豪通商協定調印。⑩岸改造内閣成立。⑮北海学園大に道総合開発研究所設置  
八月①根室町に市制施行。⑥日米安保委員会発足。②札幌大通りNHKテレビ塔の店開き。⑦東海村、原研に日本最初の「原子の火」がともる

八月④「滝川東映」開館  
九月①町議会常任委員会を四委員会とする。②道道滝川・浜益線地下道工事着手。○創価学会組織  
一〇月①農業振興保証融資運営委員会及び審議会発足。②玉葱振興協会設立。⑧農協滝の川支所新築竣工。⑫滝川・砂川間鉄道復線開通、監査運転、二十日から運行開始。⑦商業協同組合解散式。⑮滝川駅前郵便局舎完成。①労政事務所を空知支庁労政出張所と改称  
二月⑤江部乙町との合併促進のため町議会に「合併促進特別委員会」を設置。⑤滝川労働会館を美唄市

九月⑨カルルス(幌別)北湯沢(大滝村)国民温泉に指定される。

一〇月①日本、国連安保理非常任理事国に当選。①大雪山国道開通(層雲峽く留辺蘂間) ④ソ連第一号人工衛星の打上げ成功  
一月⑫文化財に樽岸出土の石器、史跡に神居古潭の堅穴を新指定。③道開発第二次五カ年計画成立  
二月①札幌く東京・仙台間の即時通話開通。⑥日ソ通商条約調印。②NHK野幌放送所完成、放送開始  
**滝川町関係**  
三月⑮滝の川農友会結成。○夕作主婦会発足  
四月①新通学区域実施。①砂川町と行政区域の一部変更(空知太)。①町立社会病院に地方公営企業法の一部適用開始。①農村青少年クラブ連絡協議会結成。  
①料理クラブ発足。○自衛隊演習場を開拓地に決定  
五月⑦人口三万人以上の町村を市とするための全国運動に参加することの議会議決。○こまどり音楽教室

前田富蔵に売却を議決。①滝川・新十津川局間電話即時通話実施。⑤栄町広小路十字街で火災発生、全焼三五世帯、半焼二世帯、焼死者二名  
この年、ドレスメーカー高等女学校校舎竣工。国道三八号舗装工事着手。全道的に冷害凶作  
**江部乙町関係**  
三月⑮三十年度から三十七年度まで財政再建団体の指定をうける  
一月③江部乙洋裁専門学院を空知文化高等洋裁女学校と改称。○江部乙高等技芸学校開校  
この年、りんご試験地設置、道に移管

#### 発足

六月⑬電報電話局舎新築起工。③有線放送工事完了(三月二十五日着工、九月一日業務開始)  
七月②江陵中学給食室竣工、明苑中学第五期工事落成、給食室増築。⑥降ヒョウ、田畑六〇〇町歩に被害。  
⑦明苑中学給食開始。○食糧事務所滝川出張所東滝川駐在所設置。○名店ビル新築工事着手。③町民会館建設工事着手。○銀座名店街、鈴蘭名店街協同組合設立  
八月①町立社会病院を総合病院と称することの知事認可。③外地引揚者給付金、受給申請受付開始。⑤滝川林産物検査員駐在所本町から西町に新築移転  
九月⑨滝川婦人会経営こぼと保育園開設。②首相岸信介遊説のため来町  
一〇月①乳牛経済検定組合発足。②江陵中学校第六期工事竣工  
十一月①社団法人空知労働会館文化振興会解散  
十二月①滝、浜線立体交差開通式挙行。②市街地幹線

道路舗装完成式挙行。⑫町民会館第一期工事落成式。  
 ○滝川商工会館完成。○道管母子住宅一二戸竣工。  
 ②金内郷児「滝川郷土史」発行  
 この年、豊作。三カ年計画で結核検査実施。商工業  
 及び農業振興保証融資開始  
**江部乙町関係**  
 三月○江部乙短歌会結成。○歙塚建立

昭和三年（一九五八）

国・道関係

一月⑳日本・インドネシア平和条約調印。㉑米国の第一号人工衛星打ち上げに成功  
 二月④日・印通商協定調印。⑧当別町で十四年間穴ごもり生活の中国人を発見  
 三月⑨関門国道トンネル開通  
 四月⑮衆議院解散。日英通商協定調印  
 五月⑭日本・スウェーデン貿易協定調印。⑳第二十八回衆議院議員選挙  
 六月⑫第二次岸内閣誕生。⑯日米原子力一般協定に調印。⑲阿蘇山大爆発二名死亡  
 七月①滝川、千歳、砂川、歌志内町に市制施行。①藻岩山ロープウェイ開通、札幌市民会館落成。①大沼、網走道立公園が国定公園に指定。⑮函館開港百年祭（八月五日まで）  
 八月⑰王子争議。⑳青函トンネルの海底ボーリング始まる  
 九月①北教組の勤評阻止闘争始る  
 一〇月①社会保険医療費の新たな数表実施。⑮日本・ラオス経済技術協力協定調印  
 一二月⑳皇太子殿下婚約発表  
 一二月㉑世界最高の東京タワー開場。㉒国内での最後

四月①江部乙高校道立移管。⑮町教育推進協議会発足  
 六月①江部乙・雨竜大橋架橋期成会結成  
 七月⑩石狩堤防（六戸島）築堤工事中。㉑江部乙雨竜線道道に認定。㉒牛乳生産日産五石達成記念式挙行  
 八月⑩町立果樹園芸試験地開庁。㉑市街地域毎月一、

の戦犯B・C級八三人積放  
滝川町関係

一月①札幌地方裁判所札幌家庭裁判所及び札幌地方検察庁の乙号支部設置（十七日開庁式）。⑭町民会館運営審議会設置。⑭滝川電報電話局庁舎竣工  
 三月⑩開発局札幌開発建設部滝川出張所庁舎竣工（三十二年十月着工）。○滝川地下道（滝浜線と鉄道立体交差）完工。㉑農村有線放送工事中。○北電滝川火力発電所建設所設置。㉒種羊場庁舎焼失  
 四月①水道事業会計に公営企業法一部適用実施。①滝川町農業改良相談所を空知支庁滝川地区農業改良普及所と改称。①滝川楽友ピアノ教室開設。○地区労務事務所竣工。⑮第二回町議会臨時会で滝川町を市とすることの議決。①滝川種羊場を道立滝川種畜場と改称。①滝川銀座商店街協同組合発足。①都山流尺八同好会発足  
 五月①火力発電所着工。①納税貯畜組合農業地区連合会発足。㉒衆議院議員選挙。○日勝寺本堂完成  
 六月⑩名店ビル内に「テアトル宝映」開館。㉑電報電話局移転分離、午前零時から市内電話「自動式」に切替わり、江部乙と即時通話。㉑道道滝川、浜益線滝川地下道竣工式並びに石狩川橋起工修被式挙行。

十五日一斉清掃日に決定  
 九月○国道十二号舗装工事実測開始  
 一〇月○百葉会（盆栽）結成  
 一二月㉑旭沢農村委託公衆電話完工。○北辰中学校特別教室増築

⑤朝野球連盟結成

七月①市制施行「滝川市」誕生。①滝川だよりを「市政だより」とする。①分課条例改正、福祉事務所を設置等。①農村有線放送電話開通。①町立社会病院を滝川市立病院と改称。②皇太子殿下滝川駅で下車札幌に向かう。①名店ビル落成式  
 八月①市民会館第二期工事中。③滝川火力発電所起工式。⑮市道空知通り線舗装工事中。⑯滝川ロータリークラブ発足。○滝川・札幌間ジーゼル化  
 九月○食糧事務所滝川出張所北滝の川駐在所設置。⑬市制施行祝賀記念式典挙行。㉑第一回全空知駅伝大会開催。○自衛隊演習場、緊急飛行場完成  
 一〇月⑧都市計画用途地域設定発効。⑭滝川ケルクラブ結成。○初の道管住宅一二戸竣工  
 十一月○文化劇場を「滝川国際劇場」と改称。㉒浄水場に浄水神社建立。③日本キリスト教会滝川教会堂新築献堂式挙行  
 一二月①市金庫として中空信用金庫を指定。⑭滝川映画劇場を「セントラル劇場」と改称。（三十九年三月閉館）⑯工業高校定時制給食室落成。㉑滝川種畜場新庁舎落成  
 この年、豊作。小児マヒ発生。私立滝川商業高校校

舎着工。滝川共同職業訓練所発足  
江部乙町関係

二月⑦国保診療所歯科検診再開  
三月⑧農協青年部創立  
四月①町立中央季節保育所設置。①農業改良相談所が

昭和三四四年（一九五九）

国・道関係

一月①新国民健康保険法施行。①メートル法実施。⑩  
NHK教育テレビ開局。⑫北見工業短大設置決まる  
三月①札幌旭川間即時通話開始  
四月④厚生省、小児マヒを指定伝染病に決定  
⑨国民年金法案成立。⑩皇太子さま、正田美智子さ  
ん御成婚式。⑬知事、道議会議員選挙、知事町村金  
五当選。○民放札幌テレビ放送開始  
五月①防衛二法案、参議院本会議で強行成立  
六月⑤第五回参議院議員通常選挙。⑬岸改造内閣成立  
七月③日本、パラグアイ移住協定調印。⑭ミスユニ  
バースコンテストに児島明子一位入選。⑮特急「こ  
だま」スピード試験に時速一六三キロメートルの狭  
軌道世界記録  
八月⑪タクシーの個人営業を許可。⑬在日朝鮮人帰還  
協定調印。⑲第一回全道旭川旭川札幌間駅競争始ま  
る。⑳ハンガリーと国交回復調印  
九月①日本、ルーマニア国交回復調印。⑮厚生省日本  
人の寿命統計、平均男六五歳、女六九・六歳と発  
表。⑳北鮮帰還申請受け  
一〇月②社会党三三議員離党「社会クラブ」を結成。  
⑳道教育功績者一〇氏決る  
一一月⑰札幌とポートランド市が姉妹都市提携

空知支庁江部乙地区農業改良普及所と改称。⑩お知  
らせを「広報えべおつ」と改称  
六月〇水稻試験地設置  
七月〇部落統合促進協議会組織。○教育推進協議会を  
江部乙町教育振興会と改称

滝川市関係

一二月②デモ規制法案、自民党の単独審議で衆議院通  
過  
一月①泉町簡易郵便局設置認可（業務取扱開始）⑱今  
野学園滝川商業高等学校設立認可  
二月②滝川種畜場庁舎新築落成  
三月②水道事業と市民会館竣工式。⑳私立滝川商業高  
校第一期工事完了（三八九坪）㉑滝の川高校道立移  
管完了、同年四月一日道立滝川工業高校季節制普通  
科課程となる  
四月①工業高校、工業化学科新設一学級募集。⑤市長  
神部俊郎退職。⑬私立滝川商業高等学校第一回入学  
式挙行。⑳市長、市議会議員選挙、佐久間貞江市長  
に当選。①新農村振興計画地域指定。○北電火力発  
電所第二期工事着工  
五月⑫企業誘致特別委員会設置。⑮国際劇場を「滝川  
北映劇場」と改称  
六月②参議院議員選挙。⑫札幌管区気象台滝川気象通  
報所開所式二十一日から観測開始、庁舎は昭和三十  
三年十一月十一日完成。⑭滝川青年政治連盟設立総  
会開催。⑰上水道水源増設認可（二期事業）⑳滝川  
公共職業安定所を栄町から緑町に移転庁舎完成  
八月⑧滝川青年会議所設立。⑩市史編さん委員会設

九月⑩江部乙町史発刊。⑪江籠橋着工式  
十一月②北辰小音楽教室落成  
この年、困ったこと相談所を開設。新農村振興計画  
地域指定。北辰小、東陽小学校林設置

江部乙町関係

一置。○中央バス営業所を改築、ターミナルを併設  
九月②民謡振興会結成。⑲第一小学校新築校舎起工  
式。⑩民謡晴友会結成  
一〇月①母子会設立。①ヤマハオルガン教室発足。⑩  
市道空知通り舗装工事完工。○商業高校体育館完  
成。○イエスの御霊教会伝道開始（四十七年八月二  
十四日法人許可）  
十一月①書道土筆会発足。⑩石狩川橋架換第一期工事  
竣工  
一二月②民生委員協議会設立。②在市滝川屯田兵最後  
の生存者酒井利太郎死去  
この年、豊作  
江部乙町関係  
二月③江部乙神社社務所落成式  
四月③町長、町議選挙、町長に高桑又一再選  
九月①国民年金制度事務取扱開始。⑮台風十四号被  
害一億円以上。○国道十二号十二丁目十三丁目間、  
江部乙雨竜線市街地舗装  
一〇月⑦農業センター落成式。⑲米穀の代表者売渡制  
度開始  
十一月①農協低温倉庫落成式  
この年、北空知地区国営灌漑排水事業完了

昭和三五年（一九六〇）

国・道関係

一月①日米新安保条約及び新行政協定調印（六月十九日自然承認）②第一回北海道書道展開く  
二月②牛馬を除き家畜税廃止。③浩宮徳仁親王御生誕（皇太子第一皇子）④日ソ貿易協定妥結

三月⑤社会党委員長に浅沼稻次郎当選

四月⑩民主社会党道連結成大会、委員長に小平忠⑨全学連、国会周辺に学生を動員国会請願デモ。⑧道内のインフルエンザ五万人を越し、死者二三名

五月⑩日米新安保条約承認のため衆議院本会議場騒動。④チリ地震による津波、日本全土太平洋岸を襲う

六月⑩アイク訪日打合せのため来日のハガチー氏、総評全学連による阻止で大混乱。⑮安保阻止国民会議の統一行動、全学連国会構内の乱入で警察隊と乱闘、樺美智子さん死亡の惨事起こる。③岸首相臨時閣議で正式辞意表明

七月①自治庁が自治省に昇格。⑭岸首相刺されて負傷。⑮岸内閣総辞職。⑯池田勇人首班指名、十九日新閣僚認証式

八月⑮第十七回オリンピック大会ローマで開催。⑰五月以来全道的に小児マヒ多発

一〇月①国勢調査（全国九、三四〇万六、八三〇、道五〇三万九、一六二人）①日本酒の②廃止。⑫浅沼社会党委員長刺殺される。⑭衆議員解散  
十一月⑮日本・ブラジル移住協定に調印。⑯衆議院議員総選挙。⑰北朝鮮帰還促進協議会、週一回、二〇〇人送還で交渉妥結

十二月①三井三池の新旧労組全面就労。⑤池田内閣総

辞職。八日第二次池田内閣成立。⑬日本・パキスタン通商条約調印。⑯新道路交通法施行。⑰道企画本部、本州との物資交流調査まとめる。移出は移入の四倍

滝川市関係

一月⑭日本棋院滝川支部結成。⑮北電滝川火力発電所第一期工事試運転

二月①農業センサス実施。①茶道裏千家淡友会和美会結成。③新生活運動委員会委員委嘱。④毎日新聞社滝川通信部設置

三月①滝川地区労指定店発足。⑧滝川地方製造工業安全協議会設立総会。⑯滝川市の開基記念日を「七月一日」とすることに議会の諮問を経て決定。⑦滝川地区保護司会発会式。⑨火力発電所第一期工事完了祝賀会。〇滝川桜雲会（吟道）結成

四月①滝川工業高校機械課程新設。③滝川山岳研究会結成。〇母子会発足

五月②滝川老人ホーム明友会開所（於光暁子太子堂）②滝川青年会議所認証伝達式。③工業高校移転新築地鎮祭（西三丁目）④毎日新聞社滝川通信部設置

六月①滝川吟詠会結成。⑧第一小第一期工事完工式。①滝川火力発電所三期工事着工

七月①滝川市開基七十周年記念式典挙行。①商業協組滝川信販発足（専門店と商店会合併）④国営北空知地区かんがい事業完工祝賀会。⑫⑬第一回滝川卸商総合見本市開催。⑯江陵中学校第九期工事竣工（総計普通教室三一、特別二、体育館一）

八月①国民年金事務取扱開始。⑦満洲開拓団慰霊「殉

難者之碑」除幕式。③小児マヒ予防特別対策本部を設置。⑧農林大臣南条徳男来市

九月①滝川音楽センター設立。②滝川射撃倶楽部結成。⑩⑪全道PTA研究大会開催。⑩農協低温恒湿倉庫完工（二十日完工祝賀会）⑫行政PR行事として「一日婦人課長」実施。⑰滝川茶道連合会結成。⑰ライオンズクラブ設立総会開催。⑰滝川駅流雪溝起工式

一〇月①国勢調査（人口男一万八、〇一人、女一万七、〇八一人計三万五、〇九二人）①俳句作家クラブ結成。⑧市街地青年による滝川春秋クラブ設立。

⑫道立滝川職業訓練所第一期生入所式（一日設置）。⑮私立滝川商業高校第三期工事完成開校記念式。校舎完成式挙行（一、四四九・四七五坪）⑯滝川自動車運転者会結成式（三十六年協会に改称）。⑮⑰第一回市政世論調査実施。〇滝川中央病院開業。⑳生田流正派静調会北出社中発足

十一月⑩火力発電所第二期工事分火入式（十二月八日試運転）。②農業青年研修所落成式。②衆議院議員総選挙。②朝日劇場（旧浜基館）開館（四十二年八月二十四日閉館）。〇NHK滝川通信部設置。⑤上水道給水拡大（三期事業）認可

十二月①⑦工業高校跡地の宅地分譲購入希望者受付（十二日競争入札）。①全日本銃剣道連盟滝川支部結成。⑤道食糧事務所滝川支所新築落成式。⑩滝川高校増築落成式。④駅構内流雪こう試運転、使用開始。⑦第一小校舎第二期工事完工。⑧滝川職業訓練所新庁舎完成。業務開始。⑧スケートリンクを児童公園内に開く（翌年二月末まで）

この年、前年に引き続き豊作。婦人学級開設。  
 滝川バレーボール協会結成。滝川短歌会誕生  
**江部乙町関係**  
 二月⑪空知身体障害者福祉協会江部乙町分会設立  
 三月⑦青少年問題連絡協議会発足。○母子会（ひまわり会）発足

四月①果樹試験地地道立移管。①水稲試験地開設  
 五月⑦江竜橋起工式（延長八〇メートル）  
 九月⑫高砂会（老人クラブ）発足。⑫新法による江部乙商工会設立

一月⑩江部乙書道連盟（現愛好会）結成。○ひろはの会（生活作文）結成。○江部乙音楽協会結成  
 一月⑪旭沢地区電化工事完成（三十一戸）

昭和三十六年（一九六一）

国・道関係

一月⑭国防会議、師団改編、三十六年度から実施を政  
 府決定。⑭日本、ブラジル文化協定調印。⑭日ソ民間文化協定調印  
 二月⑲日本医師会、日本歯医師会のいっせい休診を実施  
 三月⑬道文化財保護協会発足。⑭ライシャワー教授、米駐日大使に任命  
 四月①国民皆保険と拠出制国民年金発足  
 五月①北海道穀物商品取引所開所。⑮日本・ペルー通商協定調印  
 六月①恵山・川汲地帯を恵山道立自然公園に指定。②防衛二法改正案、参院通過成立。②池田、ケネディ会談、日米貿易経済合同委員会設置決定  
 七月⑬池田首相、内閣改造を完了。②日銀、公定歩合日歩一厘引き上げ（輸出貿易の金利は日歩一厘引下げ）決定、東証株価、開所以来最大の暴落。③日本最長の北陸トンネル（一万三、八七二メートル）開通式  
 九月①札幌と石狩を結ぶ石狩マンモス陸橋完成  
 一〇月①函館〜旭川間に本道初のディーゼル特急「おぞら」走る  
 十一月⑤災害対策基本法制定  
 一二月⑮東大核研で大型電子シンクロトン完成  
**滝川市関係**

二月⑧火力発電所二期工事完了通気式試運転。⑯地区労家族会連合会水道料金値上げ反対を市に要請。⑲北中空知印刷業者が道印刷業組合を脱退、新組合結成  
 三月⑫納税貯蓄組合連合会発足（九五組合加入）⑬北滝の川診療所閉鎖。○新生活運動委員会設置  
 四月①滝川歯科医会設立。①八大龍王大自然愛信教団滝川布教所設立（四十七年八月十五日滝川教会となる）⑧市総合庁舎新改築工事着工  
 五月⑫衛生組合長会議で、市街地ゴミ箱一〇戸に一個、毎月一、十五日を清掃日とする  
 六月③工業高校移転新築工事起工式。⑧青少年問題協議会発足。⑨第一小校舎三期工事着工。⑨新設中学校（開西）新築工事着工。○ゴミ収集に新鋭車を導入（大型車は七月末導入）  
 七月①高畑利宜遺記録碑除幕（旧市民会館前庭）。⑥滝川職業訓練所新築落成式。⑩検察庁庁舎移転改築着工。⑫西小学校増築完成（五月二十二日着工）。⑫滝川警察署移転新築着工。⑫豪雨、空知川沿岸水害。○火力発電所二期工事完成  
 八月①電話市外通話自動化。⑭明苑中学校増築落成（六月九日着工）。⑮都市計画下水道事業（望月川改修）着工  
 九月⑬東滝川駅貨物取扱廃止。⑬滝川ガス併設立。⑭

民生委員が「心配ごと相談」を開始。○池坊清月派滝川支部結成  
 一〇月①泉町公園整備完成。⑭明るく正しい選挙推進協議会設置  
 十一月⑦東滝川消防会館落成。⑭第一小校舎三期工事完成。⑭新設中学校（開西）新築工事完成  
 十二月①農業労働力調整協議会設置。④市役所新庁舎完成移転、業務開始（消防本部も本庁舎に入る）。⑤警察署庁舎竣工（十二日落成式）。⑦東栄小中学校移転改築着工。⑦第一小学校三期工事完成。⑩検察庁庁舎竣工。⑫職業訓練所落成。○空知教育研究所を市役所三階に移転  
**江部乙町関係**  
 一月①「広報えべおつ」を「町制だより」と改称  
 四月①江部乙停車場線道道認定、舗装。○果樹園芸試験地が道立農業試験地江部乙りんご試験場と改称、道立移管。④農政審議会設置  
 五月⑤石狩川沿岸道路記念碑移設式。○札幌市へ転出町民、郷土に記念植樹  
 十一月⑦引揚者授護寮全焼  
 一二月⑩北辰中学校校舎増築完成。○無電灯地区に送電開始  
 この年、米大豊作。市街地ゴミ収集借上車により行う。本年度をもって財政再建を完遂

昭和三十七年（一九六二）

国・道関係

一月⑩五年制国立工専、函館と旭川に設置決定。⑬陸上自衛隊の新師団編成により管区隊編成廃止し八個師団誕生

二月②日米関税引下げ協定調印

三月⑥エカフエ第一八回総会、東京で開催。日米ガット関税取り決め調印。⑰全国初の道信用組合連合会発足

四月⑥全日本労働総同盟組合会議結成、構成は全労、総同盟、全官公、議長に中地熊蔵。○暑寒別を道立自然公園に指定

五月⑫道物価協議会発足。⑩住居表示に関する法律制定

六月⑫日本、E E C関税相互引下げ協定調印。⑳十勝岳大爆発、五人死亡、一二人重軽傷

七月①第六回参議員議員選挙。⑩世界最大のタンカー日章丸（一三万トン）進水。⑩第二期道総合開発計画を閣議決定。⑪参院で創価学会一五議席となり「公明会」結成、院内交渉団体となる。⑰池田内閣総辞職、十八日池田改造内閣発足

九月⑫原研の国産一号原子炉に「原子の火」。⑳道酪農会議設立総会。㉑東洋一のつり橋「若戸大橋」完成（全長二、〇六八メートル、橋長六八〇メートル）

十一月①防衛施設庁発足。⑭日英通商航海条約ロンドンで調印

昭和三十八年（一九六三）

国・道関係

一月⑫米、原子力潜水艦の日本寄港を希望、日本は原則的に同意

二月①福島町で青函海底トンネル調査坑着工式

二月⑭日銀券の一日増発高一、八六〇億円で最高記録。⑳日中民間貿易議定書、北京で調印。○野付、風運を道立自然公園に指定

滝川市関係  
一月⑨滝川駅構内流雪溝二期工事竣工（三十六年七月二十四日着工）。⑩泉町商店会設立。⑰市立病院運営審議会発足（五十年十月十七日廃止）。⑭赤十字奉仕団結成（団員二八名）。㉑降雪対策連絡協議会発足。㉒工業高等学校新校舎へ移転。㉓検査庁庁舎落成式

三月⑫滝川市防犯協会創立。㉔交通安全運動推進協議会設立。○北電火力発電所三期工事完成（最終総出力二二万五、〇〇〇キロワット）

四月①開西中学校開校入学式挙行（十一月二十日開校記念式）。○滝川駅改築。○農業改良普及所を青年研修所内に移転。○統計調査事務所を大町に移転。○朝日新聞社滝川通信局設置

五月⑭川島道開発庁長官来市。㉕滝川地区食品協力を滝川地方食品衛生協会と改称

六月⑨市総合庁舎落成式㉖児童会館建設竣工（明神町）（七月老人福祉センター併設）。㉗財団法人北海道傷痍軍人会滝川地方支部結成

七月①日本ヒューム管（榑滝川工場操業開始）  
八月②し尿処理場建設着手（九月十二日起工式）。③台風九号に伴う豪雨で空知川沿岸に被害。㉘第一回交

通安全市民大会開催。○交通指導員会組織（自主的）。○お年寄健康コンクール実施

九月⑤母子年金第一号受給証書交付。㉙滝川工業高等学校校舎完成落成式

一〇月⑨ゴミ箱を撤去。⑪滝川民謡竜正会発足  
十一月⑤石狩川橋竣工式。⑮第一小学校四期工事完了。⑳泉町大火（被災一四世帯）  
十二月①じん芥処理、従量制により開始。⑭滝川駅改築落成。⑭東栄小中学校移転改築完成（三十八年一月二十六日落成式）

この年、「滝川竜栄太鼓」発足  
江部乙町関係  
四月⑫そさい生産組合発足

六月⑤役場庁舎改築着工（青年会館を仮庁舎）  
七月⑮屯田記念樹（ニレ）老朽のため伐採。㉚町民体育祭開催

九月⑩役場庁舎完成移住。㉛りんご試験圃場道立移管祝賀会。㉜全町環境衛生コンクール実施。㉝老人クラブ「高砂会」発会。○道内国民年金モデル町に指定される

一〇月⑩町民体育館建設着工。○農協事務所竣工  
十一月③空知文化高等洋裁女学校をドレスメーカー空知高等女学校と改称。⑬東陽小中学校完全給食実施。○農業改良普及所改築移設

四月⑰道議、知事選挙。知事町村金五再選。㉞苦小牧工業港入船式。㉟市町村議、長選挙。○義務教育教

科書の無償配付年次計画で実施（本年小学一年生）

五月①深川町と音江、納内、一巳の三村が合併して深川市誕生。②米空軍機、沖繩から板付に配属

六月③小さな親切運動本部発足。④貝殻島周辺の安全操業十八年ぶり実現、コンブ漁船出漁。⑤北日本航空の札幌―八戸―東京線の運航開始

七月⑥防衛庁、新島で国内初の空対空ミサイルテストの発射実験に成功。⑦池田改造内閣発足。○三井美唄鉱閉山

八月⑧日本、核停条約に調印。⑨防衛庁、対空ミサイル「ホーク」の第一次大隊を千歳配置

九月⑩帝國纖維札幌工場で閉場式

一〇月⑪衆議院解散。⑫原研東海村研究所の動力試験炉、発電テスト成功、世界で一番目の原子力発電国となる

十一月⑬三井三池鉱でガス爆発、四五八人死亡、五五人重軽傷。⑭衆議院議員総選挙

一二月⑮第三次池田内閣成立。⑯東大宇宙観測所のロケット、ラムダ二型二号機発射成功、高度四一〇キロメートル  
この年、バナナの自由化する  
滝川市関係  
一月⑰青少年赤十字結成式。⑱滝川自然石趣味の会結

### 昭和三九年（一九六四）

#### 国・道関係

一月⑩日本共同証券会社設立決定  
二月①文部省、道徳教育教師用指導資料発表  
三月②札幌の豊平館、国の重要文化財に指定  
四月③日本、IMF八条国に移行。④北日本、富士、日東三社合併し「日本国内航空」発足。⑤政府、戦

成

二月⑥防災会議設置。○旧石狩川橋解体。○火災予防相談所を消防本部に開設

三月⑦滝寛会（吟道）結成。⑧商業高校三期工事完成。⑨市政だより五〇〇号発行。⑩滝川振興公社設立

四月⑪市政だよりを「広報たきかわ」に改称。⑫札幌鉱山保安部滝川地区現地監督班が滝川鉱山保安監督署に昇格。⑬市長、市議会議員選挙、市長に佐久間貞江再選

五月⑭池の前保育園開園。○滝の川公園整備三カ年計画で着手。国道十二号改修工事着手。○朝日町団地造成着手。⑮滝商高校四期工事完成。⑯第一回園芸市開催（十二日まで）

六月⑯準防火地域指定適用  
七月⑰第一回公共施設見学会。⑱防火管理者連絡協議会設立

八月⑱市民相談室設置（十二日業務開始）⑲開西中学校プール完成修ばつ式。⑳観世会結成

九月①福祉事務所内に愛情銀行発足。②老人クラブ連合会結成。③第一回市民体育祭開催  
一〇月④国道三十八号市内舗装完了。⑤低開発地域工

業開発促進法の開発地区に指定される。○駅前広場

没者叙勲決定。⑥日本、OECD正式加盟手続き。

⑦第一回生存者叙勲発表  
五月④日・英領事条約に署名、共同声明発表。⑤初の中国墓参団出発。⑥道商工指導センター発足。⑦知床半島、国立公園に指定される。⑧道教委、教頭制を公布（七月から実施）

舗装着工（十一月完成）。○東栄小中学校屋体完成、移転改築完了（十一月二十八日落成式）

一月②第一小学校五期工事屋体完成。○東滝川立体交差完成。○市道西一丁目道路改修工事着手

一二月①第一回青年婦人模擬市議会開催。②青少年補導センター発足  
江部乙町関係

一月⑬江部乙町体育館完成利用開始  
三月⑭公明選挙推進協議会設置  
四月⑮困った事相談所を心配ごと相談所と改称。⑯町政だよりを「えべおつ」と改称。⑰町長、町議選挙、三代目町長に伊藤等当選

五月⑯名誉町民第一号に故三沢貫之助が決定贈呈。○屯田中隊本部碑と練兵場跡碑を建立

六月⑰森谷雅楽瑞社中発足（三曲）  
八月⑱家屋評価基準改正に伴う一斉調査開始

一〇月①えべおつ幼稚園開設。○小学生に猩紅熱まん延、北辰小学校を仮隔離病舎とする  
十一月②商工会館竣工

一二月③役場庁舎と体育館の落成式開催  
この年から市街地ゴミ収集を町有ダンブで行う

六月⑱新潟地震、全半焼八、六〇〇戸、被害三、〇〇億円。⑲札幌―東京間電話自動即時通話

七月⑤国府、日本商品買付け禁止を解除。⑶池田改造内閣成立。⑷東海道新幹線開通  
八月⑱リスボンの技能オリンピックで日本選手団、金メダル一二、銀四で最高の成績となる。⑳道鳥にタ

ンチョウヅル決定

九月⑧齒舞諸島と色丹島の募参実現（〜九日）。③義宮殿下ご結婚

一〇月①東海道新幹線営業開始（東京〜新大阪間）。⑩第十八回オリンピック東京大会、九十四カ国五千五百余人参加（〜24日まで）。⑤池田首相、病気のため辞意を表明

一二月①佐藤栄作内閣成立

一二月①帯広空港開港式

滝川市関係

一月③日本社会党滝川総支部に改称。⑩泉町簡易郵便局が特定郵便局に昇格、滝川泉町郵便局と改称

二月②第一小学校落成式

三月〇財政再建指定団体計画を完了。〇中空知九市町による消防相互応援協定締結

四月①市立病院精神病棟完成診療開始（三十八年九月着工）。①駐在区制度改正、町名ごとに一連番号とする。①ゴミ処理栄町を従量制に、処理券を市証紙に変更。①岳風会滝川支部（吟道）結成

五月①結婚相談所開設により相談員八名委嘱。①市議

昭和四〇年（一九六五）

国・道関係

三月⑦全北海道中小企業労働組合連合会の結成大会開催。①⑦道製材工業組合発足。⑧新南極観測船「ふじ」の進水式。⑤大雪山、特別天然記念物に指定

五月①青函トンネル調査斜坑、海底に到達。⑤道教委、公立高校の小学区制を廃止し、大学区制に移行決定（六月二十八日公布）

六月③佐藤改造内閣発足。⑧中央各界の北海道出身者が北海道問題懇話会を結成。⑩道そ菜需給調整協議

会だより第一号発行。①黄金町大火、全半焼三六棟、八〇戸六七世帯、二八九人損害額六、四〇〇万円。①交通安全都市宣言。〇スポーツ少年団結成

六月⑥秩父宮妃殿下、黄金町大火現場を見舞う。〇錦城古流滝川支部結成

七月⑥特別職報酬等審議会設置。⑤し尿処理場完成。衛生センターとして操業開始（二十三日完工式）⑩泉町郵便局新築移転。④裁判所庁舎新築地鎮祭。⑤滝の川市営プール完成利用開始。⑦開西団地三カ年計画で造成、地鎮祭。〇第一回老人福祉大会

八月⑧西小学校改修工事完了

九月⑤開西中学校改築完了。⑩滝川川柳社結成。⑤江陵中学校改築完了。〇手をつなぐ親の会結成

一〇月①特急「おおとり」運行開始。〇中空知信用金庫新築移転

十一月②駅前広場整備工事完工式。⑩滝川民謡研究会結成。〇生田流旭会米内山中発足。〇人石記念塔建立（泉町公園内）

一二月①市政調査員（モニター）委嘱。①泉町児童館開館。⑤税務署新庁舎完成移転

会発足。②日韓基本協約と関係協定調印。②利尻・礼文、国定公園に昇格

七月①道農業学園スタート。④第七回参議院議員選挙。⑦戦後初の樺太墓参実現（〜31日）

九月④乳牛三〇万頭突破記念大会（於札幌）

一〇月①第一〇回国勢調査。④公務員制度審議会発足。⑤日勝道路開通（日高町〜清水町間の五七・八キロメートル）。②朝永振一郎東京教育大教授、ノーベル物理学賞受賞

この年、冷害

江部乙町関係

二月②第一回町づくり研究大会開催。②納税貯蓄組合連合会結成（単組九三加入）

三月〇有線放送廃止

四月〇江部乙短歌会を江部乙短歌連盟と改称

五月①教育振興会を江部乙町教育推進委員会に改組。⑤開基七十周年記念式挙行。⑩NHKのど自慢素人演芸大会

六月⑦地域団体加入電話新組合結成

七月⑩道営大規模旭沢地区溜池落成。②滝川交通安全協会江部乙支部発足

八月⑩町史蹟保存会発足。〇江部乙駅跨線橋増設。〇全町民健康調査実施

九月⑩屯田座談会開催。⑤俳句会再結成

一〇月①交通安全地区宣言議決

十一月⑥駅前通り線、道道に昇格

この年、国土調査法による地籍調査開始。商工青年部結成。冷害で農作物減収

一月②体力づくり道民協議会発足

二月③函館本線小樽〜旭川間の電化工事起工式。③日米航空協定改正に調印、世界一周線を獲得

滝川市関係

一月③道文化財保護委員来滝、開発記念物調査。③滝商高校新体育館竣工式

三月①滝川小原流結成。②市立病院改築工事着手（四月十五日起工式）

立。⑭泉町通り立体交差完工式（函館本線跨線橋）。  
 ⑮滝川草flows岡田社中、表千家岡田社中結成。⑯隔  
 離病舎廃止（羅患者は他市町に委託収容）。○夕張製  
 作所が北炭機械工業と改称  
 五月⑧裏千家流上田社中結成。⑩日本手工芸指導協会  
 結成  
 六月⑬緑町団地集会所完成。季節保育所にも併用。○  
 空知ゴルフ場コース完成オープン  
 七月⑫農業学園発足、開講式。○東一丁目根室本線跨  
 線橋工事着工  
 八月⑫中国から農業視察団来市  
 九月⑫東滝川地区電話自動化。⑮ひばり保育園改築竣  
 工。⑳西小学校増築竣工

昭和四一年（一九六〇）

国・道関係

一月①母子保健法施行  
 四月①メートル法（土地・建物関係）完全実施。⑥東南  
 アジア開発閣僚会議を東京で開催、九カ国代表参加  
 （日本主催の戦後初の国際会議）  
 五月①富良野・山部両町が合併して富良野市誕生。⑱  
 北海道産業文化協会（道文協）発足  
 六月⑭ILO 87号条約発行。⑮祝日法改正案成立、敬  
 老（九月十五日）、体育（十月十日）の日新設  
 七月⑮道石炭対策本部発足  
 八月①佐藤第二次改造内閣発足。⑪第六回世界青年会  
 議、九十七カ国参加、東京で開催。⑫政府北海道緊  
 急輸送連絡協議会を設置。⑬戦後初の国後島募参実  
 現（26日）。⑭第一一回太平洋学術会議を日本武  
 道館で開催  
 九月⑳北海道の木にエゾマツ決定

一〇月①国勢調査実施。⑤上水道施設拡張工事起工  
 式（五カ年計画）。⑬裁判所庁舎完成移転（十一月二  
 日完工式）。○有線放送廃止。⑳郷土研究会再発足  
 十一月⑦西町老人福祉センター開設（六月二十二日着  
 工）。⑩明苑中学校増築竣工（七月十二日着工）。⑫市  
 立病院第一期工事完成（十二月一日診療開始）。⑬電  
 報電話局増築完成  
 一二月⑬朝日町に消防署臨時北分遣所開設。○中空知  
 信用金庫北支店開設。○国鉄札幌建築区滝川支区設  
 置  
**江部乙町関係**  
 六月①町民健康白書公表。⑪郷土室着工。④体育連盟  
 結成

一月⑩道青少年育成推進協議会発足。⑭アジア開発  
 銀行創立総会

一二月⑮衆参両院本会議、野党全員欠席のまま首相の  
 所信表明演説。⑰衆議員解散  
**滝川市関係**  
 三月⑩農村集団電話開通五五七戸（四十年十月十五日  
 着工）。⑬市立東栄高等学校閉校式。○公益質屋営業  
 廃止  
 四月①滝川民謡連合会発足（竜正会、振興会、研究会、  
 滝鉄会、美声会の五支部）  
 五月①滝川卸売市場仲買協同組合設立。⑳「空知新  
 聞」発行  
 六月⑧泉町工業団地造成工事起工式（九月完了）。⑭  
 上水道浄水施設起工式。⑮勤労青年ホーム建設着工  
 （十月三十一日竣工）。○東一丁目跨線橋完成。○  
 滝川統制電話中継所、電報電話局内に移転

七月⑪学校給食センター着工  
 八月○ゴミ収集従量制実施  
 九月⑥郷土室落成公開（七月五日竣工）。⑱江電橋竣工  
 式。○駅前通り舗装完了  
 一〇月①国勢調査（人口八、四五八人）。○NHK歌志  
 内UHFテレビ放送開始  
 十一月⑬学校給食センター竣工（二十九日全校給食開  
 始）  
 一二月⑯全国環境コンクールで厚生大臣表彰。○家庭  
 教育学級開講  
 この年から三カ年計画で結核検診実施

七月⑩電話全国即時網に編入。⑪文化センター建設審  
 議会発足。⑫消防署北分遣所（朝日町）完成。⑬滝  
 川市消費者協会設立。⑭老人大学初開講

八月⑫道防災総合演習、石狩川岸（滝川駅裏）で実  
 施。⑳集中豪雨で空知川沿岸水害  
 九月⑪消防頭彰碑除幕。⑫沿岸神社を空知自動車学校  
 内に移転奉遷  
 一〇月①滝川保育所開所式（緑町）（六月一日着工、  
 九月二十日竣工）。⑪市立病院二期工事完成、全館診  
 療開始。⑫明苑中学校増築竣工（六月八日着工）。  
 ⑬沿岸神社、空知交通神社と改称。⑭一の坂立体交  
 差起工式。⑮空知大橋架替え工事起工式  
 十一月④滝川市地域衛生協力会連合会発足。⑨商業高  
 校学校林設置。⑮東滝川地区は場整備事業修祓式  
 一二月①勤労青少年ホーム開館。⑮富平浄水場完成、  
 試験通水開始。○日本専売公社滝川出張所庁舎改築

落成

この年、映画館「公楽」開館（五十一年四月閉館）  
江部乙町関係

一月<sup>18</sup>北海道スリップ工業機設立登記（七月操業開始）  
四月<sup>1</sup>紫山会（造景美術）結成

昭和四二年（一九六七）

国・道関係

一月<sup>20</sup>東京・モスクワ間空路開設のため日ソ航空商務協定に調印。<sup>27</sup>宇宙平和利用条約に米英ソなど六十六カ国が調印。<sup>28</sup>衆議院議員選挙  
二月<sup>11</sup>初の「建国記念の日」。<sup>13</sup>道青少年憲章がでる。<sup>17</sup>第二次佐藤内閣スタート

三月<sup>22</sup>道旗と道章決まる  
四月<sup>5</sup>警視庁、交通一一〇番制度を新設。<sup>15</sup>道知事に町村金五が三選。東京都知事に美濃部亮吉が当選。  
<sup>22</sup>北海道文学館設立。<sup>28</sup>市町村長、議員選挙

六月<sup>14</sup>東名高速道路の日本坂トンネル貫通  
七月<sup>20</sup>「釧路湿原」国の天然記念物に指定  
八月<sup>1</sup>沖繩問題等懇談会発足。<sup>3</sup>寒地農業開発法期成会発足

九月<sup>3</sup>北海道立美術館開館。<sup>19</sup>道社会復帰事業協会発足

一〇月<sup>13</sup>ナイキホークの国産化で日米協定成立  
一一月<sup>25</sup>佐藤内閣成立。<sup>25</sup>第九次南極観測隊「ふじ」出港

一二月<sup>8</sup>北大で本道初の「原子炉」始動  
滝川市関係

昭和四三年（一九六八）

国・道関係

五月<sup>5</sup>新生興産機江部乙工場に敷地の一部提供を決定（六月操業開始）  
七月<sup>10</sup>電話市外通話全国即時通話となる。<sup>18</sup>江部乙商店会設立  
八月<sup>1</sup>食糧事務所江部乙出張所移転改築竣工。〇開拓

五月<sup>1</sup>身体障害者福祉センター開設（公益質屋跡）。<sup>23</sup>文学懇話会結成  
二月<sup>1</sup>内水面養魚組合設立。〇魚菜市场を滝川卸売市場機と改称  
三月<sup>20</sup>給食パン工場完成。<sup>31</sup>こぼと保育園廃園市立に移管

四月<sup>1</sup>中央保育所開所（旧こぼと保育園）。<sup>1</sup>じん芥収集ボックス方式採用、収集区域九、〇〇〇戸に拡大。  
<sup>1</sup>美術刀剣会（現滝川刀剣会）発足。<sup>28</sup>市長・市議選挙、佐久間市長三選  
五月<sup>1</sup>空知大橋仮橋架橋  
六月<sup>1</sup>富平浄水場通水式。<sup>1</sup>空知大橋解体式。<sup>20</sup>滝川食糧小売商業協同組合発足

七月<sup>1</sup>し尿収集、計画軒並み収集とする。<sup>1</sup>日本生花可花月堂古流滝川支部結成。<sup>1</sup>屯田大隊本部跡碑建立（四十八年石碑に建てかえ）。<sup>13</sup>中空知市町振興協議会発足。<sup>15</sup>工業団地協同組合発足（五十四年九月解散）。<sup>27</sup>都市計画用途地域変更  
八月<sup>9</sup>協同組合滝川デパート設立。<sup>19</sup>中空知地区納税貯蓄組合連合会設立。<sup>22</sup>鶯窓流鈴鶯会（吟道）結成  
九月<sup>14</sup>滝川タイムス発行。<sup>18</sup>北海道銀行滝川支店新

一月<sup>24</sup>上水道東滝川地区給水開始。〇滝川卸売市場新築移転開場  
二月<sup>1</sup>望月川の都市下水道一号幹線改修工事完成（延長一、三一〇メートル）  
江部乙町関係  
一月<sup>1</sup>国民健康保険、家族七割給付となる  
三月<sup>31</sup>江部乙・赤平線道路、道々昇格  
四月<sup>28</sup>町長・町議選挙、伊藤等町長再選  
七月<sup>1</sup>市街地区道路名を改称。<sup>17</sup>町婦人会「愛の鐘」を役場屋上に寄贈。<sup>20</sup>町営プール完成。<sup>24</sup>直営診療所改築工事着工。<sup>24</sup>簡易水道布設工事着工  
一〇月<sup>1</sup>住民基本台帳制度実施  
一一月<sup>10</sup>簡易水道給水開始。<sup>18</sup>水槽付消防自動車入魂式。<sup>22</sup>国保診療所改築完成、診療開始

二月<sup>5</sup>道農民総連合（北農総連）発足

三月<sup>5</sup>北京で日中覚え書き貿易（旧L.T貿易）交渉妥

結(六日調印)。②松前地区、北オホーツク、野幌森林地区を道立自然公園に指定。⑦厚生省、富山県のイタイイタイ病の原因は神岡鉱山の排出物と最終報告

四月③日ソ貿易交渉妥結。⑤小笠原諸島の返還協定、外務省で調印。○千歳・広島間高速道路着工(二三・三キロメートル)

五月⑬本道と東北地方大地震

六月⑮東大医学部紛争、学生が安田講堂を占拠。⑯小笠原諸島返還式、二三年ぶりに日本復帰

七月①交通反則通告制度、郵便番号制スタート。②道国鉄路線廃止反対期成会結成。⑦参議院議員選挙。⑨道東北開発公庫、特別金利制度発足

八月⑮交通違反点数制による処分要綱案決定。⑳函館本線小樽～滝川間に国鉄電車営業

九月②北海道百年記念祝典を札幌市円山競技場で開催、両陛下ご臨席。⑳食糧庁、十一月から米穀店の登録制度廃止決定

一〇月⑰68年ノーベル文学賞に川端康成受賞

十一月⑳野幌森林公園内に北海道百年記念塔の起工式  
十二月⑲日本南極点踏査旅行隊、初めて南極点に到達、史上八度目

滝川市関係

一月①国民健康保険、家族七割給付となる

二月⑲市の木「プラタナス」、市の花「ソツジ」と決定

昭和四四年(一九六九)

国・道関係

一月⑨全国農協中央会「自主流通米制度」認める

三月⑭理化学研究所、わが国初の濃縮ウランの基礎実験に成功

三月⑳国民年金保険料納入組合連合会発足。⑳工業高校季節制課程を閉鎖

四月①ひばり保育園を市立移管、いずみ保育所開設。①中空知交通災害共済組合発足。○ゴミ収集無料となる。○老人家庭奉仕事業開始(ホームヘルパー二人)

五月①西町保育園開設。③空知教育研修センター組合設立(四月二十六日認可)。○中央・バスターミナル移転新築着工。○空知文化団体連絡会発足

六月⑥空知教育研修センター起工式。⑧滝川市旗制定。⑨第三小学校二期工事着工

七月①郵便番号制度開始「〇七三」。③天理教北勇宝分教会設立許可。⑩民謡、隆城会結成。⑪第三小学校舎一期工事完了

八月⑦事業内職業訓練センター着工。⑧国鉄電化工事完了、初列車滝川を出発(滝川・小樽間)。○公共下水道事業第一期工事着工(七カ年計画)

九月③両陛下、滝川駅をご通過。⑩高等看護学院新築着工。⑭社団法人北海道身体障害者福祉協会滝川支部結成。⑮滝川卓球連盟再発足。

一〇月⑮空知教育研修センター竣工式(十六日開館)。⑯滝川商業高校新校舎建設地鎮祭。⑳土木現業所庁舎移転新築。㉑産経会館竣工

十一月⑳第三小学校二期工事竣工。㉒中央バス滝川ターミナル移転新築開設式。㉓北興化学工場建設覚

書交換

一二月⑳事業内職業訓練センター落成。㉒民謡鵬生会結成。○滝川詩話会結成

江部乙町関係

三月④水稲採種組合設立

四月○江部乙詩吟道場結成

六月①町の指定金融機関設置

七月①郵便番号「〇七九一〇四」。⑤道々江部乙雨電線一、二〇〇メートル舗装完了。⑩児童館建設着工(九月三十日竣工)

八月⑬ライスセンター竣工。⑬コンバイン初めて導入。○専覚寺本堂建立

九月⑭屯田兵最後の生存者鈴木仁翁九十一歳逝く。⑮水稲種子センター完成。⑮市街地区歩道舗装(約九〇〇メートル)完了

一〇月①江部乙駅に急行列車上下一本が停車。⑯労働会館完成。⑳道々江部乙赤平線(八〇〇メートル)整備完了

十一月⑩公団分収造林事業竣工記念碑建立。㉒空知土地改良区庁舎改築竣工

十二月①児童館開館。⑩江部乙川第二大橋完成。○江部乙民謡研究会結成

この年、町有林野造成完了。老人大学開講。農協東陽支所竣工

七月⑳参院本会議で「防衛二法案」成立

九月①日本・ルーマニア通商航海条約に調印。㉓全国農協中央会、米生産の自主調整方針決定

一〇月①函館本線滝川～旭川間電化完成営業開始。⑬

定山溪鉄道電車廃業

一月④日ソ航空交渉妥結、日本のシベリア自主運輸決定

二月②衆議院解散。⑨北海道新幹線建設期成会発足。⑩BHC工業会、BHCとDDTの国内向け製造中止。⑦衆議院議員選挙

滝川市関係

一月⑦第三小学校新校舎へ移転。②市事業内職業訓練センター入所式

二月①空知市建設期成会発足

三月⑥白樺幼稚園開園。⑮市立高等看護学院新築完成。⑫自衛隊第十一特科連隊第一大隊移駐。⑬札幌電力区滝川電力支区詰所落成

四月①市立高等看護学院開校第一回入学式。①社会法人空知医師会立准看護婦学校開校。①一小、三小、江陵中、明苑中学校の通学区区域変更。①救急車「一

昭和四五年（一九七〇）

国・道関係

一月①日本医師会、一斉休診入り。②日銀、国際決済銀行（BIS）に復帰。⑭第三次佐藤内閣発足

二月⑤道国際文化協会スタート。⑩オジロワシとオオワシを天然記念物に指定。⑪東大宇宙研の人工衛星「おおすみ」（ラムダ4S型5号機）成功、世界で四番目

三月⑭大阪千里丘陵で日本万国博開会式、七十七カ国参加（九月十三日閉幕、入場者約六、四二二万人）

六月⑬日米安保条約が自動継続、反安保集会

七月⑮東京杉並で光化学スモッグ発生

八月①登別町、市制施行、道内三十番目

一〇月①第十一回国勢調査。⑲道公害対策本部全道の

一九番」業務開始。⑮石油開発公団、地下資源調査開始。○法定伝染病公費負担を適用。⑳滝川軌式庭球連盟結成

六月②第一回「虫歯のない健康優良児コンクール」開催。⑳滝川高等学校改築一期工事着工

七月①印鑑登録済証明書書制度実施。⑨滝川市ほか三町衛生センター組合設立。⑫市民オペラ「手古奈」を初上演。○交通指導員連合会発足。⑪子どもの読書をすすめる会結成。⑳下水道審査委員会設置

八月⑲青年体育センター新築地鎮祭

九月⑮滝川商業高校新館竣工。⑦中空知五市六町が広域市町村圏に指定をうける

一〇月①滝川・旭川間国鉄電化。①滝川書道連盟結成。①法栄寺寺号公称。②道立滝川職業訓練所が道立滝川専修訓練校と改称

十一月④婦人会館完成（大町）。⑰衛生センター増改築

川、湖、海の総点検を開始

一月②札幌市、国勢調査で百一万余人

一二月⑨日中国交回復促進議員連盟発足

滝川市関係

一月○農業改良普及所を統合、空知支庁空知東部地区農業改良普及所と改称

二月○空知大橋仮橋解体

三月⑲市立准看護学院閉校式。⑳滝川高校一期工事竣工。○滝川太鼓保存会結成

四月①東栄小・中学校が各々独立（同一校舎使用）。①村山にんぎょう教室創立。○滝川アマチュア無線クラブ結成

五月①労政出張所廃止。○農業改良普及所、東町に移

落成式。⑳三小三期工事竣工（七月八日着工）⑳「空知郷土づくり大会」開催。⑦空知大橋竣工渡橋式。○滝川華道連盟結成

一二月⑩北興化学工業労働操業開始

江部乙町関係  
四月①町内会名称を道路名に合せて改称。①結核予防婦人会誕生。①北辰中、東陽中学校が統合、江部乙中学校設置

六月⑮江部乙中学校校舎新築起工式

七月⑳交通指導委員会発足。○道々江部乙赤平線舗装工事（一、四〇〇メートル）着工

一〇月①江部乙駅に電車一往復停車

十一月○江部乙中学校一期工事完了。○国保診療所増築工事完了

一二月⑤都市計画委員会を都市計画審議会と改称  
この年、江部乙陸上競技協会結成

転。○滝川技能協会誕生。⑳ソフトボール協会結成

七月⑩滝川市江部乙町合併調査特別委員会設置。○空知交通神社に交通遭難者の碑を建立。⑳三小四期工事着工（十二月十日竣工）

八月⑳青年体育センター完成。⑳合併公聴会開催。○白樺幼稚園増築落成

九月①武田フラワーデザイン教室創設。⑫開基八十年記念式典挙行。市民憲章制定。⑳真多呂人形教室創設

一〇月①国勢調査（人口四万三、五三五五人）。⑳電話市内局番実施。⑳滝川林務署新築落成。⑳生田流正派若葉会北村社中発足（三曲）

一二月⑨中空知広域市町村圏組合発足（中空知交通災

害共済組合を吸収)。⑰公明党滝川支部結成。⑱第三小学校舎改築落成及び開校五十周年記念式典挙行。⑳黄金町郵便局舎完成業務開始

二月㉑合併問題、両市町議会で議決

江部乙町関係

二月〇町民による合併促進期成会発足

三月㉓町議会合併調査特別委員会設置

昭和四六年(一九七二)

国・道関係

一月①新著作権法スタート。⑧閣議、環境庁の新設決定(七月一日発足)

二月⑦札幌国際冬季スポーツ大会(プレオリンピック)開幕、二十三カ国、一、五五六人参加(14日)

四月⑪統一地方選挙(知事道議選)。⑭北海道開拓記念館オープン。㉒市町村長、議員選挙

六月⑰東京とワシントンで同時に沖縄返還協定調印。

⑯第九回参議院議員選挙。⑰北海道文化放送(UHB)発足

七月①札幌・旭川間無停車特急「さちかぜ」発車。③四六年度広域市町村圏一七圏域指定。⑤第三次佐藤改造内閣発足

八月㉔変動相場制スタート(一ドル134.2円20銭)

九月①道庁害対策本部設置。⑦両陛下、ヨーロッパ七カ国親善訪問出発

一〇月㉑住友石炭鉱業、奔別、歌志内両鉱閉山

十一月①亀田市誕生。⑤国道二百三十一号線厚田一浜益間開通。⑭渡島管内福島町で青函トンネル本工事起工式。⑯札幌地下街オープン。㉔東北・上越両新幹線起工式

四月①国保診療所を江部乙町国民健康保険病院と改称。〇老人家庭奉仕事業開始(ホームヘルパー一名)

五月①過疎地域指定

六月㉔合併問題公聴会開催。〇老人クラブ連合会結成

八月⑩台風九号でリングに被害。〇商工婦人部結成

一〇月①国勢調査(人口七、三一人)。⑮合併協議

滝川市関係

一二月④本格的なハイウェイ、千歳―北広島間道共自動車道と札幌自動車道が開通。⑮札幌地下鉄(南、北線一二・六キロメートル)開通、十六日一般営業開始

滝川市関係

一月②高齢者等就職相談所設置。⑮臨時議会で合併議決、両市町長が合併協議書に調印。⑩泉桜会、霞桜会(吟道)結成

三月⑩滝川高校二期工事竣工。〇合併申請書、道議会で議決、③佐久間貞江市長退任(四月二十四日まで市長職務執行)

江部乙町関係

一月㉔滝川・江部乙両市町長合併協議書調印

三月⑬江部乙町役場閉庁式

新・滝川市関係

四月①滝川市と江部乙町の合併による新市制施行、滝川市誕生。①町(字)の区域と名称が変更される。

①敬老年金(七七歳以上)五八五人に贈呈。⑯空知川左岸空知太築堤着工。㉔市長、市議選挙、吉岡清栄市長に当選。〇江部乙町体育館が江部乙公民館と改称発足。〇旧調査部長派出所を警察官駐在所に、巡査駐在所を警察官派出所に改称。〇華道会滝川支

会設置。〇江部乙中学校二期工事完成、移転

一月〇空知灌漑史碑建立

一二月⑰町基本構想議決。〇道管は場整備二期地区、西南地区完了。〇開拓パイロット事業(草地造成)着手

この年、空知家畜商業協同組合組織

部・結成

部結成。①滝川市青少年吹奏楽協会(現吹奏楽団)結成

五月⑬江部乙東巡査駐在所廃止。⑳江部乙町社協創立十五周年記念の顕彰碑建立。㉔滝川酒販協同組合設立

六月①新市事務機構体制(四部十四課江部乙支所)。㉔電話江部乙局自動改式

七月⑨都市公園野球場着工。⑦こぶしの会設立(重度心身障害児保護者の会)

八月⑥第一回歩行者天国「お祭広場」開設(12月4日)⑪市民憲章推進委員会設置。⑳市役所別館増築着工。㉒滝川市ほか一市二町伝染病隔離病舎組合設立

九月①滝川市江部乙町合併記念式典挙行。⑥隔離病舎建設着工。⑩少年消防クラブ誕生。⑬北電と公害防止協定締結。⑰滝川高校改築落成式。⑳道央信用組合開業。㉔滝川商店街連合会発足。〇丸協道央荷受協同組合発足。〇七五歳以上医療費二分の一助成一〇月③市営球場(新町)閉鎖。④旧滝川・江部乙の社会福祉協議会統合発足。㉔まちづくり計画作成協議会発足。㉔江部乙モータープール着工

十一月①バントワリング連盟結成。㉔石狩川築堤工

部乙地区工事竣工  
一二月⑤江部乙地区青少年育成会発足。⑩江部乙中学

校三期工事完了。⑫札幌法務局滝川出張所新築移  
転。○第二小学校屋内体操場落成

この年、鈴蘭通り三区、四区にアーケード設置

昭和四七年（一九七二）

国・道関係

一月①七〇歳以上の老人医療費の無料化、全道いっせいにスタート。⑪旭川市に国立医大設置決定。⑫グ  
ラム島で元日本兵横井庄一さんを二八年ぶり発見  
（三月二日帰国）

二月③第十一回冬季オリンピック札幌大会開幕三十五  
カ国、一千六百余人参加（一三日）。⑭日仏原子力  
平和利用協定に調印

三月⑮山陽新幹線、大阪―岡山間一六一キロが開業。

⑯奈良県明日香村の高松塚古墳で極彩色の壁画発見  
四月①米の消費者米価を物統令から除外。①札幌市、  
政令指定都市。①伊達町、市制施行。①北海道文化  
放送、本放送開始。⑱新夕張炭鉱閉山

五月⑲琉球政府閉庁式。⑲沖繩が本土に復帰、沖縄県  
発足、日本武道館で復帰式典

六月①田中通産相「日本列島改造論」発表。⑳道、  
「狩場、茂津多道立自然公園」を決定

七月⑥佐藤内閣総辞職。⑦第一次田中内閣発足。㉑全  
道一の長大橋、石狩河口橋（全長一四二・七メー  
ル）開通

八月⑥第一回北海道、ソ連極東地区親善スポーツ陸上  
競技大会開催

九月㉒日中国交樹立、九項目の共同声明に調印。国

昭和四八年（一九七三）

国・道関係

一月①①日本の北京大使館、三五年ぶりに開設。㉓道土

府、対日断交を声明

一〇月㉑日中覚書貿易協定、北京で調印。

十一月⑩十勝と上川、網走両管内を結ぶ国道二百七十  
三号線、全面開通。⑬衆議院解散

一二月⑩衆議院議員選挙。㉔第二次田中内閣発足  
滝川市関係

一月①七〇歳以上の老人医療費無料。⑲北海道広域市  
町村圏連絡協議会発足

二月⑦文化センター建設着工。㉕第一回市民スキー大  
会開催。○滝川地方総合卸売市場と改称。

三月②旭沢小学校閉校。㉖二市二町伝染病隔離病舎竣  
工。③市役所増築工事竣工。③道々々滝の川、東滝  
川停車場線認定。③江部乙モータープール竣工。○  
西町保育園廃園

四月①滝川地区広域消防事務組合消防本部及び滝川消  
防署開庁式。①行政推進員制度発足。①開西保育所  
開設。①養鶏組合連合会創立。⑰市政功労第一号を  
佐久間貞江前市長に贈る。㉘都市公園テニスコート  
着工。㉙青年団体協議会結成。③テアトル宝映閉  
館。○出雲神社を江部乙神社に合祀

五月⑩空知川右岸築堤着工。㉚新都市計画用途地域と  
準防火地域実施。㉛電報電話局ラインマンセンター  
新築落成。㉜新任居表示審議会設置

六月⑱公式野球場を滝の川運動公園内に開設。㉝市立  
図書館建設工事着工。○商工会議所が中小企業共済  
制度をスタート

七月①日本専売公社滝川営業所と改称。⑫滝川警察署  
で女性交通巡視員を配置。㉞一の坂プールを一小に  
新設竣工。

八月①①西地区総合福祉会館完成開館式  
九月①事業所統計調査を実施（総理府所管）

一〇月④北海道郵便通送機滝川営業所新築移転。○西  
小学校屋内体育館落成。㉟日本ボーイスカウト滝川  
第一団再開団式挙行。㉟滝川公害防止協会発足。㉟  
市職員独身寮新設

十一月③第一回農業まつり開催。⑮私立滝川商業高  
校、市に移管決定。⑮滝川消防団第一分団詰所移転  
新築（南地区福祉ホーム併設・十二月十三日完成・  
栄町）。㉡第一回社会福祉協議大会開催。③江部乙中  
学校屋体二期工事完成。③空知川左岸空知大築堤竣  
工。○石狩川橋に歩道増設完成

一二月③江部乙二期地区道営は場整備事業竣工。⑬土  
地開発公社設立可決。○労働基準監督署庁舎新築移  
転。○生長の家空知区分館建設

地開発公社が発足。③在日中国大使館釣臨時代理大  
使を迎えて開館

二月④道スモンの会結成。⑩東京外国為替市場閉鎖、  
十四日変動相場制で再開。⑲中国銀行円元新レート

を発表、一元一三〇円二五銭。②古河鉱業、足尾銅山の閉山式、四二〇年の歴史に幕。③空知赤間碓閉山三月⑨札幌地下鉄東西線クワ入れ

四月⑥祝日法改正案成立、休日振り替え決定(十二日公布)

五月④日本、ベルギー文化協定ブリュッセルで調印。⑮日本、東独国交樹立、モスクワで調印。②②国際漁業対策委発足

六月⑭伊達火力、北電ついに強制着工。⑮十勝と上川を結ぶ国道二百七十三号線開通。⑮新潟ーハバロフスク間の空路開設

七月①大夕張碓閉山

九月⑨国鉄千歳線の複線化完成。②日本・北ベトナム国交樹立

一〇月④国内唯一の水銀鉱山北進鉱業竜昇殿鉱が生産中止。③江崎玲奈博士(四八)Ⅱ米IBM社基礎研究所Ⅱに対し、ノーベル物理学賞決定

一月③第一回アイヌ民族学会大会開催。⑤第二次田

昭和四九年(一九七四)

国・道関係

一月⑤日中貿易協定調印。②天皇・皇后両陛下金婚式二月⑯北海道物価対策委員会設置。⑯我が国初の誘導制御国産衛星「たんせい二号」に成功

三月⑥宝くじつき預金法成立

四月①東京・札幌線、超大型機エアバス就航。⑤迎賓館完成。②日・中航空協定調印(二十四日発効)

五月②石狩支庁を除き一三支庁と道庁間にテレファックス(模写電送装置)完成

六月⑥国土庁発足

七月⑦参議院議員通常選挙

中改造内閣成立  
二月①函館・亀田両市が合併。②政府、石油緊急事態宣言

滝川市関係  
一月⑧北海道滝川西高等学校設置認可(市立)。③農業負債等実態調査。⑤土地開発公社発足。⑥話し方研究会発足

二月⑧中空知で誘致の子供の国第一号を中空知地区(砂川市石山)に決定

三月②滝川商業高等学校閉校式。②市総合開発計画議決。②滝川の川公園二期工事竣工。③文化センター、市立図書館建設完了

四月①市立滝川西高等学校開設(九日開校式及び入学式)。①滝の川保育所開設。①都市計画画税設定。①滝川石炭事務所廃止。○江部乙統合小学校敷地造成

五月①行成推進員協議会発足。①北海道信用保証協会滝川支所開設。④家畜衛生防疫組合創立

六月④都市公園陸上競技場起工。十日テニスコート竣

九月②原子力船「むつ」が出力上昇試験中、原子炉から放射線漏れ発見、試験中止。②サロベツ原野の一部を加えて、利尻・礼文・サロベツ国定公園となる。②日・中定期航路就航

一〇月⑧ノーベル平和賞を佐藤前首相に授与発表。⑮日本近距離航空の道内ローカル空路、札幌ー奥尻ー函館、札幌ー中標津、札幌ー紋別の三路線の運航開始

十一月①田中改造内閣発足。⑫日・中海運協定調印

十二月⑨田中内閣総辞職、三木武夫内閣発足。②北海道経済連合会(道経連)発足

工オーブン。⑩西高開校記念式典。②文化センター、図書館開館。○滝川ホテル三浦華園改築。○公共下水道事業第二期工事着工

七月⑭江部乙小学校新築一期工事着手

八月①叶流日本舞踊研究所結成。⑩第一回花火大会開催。②全日本青年弁論大会開催。⑤空知教育研修センター増築着工

九月①食糧事務所滝川出張所廃止。○身体障害者協会設立

一〇月②市道路行政モニター設置。③東滝川・江部乙線舗装竣工。③東滝川地区福祉センター完成

十一月①壺併句会結成。⑤消防署江部乙支署新築工事着工(旧役場庁舎一部解体)。⑨福祉施設等建設審議会設置。⑩滝の川公園三期工事完了

十二月①食糧事務所滝川支所増改築。⑨母子福祉ホーム設置(八月十日着工、十一月八日竣工)。○高林デパート新築オーブン。○滝川拘置支所閉鎖

この年、滝川カヌークラブ結成

滝川市関係

一月⑩江部乙国保病院改築工事完成。②し体不自由児父母の会「あゆみの会」結成

二月⑦情緒障害児等親の会「めばえの会」結成。⑩滝川レオクラブ結成

三月①中空知農業共済組合設立(二月九日事務所完成) ⑤農業改良普及所新庁舎落成。③空知教育研修センター増築工事竣工。③消防署江部乙支署庁舎新築竣工。③東二丁目通線舗装新設工事竣工

四月①大通り商工連合会設立。①あさひ保育所開設。⑦言語障害児をもつ親の会結成。⑫大場モダンバ

レール研究所創設。○統計情報事務所庁舎新築。○小牧大丸滝川工場創設  
五月⑦中空知砂利協業組合設立。⑩札幌開発建設部滝川出張所と新十津川道路改良事務所を統合、札幌開発建設部滝川道路事務所発足。⑩朝日町地区福祉会館完成。⑮第一回議員有功賞十六名に授与。⑮滝川広告美術塗装業協同組合設立。○旧空知川堤防撤去開始  
六月⑯市営牧場に乳牛・肉牛初めて放牧。⑰江部乙小学校一期工事竣工。三十日二期工事着工。⑳全道母子福祉大会開催。○国道十二号(中央バスターミナル前)地下歩道着工

七月①電話ブッシュホンサービス開始。①芸術文化振興会設立。⑮市役所江部乙支所を消防署江部乙支署内に設置。⑳滝川郵便局舎新築落成  
八月①移動図書館車「すずかけ号」運行開始。②第二小学校新築工事着工。⑦老人ホーム新設事業着工  
九月②中央保育所移転新築着工。④広域生活総合センター着工(十月二日起工式)。⑮陸上競技場完成。⑰空知太火葬場全焼。⑰下水終末処理場建設工事着工  
一〇月①高額療養費制度発足。①児童会館(明神町)を旧市民会館に移転開館。①新住居表示(栄町、本町、明神町、朝日町西)実施。①滝川趣味の盆栽会結成。②滝川地区中小企業労働組合連合会結成。③

中央地区福祉会館新築完成、消防団第二分団詰所併設(大町)。③東地区福祉ホーム完成(東町)。○空知自動車学校新築移転  
一月③第一回児童、生徒発明工夫展開催。⑮北空知信用金庫滝川支店新築開業。⑮民謡新生会結成。○滝川幼稚園改築完成。○市道の六九パーセント(三〇四キロメートル)除雪決定。○子供の国第一期工事着工(五十年九月竣工・砂川市内)○江部乙屯田将校官舎跡碑建立  
この年、身体障害者福祉センター移転(大町)。滝川市乳牛検定組合設立。ホテルスエヒロオープン

昭和五〇年(一九七五)

国・道関係

二月①石勝線を道央と道東を連結する主ルートにする計画が出された  
四月⑬知事、道議選挙、堂垣内尚弘知事当選。⑰市町村長、議員選挙  
五月⑦エリザベス英国女王来日。⑰日本女子登山隊、エベレストの登頂に成功、女性世界初  
六月③千歳の米軍完全撤退  
七月⑨日・台空路再開に正式調印。⑰沖繩国際海洋博覧会開催(51・1・18)三十六カ国  
八月⑮日・中漁業協定正式調印  
九月②環境庁、自動車全車種の騒音規制強化、四日告示  
一〇月①国勢調査実施。①日本・北ベトナムの無償経済援助協定調印  
一一月⑩新千歳空港着工。④国勢調査本道人口五三三万八、〇四三人の概要発表

一二月⑭SLサヨナラ列車、室蘭〜岩見沢間、我が国SL一〇三年の歴史を閉じる。⑮文部省学校の主任職制度化を正式決定、施行は五十一年三月一日  
滝川市関係  
一月①七十歳以上老人の市内バス無料化実施(一、八五五人)。③滝川射撃倶楽部を滝川クレイ射撃協会と改称  
二月⑦沖繩名護市児童十二名が青年会議所の招きで来滝。⑰新都市計画区域告示(北滝の川、南滝の川、東滝川、西滝川、江部乙の一部を加える)  
三月②東陽小学校閉校式。③青年会議所設立。③北辰小学校、同南・同北分校閉校。③鈴蘭通り市道移管、滝川停車場線道々に昇格認定。③第二小学校一期工事完了。③広域生活総合センター新築工事完了。③江部乙小学校二期工事完了。③中央保育所移転新築工事完成(四十九年八月二十六日着工)。③児童厚生体育施設竣工(北滝の川地区福祉会館併設)。○滝川

人権擁護委員会組織。○滝川地方骨材協同組合設立  
四月①江部乙小学校開校。①丸井ニット江部乙工場操業開始。⑦中央保育所(明神町)開設。④広域生活総合センター開館(市民相談室を設置)。⑮市役所に行政相談室開設。⑦市長、市議選挙。吉岡清栄市長再選。②滝川三師会組織  
五月①市立養護老人ホーム「緑寿園」完成開園(三月二十五日竣工)。②滝川清掃機が空知興産機に社名変更  
六月⑤明るく豊かな都市づくり協議会設置。⑦「老人のための明るいまちづくり」推進事業の指定を受ける(七月二十八日同協議会発足)  
七月③総合福祉センター新築工事着工。③特別養護老人ホーム新築工事着手。○滝川ガス、会社更正法の適用を受ける  
八月③台風六号集中豪雨で水害  
九月⑦低気圧集中豪雨で再び市内河川氾濫。①滝川市

昭和五十一年（一九七六）

ほか二町衛生施設組合設立（衛生センター組合を統合）。②勤労青少年体育センター着工。③石狩川流域下水道建設事務所開設（児童会館内）。④滝の川斎苑建設着工

一〇月①国勢調査実施（五万八五人）。①新任居表示（大町、緑町、花月町、空知町、新町、東町の一

国・道関係

二月①ロッキード献金事件の国会証人尋問開始まる。小佐野賢治氏ら八人

三月②道庁出勤時に時限爆弾爆発、二人死亡、八十五人重軽傷。③アフリカの新種伝染病「ラッサ熱」を臨時法定伝染病に指定、厚生省は九日告示

五月④公立学校の主任制度化問題で北教組は十九日全日スト。⑤参院本会議、核防条約批准承認案を可決

六月⑥札幌地下鉄の東西線開通。⑦自民党離党の河野洋平氏ら新自由クラブ結成

七月⑧厚生省、昭和五十年の日本人平均寿命は男性七一・七六歳、女性七六・九五歳と発表

八月⑨苫東港の港湾建設作業スタート、用地買収始まってから八年目

九月⑩函館空港にソ連のミグ25A戦闘機一機が強行着陸。⑪宮沢外相、北方領土視察のため来道。⑫三木内閣第一次改造

一〇月⑬民間有力単産が政策、制度要求の実現のための政策推進労組会議発足、一六単産、三一五万人が参加

一二月⑭衆議院議員選挙。⑮三木内閣総辞職、福田赳夫内閣成立。⑯サハリン石油開発協力会社とソ連政府が七十七年度のサハリンの海上試掘調印

年表

部）実施。⑦農村環境改善センター着工。⑧公営企業等調査審議会設置。⑨東陽小中学校閉校記念碑除幕。⑩江部乙郵便局舎新築移転業務開始。⑪江部乙東地区樹園地農道網工事完了。○国道十二号線地下歩道完成（中央バスターミナル前）

一月⑫江部乙南地区樹園地農道網工事完了。⑬総合

滝川市関係

二月①全道学校給食コンクールで滝川市二年連続優勝。②札幌線整備促進期成会設立。③中華民国大使館員一行来市。④郷土館建設工事着工。○日本婦人会議滝川支部結成

三月⑤第二小学校二期工事完了。⑥消防団第三分団詰所移転新築。本町地区福祉会館併設。⑦丸加山観光施設新設工事竣工

四月⑧中空交通災害遺児奨学事業基金設立。⑨第三小学校に言語治療教室開設（三十日開級式）○大賀クロージング操業

五月⑩特別養護老人ホーム開園（三月十日竣工）。⑪勤労青少年体育センター開館（三月二十五日竣工）。⑫東栄保育園、市立移管されて東栄保育所開設。⑬江部乙保育所開設。⑭財団法人北海道子どもの国協会設立。⑮滝の川斎苑完工式（六月一日使用開始）。⑯西町排水機場起工式

六月⑰市社会福祉協議会が社会福祉法人組織。⑱寿流詩舞剣舞踊翠会滝川支部結成。⑲SL保存会発足。⑳市立図書館で「読書広場開き」。㉑滝川信販が「商業協同組合ショップメイト」と改称。㉒滝川水泳協会発足

七月①下水処理センター運転開始（三月三十日竣工）。

福祉センター新築完成。○勤労者福祉共済制度スタート

一二月⑰滝川機関区SL（蒸気汽関車）完全廃止。⑱江部乙南地区、北地区福祉会館完成。⑲江部乙東陽地区福祉会館完成。○新交通体系整備促進期成会設立

⑩子供の国開所式。⑳SL展示披露式典

八月②北海道信用保証協会滝川支所新築移転。③大字問題懇話会発足。④市立幼稚園新設工事着手（五十二年二月二十八日竣工）。⑤第一回市民まつり開催、おみこし渡御復活。○江部乙農協事務所改築、Aコープ江部乙店竣工

九月⑥弓道場竣工（十九日落成式）。⑦江部乙南地区樹園地農道整備工事完了。⑧郷土館新築工事完成。⑨文化公園内日本庭園造成完了

一〇月⑩新任居表示（一の坂町、朝日町東、黄金町）実施。⑪肉牛肥育センター完成。⑫函館本線第一空知川鉄橋架替工事着工。⑬東滝川郵便局々舎移転改築。⑭農村環境改善センター一期工事完成、江部乙支所を同センターに移転。⑮青少年演劇研究会結成一

一月⑯総合福祉センター落成開館。⑰第二小学校二期工事完成。⑱第三言語治療教室に幼児通級開始。⑲老人福祉電話五台設置。⑳江部乙警察官駐在所落成移転。㉑泉町郵便局舎新築完成。○中空知広域交通指導員会協議会発足

二月⑳駅構内流雪溝増設。㉒消防団第四分団詰所新築（東滝川）。㉓地方自治三十年記念式典挙行、記念誌「苦難から躍動へ」発刊。㉔消防団第五分団詰所新築（泉町）。○富良野信用金庫滝川支店開業

この年、啓南団地（道営中層住宅）建設開始。東瀧

川・住吉間渡船廃止。江部乙西南地区は場整備事業

竣工。「滝川映劇」・「滝川キネマ」開館

昭和五二年（一九七七）

国・道関係

二月⑱道教育委員会、昭和六十年までの「北海道教育長期総合計画」決定

三月④ソ連の二〇〇カイリ漁業専管実施で北洋から締め出された韓国的大型トロール漁船が広尾鹿部沖で無法操業、被害甚大。⑪政府、我が国の領海を三カイリから一二カイリに拡大法案を決定・国際海峡は五カ所で三カイリ据え置き。

⑫青函トンネルの海底部・吉岡工区と陸上部白符工区が貫通。吉岡工区着工以来一〇年目

四月⑤園田首相特使が訪ソ。七日コスイギン首相と日ソ漁業交渉打開会談。七日堂垣内知事交渉支援のため訪ソ。⑲領海一二カイリ法案と二〇〇カイリ漁業水域法案を衆院可決、参院は五月二日可決。⑳ソ連、日ソ漁業条約廃棄を通告。㉑氣象庁、道内一九カ所の通報所を五月一日から廃止を決定

五月⑧成田空港で開港反対派と警官隊衝突。⑪三井石炭鉱業別鉱業所第二坑でガス爆発、二五人死亡、重軽傷八人

六月⑧文部省、小、中学校学習指導要領案発表、「君が代」を国歌と明記

昭和五三年（一九七八）

国・道関係

一月③原子力研究所、海水から核融合の燃料のリチウム回収に成功。⑨道は朝日、下川、滝上、西興部の四町村にまたがる天塩岳周辺を「天塩岳道立自然公園」に指定。⑫社会民主連合発足、代表田英夫

七月①わが国の「領海一二カイリ」「経済水域二〇〇カイリ」スタート。⑩参議院議員選挙

八月⑦有珠山（七二五メートル）が爆発、被害約二百億円

九月⑧パリ発東京行き日航機、日本赤軍派五人にハイジャックされる

一二月⑮タンチョウヅル生息調査、二三五羽を確認  
滝川市関係

一月⑫新春政経懇談会開催。⑬池坊光明流滝川支部結成

三月②新救急車「白竜二号」配置

四月⑦市立おぞら幼稚園開園式。⑩市民ゴルフ場開設（本コース八月二日オープン）。○言語障害児をもつ親の会を滝川地区ことばを育てる親の会と改称

五月⑦第一回植樹祭を中央緑地帯で行う。⑮滝里ダム期成会発会式

六月①郷土館落成開館記念式。⑫伝染病隔離病舎組合に芦別市が加入。⑮蛸の首樋門工事起工。○滝川市長期間発基本構想を議決

七月⑬消防誕生八十周年（江部乙消防六十五周年）記念式典挙行。⑮東小学校新築着工。⑯軽費老人ホー

二月⑧政府、新道総合開発計画を決定

三月⑥成田空港の管制塔を過激派が占拠、機器破壊、三十日開港延期

四月⑥昨秋以来交渉の日米加漁業条約交渉合意⑭日ソ漁業交渉、最終合意日本の漁獲量四万三、五〇〇ト

ム建設着工

八月④自然の家着工。⑳江部乙国保病院起工式㉑滝川ドレスメーカー開校三十周年及び新築移転落成式

九月①市史編さん委員会設置、（委員一〇名）。⑦江部乙南地区農道網整備工事完了。⑩「ショップメイト放送部」発足、街頭放送

一〇月①新住居表示（西町、泉町の一部）実施。⑥滝川市、地方自治三十周年記念式典で自治大臣表彰を受賞（十一日受賞祝賀会）。⑦団体宮仲十七丁目地区農道整備完了。⑫陶芸センター新築工事着工。⑬農村環境改善センター多目的ホール落成式。⑭第三熊

一〇月⑦肥育センター落成式。⑬自然の家（旭沢集会所）落成式。⑭市道東四丁目通り線舗装竣工。○道

管大規模江部乙地区老朽溜池竣工  
一二月⑥開基八十八周年記念事業推進協賛会発足。⑩消防北分遣所移転新築落成式。⑪宮下川改修工事完了。⑫第二小学校四期工事完了。⑬滝川ガス事務所落成式

この年、身体障害者福祉電話設置

ン。見返りとして約十七億六千万円の漁業協力費を業界が負担。⑯日本大学北極点遠征隊が北極点に到達、日本人で初

五月⑫新東京国際空港（成田空港）着工以来一二年ぶりて開港

六月⑦農林省設置法の一部改正を参院可決、七月五日「農林水産省」発足となる。

七月⑧開道百十年記念の公募「北海道の花」に「ハマナス」が決定

八月⑨日中平和友好条約調印

一〇月⑩瀬戸大橋（本州、四国連絡橋児島一坂出ルート）起工式、62年完工予定。○千歳―苫小牧間高速道路開通、二六キロメートル（四十五年六月着工）

十一月⑪北電火力発電所の一号機（出力三五万キロワット）本操業

一二月⑫福田内閣総辞職、七日大平正芳第六八代首相に指名、大平内閣成立

### 滝川市関係

二月⑬第一回市民冬まつり開催（十二日）、⑭滝川、東滝川局普通加入電話区域を拡大。⑮三笠宮寛仁殿下「雪と親しむ青少年体験シンポジウム」に参加

三月⑯西高校特別教室増築工完了。○共栄商工連合会設立（一の坂、朝日町）

四月⑰軽費老人ホーム開設（三月二十日竣工）。⑱滝川市地域衛生協力会連合会を滝川市衛生推進協議会と

### 昭和五四年（一九七九）

### 国・道関係

一月⑲初の国立公立大学共通一次試験が全国一斉に行われる（平均点六三・〇七点）

二月⑳苫小牧沖の海上で石油試掘、海底油層の存在を確認。⑳国会、グラマン―ダグラス事件の証人喚問（15日）

四月㉑知事、道議選挙、堂垣内尚弘知事三選。㉒市町村長、議員選挙。中富良野町の森善治氏は全国最多選の一〇選

改称。①滝川工業高校定時募集停止。②江部乙国民健康保険病院完成、業務開始（三月二十日竣工）。

③滝川ライオンズクラブ寄贈八十八周年記念塔除幕式。④北海道縦貫自動車道「岩見沢―滝川間」建設決定（三月二十四日認可）五十七年以降着工、六十年完成予定。○滝川陸上競技クラブを滝川陸上競技協会と改称

五月⑮滝川駅前駐車場完成。⑯江部乙国保病院、軽費老人ホーム落成式。○広域生活総合センター内に保健センターを設置

六月⑰高林デパート増築開店式。①陶芸センター開所式。②江陵中学校新築開工式

七月⑱市開基八十八周年記念、音楽パレード、式典挙行。①道路公団建設事務所設置（仮事務所）。⑦蛸の首通門竣工祝賀会。⑧第一回小、中学校陸上競技大会。⑨北海道美容技術選手権大会。⑬江部乙商工会館改築起工。⑭自活体消防発足三十周年記念消防演習。⑮滝川スポーツセンター起工式。⑯二の坂保育所起工式。⑰明苑中学校移転新築起工式

八月⑰朝日町児童館開館（朝日町東会館併設）。⑫江部

五月⑳中国との間で領有権が懸案事項となっている東シナ海尖閣諸島の魚釣島に、我が国の「実効的支配」を確立する施設づくりに出動

六月⑳参院、自民、公明、民社、新自クの賛成で元号法成立。㉑東京サミット（先進国首脳会議）が東京、迎賓館で開催される。石油問題を集中討議

七月㉒東名高速道の日本坂トンネル内で衝突事故、約一七〇台の自動車延焼、七人死亡。㉓山下防衛庁長官、閣議に五十四年度「日本の防衛」（防衛白書）

乙保育所移転改築起工式。⑲東小学校開校式（七月三十日竣工）。⑳消防庁舎起工式。⑩除排雪センター着工。⑤全道高齢者マラソン大会開催

九月⑥NHK交響楽団演奏会を文化センターで開催。⑩滝川勤労者企業組合結成。⑩滝川第二小学校改築落成記念式挙行。○本町郵便局舎改築完成。○北海道青年祭を文化センターで開催

一〇月①新任居表示（江部乙、東滝川、東町各一部）実施。⑫滝川排水機場（機関区裏）完成。⑧石黒白萩句碑建立（滝の川公園内）。②文化公園完成開園式。③江陵中学校二期工事着工。③国営北空知直轄かんがい排水起工式。○空知川東滝川地区築堤二、三五〇メートル完成（四億二、三〇〇万円）

十一月①消防移動水槽車配置。⑤東小学校落成記念式。⑥旧北辰小学校記念碑建立。⑬青年連絡会発足。⑳江部乙保育所移転改築竣工（八月八日着工）

一二月⑩駅前広場にブロンズ像三体設置。⑩江部乙商工会館落成式。⑩江部乙中央福祉館完成。⑮江陵中学校一期工事、教室一五ほか完成、三学期から使用開始。○滝川ガス（株）事務所落成

を報告。「ソ連の脅威」を強調

九月④上野動物園のパンダ、ランラン死亡。⑦衆議院解散。⑩豊平川にサケの遡上確認。二十五年ぶり

一〇月⑦衆議院議員選挙。⑫航空機疑惑をめぐる日商岩井事件の第一回公判が東京地裁で開かれる。⑫木曾の御岳山（三、〇六三メートル）噴火

十一月③道は行政改革実施大綱を自治労全道庁労組に提案、出先機関の見直し再編整備計画

一二月①政府、国家公務員の定年制「昭和六十年から

<p>原則として六十歳定年制を実施」の大筋を決定。⑤大平首相中国訪問、対中円借款を正式に回答（初年度五〇〇億円）。⑪国鉄の「千歳空港駅」のクワ入れ式</p>	<p>滝川市関係</p>	<p>二月①広報たきがわ一、〇〇〇号発行。②新町福祉ホーム落成式。③北高等学校屋体落成式 三月④第二回歩くスキーの集い、三笠宮寛仁・ひげの殿下来市。⑦光保育園最後の卒園式。⑨鈴蘭中央商店街振興組合設立。⑩空知川東滝川築堤竣工式 四月①北滝の川児童館開館式。①二の坂保育所開設、三日落成式（三月十日竣工）。①総理府告示第一四号で特別豪雪地帯の指定を受ける。②消防庁舎開庁式（五日落成式）。②市長、市議選挙、吉岡清栄市長無</p>
<p>投票で三選。⑧駅前広場竣工式 五月⑥滝川スポーツセンター落成式 六月⑦市内電話局番二ケタ実施、江部乙地区を市内局番となる 七月⑦全道ろうあ者福祉大会開催（〜8日）。⑬医療保健対策協議会設置。⑭老人クラブ会旗入魂式（江部乙地区）。○江部乙神社改築竣工。○滝川保健所新庁舎建設着工（五十五年三月竣工予定） 八月⑦日本通路公団札幌建設局滝川工事事務所竣工（四月二日着工）。⑯「空知ローカル新聞をローカル新聞」と改称。⑰少年消防クラブ結成 九月①道営ほ場整備事業完成記念碑除幕式。①白樺幼稚園新園舎落成。①第一空知川鉄橋上り線開通（二十六日下り線開通）。⑮道民芸術祭及び空知管内郷土</p>	<p>芸術祭開催</p>	<p>一〇月①新住居表示（二の坂町、北滝の川の一部）実施。⑬名誉市民第一号に岩橋英遠決定（十一月三日贈呈式） 十一月④江部乙屯田公園開園式。⑮空知川右岸築堤滝川地区内完成 十二月⑤泉町都市下水道事業完成祝賀会（四十七年度着手）。⑫子どもの歯を守る会結成。⑭江陵中学校新校舎完成。⑯西滝川地区上水道布設完成祝賀会（十月着工）。○東映ソサエティビル内にシネマピッコロ開館 この年、公共下水道事業第三期工事に着手、（〜六十二年度）</p>